

# P R T R 届出データの 平成 15 年度と過年度の比較

平成 1 7 年 3 月

独立行政法人  
製品評価技術基盤機構 ( N I T E )



# 目次

はじめに .....	1
1. 届出状況の比較 .....	4
(1) 届出数 .....	4
(2) 届出方法別の届出数 .....	5
(3) 業種別の届出数 .....	6
(4) 都道府県別の届出数 .....	8
2. 排出量・移動量の比較 .....	9
(1) 排出量・移動量 .....	11
(2) 排出量 .....	14
(3) 移動量 .....	23
(4) 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量 .....	28
3. 業種別の排出量・移動量の比較 .....	31
(1) 業種別の排出量・移動量の主な状況 .....	31
(2) 業種別の排出量・移動量の詳細 .....	35
4. 都道府県別の排出量・移動量の比較 .....	47
(1) 都道府県別の排出量・移動量の主な状況 .....	47
(2) 都道府県別の排出量の主な状況 .....	50
(3) 都道府県別の排出量の詳細 .....	52
5. 集計表：物質別排出量・移動量	

## はじめに

本資料は、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE；National Institute of Technology and Evaluation）が、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び環境の改善の促進に関する法律（以下、「化管法」という）第 8 条第 4 項及び第 9 条第 2 項に基づき国が公表した「化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果」などを用いて、届出排出量、届出移動量等について平成 15 年度と過年度（13・14 年度）を比較し、その結果をまとめたものです。

なお、15 年度から、届出事業所の対象化学物質の取扱量の要件が 5 トンから 1 トンに引き下げられています。（特定第一種指定化学物質の取扱量要件は 0.5 トンで、13 年度から変更されていません。）

届出事項には年間取扱量が含まれていないため、15 年度データについて 1 トン以上 5 トン未満の取扱量の事業所と 5 トン以上の取扱量の事業所を区別して比較していません。

### (1) 利用したデータ

本資料の作成にあたり、以下の ~ の事業所から届出されたデータを用いました。

化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果（平成 15 年度）

化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果（平成 14 年度）

化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果（平成 13 年度）

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/kouhyo.htm](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/kouhyo.htm)

環境省 <http://www.prtr-info.jp/>

N I T E <http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/prtr.htm>

平成 15 年度 P R T R データの概要 - 化学物質の排出量・移動量の集計結果 -

平成 14 年度 P R T R データの概要 - 化学物質の排出量・移動量の集計結果 -

平成 13 年度 P R T R データの概要 - 化学物質の排出量・移動量の集計結果 -

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/kouhyo.htm](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/kouhyo.htm)

環境省 <http://www.prtr-info.jp/>

N I T E [http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/total\\_indexh15.html](http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/total_indexh15.html)

化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項（平成 15 年度）

化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項（平成 14 年度）

化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項（平成 13 年度）

平成 13 年度及び 14 年度の化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果及び化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項は、17 年 3 月 18 日に改訂されたデータを使用しました。

### (2) 数値の取り扱い

本資料では、排出量、移動量等の量に対しては有効数字 2 桁以上の千トン又はトン単位で記述しています。

なお、本文及び図表中の差や比等については、kg 単位の数値で計算した値をトン単位で表記しています（トン単位の値の少数第一位を四捨五入）。そのため、表中の値（トン単位の値）を用いて計算した結果と値が異なる場合があります。

### (3) 対象化学物質等の表記方法について

本資料に記載している対象化学物質名、業種名及び排出・移動の区分は、本文や図表を見易く

するため、以下のとおりとしています。

対象化学物質については、原則として、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令」に記載されている名称を用いることとし、別名が記載されているものについては別名を用いています。また、一部の名称の長い物質については、以下の表に示すとおり、省略した名称を用いています。

	化管法・法律施行令における名称	本資料で用いる名称
物質名	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	銅水溶性塩
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	無機シアン化合物
	1,1 - ジメチル - 4,4 - ピピリジニウム塩(次号に掲げるものを除く。)	1,1 - ジメチル - 4,4 - ピピリジニウム塩
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)	ビスフェノールA型エポキシ樹脂
	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその化合物に限る。)	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル

業種名については、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令」に記載されている名称を用いることとし、一部の長い名称については以下の表に示すとおり、省略した名称を用いています。

	化管法・法律施行令における名称	本資料で用いる名称
業種名	倉庫業(農作物を保管するもの又は貯蔵タンクにより気体若しくは液体を貯蔵するものに限る。)	倉庫業
	鉄スクラップ卸売業(自動車用エアコンディショナーに封印された物質を回収し又は自動車の車体に装着された自動車用エアコンディショナーを取り外すものに限る。)	鉄スクラップ卸売業
	自動車卸売業(自動車用エアコンディショナーに封印された物質を回収するものに限る。)	自動車卸売業
	計量証明業(一般計量証明業を除く。)	計量証明業
	一般廃棄物処分業(ごみ処分業に限る。)	一般廃棄物処分業
	産業廃棄物処分業(特別管理産業廃棄物処分業を含む。)	産業廃棄物処分業
	高等教育機関(付属施設を含み、人文学科のみに係るものを除く。)	高等教育機関

排出・移動の区分については、以下の名称を用いています。

	法施行規則第四条第二項及び三項にある名称	本資料で用いる名称	図で用いる名称
排出	大気への排出	大気への排出	大気
	公共用水域への排出	公共用水域への排出	水域
	当該事業所における土壌への排出(当該事業所における埋立処分を除く)	土壌への排出	土壌
	当該事業所における埋立処分	事業所内の埋立処分	埋立
移動	当該事業所の外への移動(下水道への移動以外)	廃棄物としての移動	廃棄物
	下水道への移動	下水道への移動	下水道

#### (4)用語の解説

排出量：

大気への排出量、公共用水域への排出量、土壌への排出量及び事業所内の埋立処分量の合計のことです。

移動量：

廃棄物としての移動量及び下水道への移動量の合計のことです。

排出量・移動量：

排出量と移動量の合計のことです。

総排出量、総移動量：

「総」を付けた排出量、移動量、排出量・移動量等は物質、業種及び都道府県に関してすべて合計した量です。例えば、「大気への総排出量」とは大気に排出された対象化学物質の全ての合計量のことです。

## 1. 届出状況の比較

### (1) 届出数

届出数の平成 15 年度と過年度の比較を表 1-1 に示します。

届出事業所数については、14 年度は 13 年度と比べほとんど変化がありませんでしたが、15 年度は 14 年度と比べ 6,582 事業所 (19%) 増加しています。さらに、届出物質数 (のべ) についても同様で、15 年度は 14 年度と比べ 32,527 物質 (17%) 増加しています。これらの増加の主な理由としては、15 年度は、第一種指定化学物質の年間取扱量が 1 トン以上 5 トン未満の事業所が新たに届出対象となったことが考えられます。なお、届出事業所数は、平成 15 年度の PRTR 対象物質の取扱い等に関する調査 (注-1) において、取扱状況の把握が十分にできない一部の業種を除いて約 5,300 件の増加と推計されており、届出事業所数の増加分と概ね合致しています (表 1-2 参照)。

(注-1) 「PRTR 対象物質の取扱い等に関する調査」(平成 15 年度、平成 16 年度)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

表 1-1 届出数

年度	届出 事業者数 (a)	届出 事業所数 (b)	1事業者あた りの事業所数 (b/a)	届出物質数 (のべ) (c)	1事業所あた りの物質数 (c/b)
15	14,045	41,079	2.92	218,650	5.323
14	12,118	34,497	2.85	186,123	5.395
13	12,619	34,820	2.76	182,714	5.247

表 1-2 取扱量要件の変更に伴う届出数及び推定届出数の比較

PRTR届出 1			取扱量調査における推計 2		
平成15年度 届出事業所数* (取扱量1トン以上)	平成14年度 届出事業所数 (取扱量5トン以上)	届出事業所数 増加分	平成14年度 取扱量1トン以上の 事業所数(推計)	平成14年度 取扱量5トン以上の 事業所数(推計)	届出事業所数 増加分(推計)
18,016	11,996		6,020	17,835	

1 「下水道業」、「一般廃棄物処理業」及び「産業廃棄物処分業」、「燃料小売業」の届出事業所数を除く。

2 「下水道業」、「一般廃棄物処理業」及び「産業廃棄物処分業」、「燃料小売業」の届出事業所数(推計)を除く。

取扱量調査では、取り扱っている化学物質の取扱量の調査を行っているため、特定要件施設を保有するため取扱量がなにもかわらず届出義務がある事業所が多い「下水道業」、「一般廃棄物処理業」及び「産業廃棄物処分業」、さらに農業協同組合、ホームセンターなど取扱量調査対象としていない事業者からの届出が多いと考えられる「燃料小売業」を除いて比較を行った。

第一種指定化学物質 354 物質の 13-15 年度の届出状況の推移は、表 1-3 に示すとおりで、326 物質については毎年度届出されています。

いずれかの年度に届出のない物質は、農薬やフロンガスとして用いられるものが増えてきます。

表 1-3 第一種指定化学物質 354 物質の届出状況の推移

対象化学物質			届出状況		
物質番号	物質名	用途	平成15年度	平成14年度	平成13年度
-	以下を除く326物質				
35	フェノチオール	農薬(除草剤)			
190	ジクロフェンチオン	農薬(殺虫剤)			×
333	カーバム	農薬(殺虫剤)			
75	アトラジン	農薬(除草剤)		×	
247	クロフェンチジン	農薬(殺虫剤)			
52	フェナセチン	医薬品			
216	トリクロピル	農薬(除草剤)		×	×
328	XMC	農薬(殺虫剤)			
164	3,4 - ジメチルアニリン	合成原料(ビタミンB2等)			
337	ジメピレレート	農薬(除草剤)	×		
347	クロルフェンピホス	農薬(殺虫剤)			
162	ハロン - 2402	フロンガス(消火剤)	×		×
191	バミドチオン	農薬(殺虫剤)			
201	CFC - 112	フロンガス			
229	ナプロアニリド	農薬(除草剤)			
290	クロレンド酸	重合原料(不飽和ポリエステル樹脂)	×	×	
302	キントゼン	農薬(殺菌剤)			
303	ペンタクロロフェノール	農薬(防菌剤・防かび剤)			
122	プロピザミド	農薬(除草剤)			
127	1,2 - ジクロロ - 3 - ニトロベンゼン	合成原料			
149	チオメトン	農薬(殺虫剤)			
150	スルプロホス	農薬(殺虫剤)			
168	1,1 - ジメチル - 4,4 - ビピリジニウム塩	農薬(除草剤)	×	×	×
187	キナルホス	農薬(殺虫剤)			
285	ハロン - 1211	フロンガス(消火剤)			
296	ベンジリデン = ジクロリド	合成原料			
343	メトキサレン	医薬品			
351	モノクロトホス	農薬(殺虫剤)			
届出物質数(種類)			334	333	337

:届出あり ×:届出なし

(2) 届出方法別の届出数

届出方法別の届出事業所数の平成 15 年度と過年度の比較を表 1-4 に示します。

電子情報処理組織(オンライン)による届出は、届出事業所数、割合ともに大幅に増加しています。

表 1-4 届出方法別の届出事業所数

届出方法	平成15年度		平成14年度		平成13年度	
	届出事業所数	割合	届出事業所数	割合	届出事業所数	割合
書面による届出	35,005	85.21%	31,221	90.50%	32,293	92.74%
磁気ディスク(フロッピーディスク等)による届出	2,519	6.13%	2,021	5.86%	2,061	5.92%
電子情報処理組織(オンライン)による届出	3,555	8.65%	1,255	3.64%	466	1.34%
合計	41,079		34,497		34,820	

### (3) 業種別の届出数

業種別の届出状況の平成 15 年度と過年度の比較を表 1-5 に示します。

15 年度の届出事業所数は 14 年度と比べ 6,582 増加しており、その業種別内訳は、増加数の大きい順に、自動車整備業（3,514）、燃料小売業（638）、電気機械器具製造業（478）、金属製品製造業（356）、輸送用機械器具製造業（250）等となっています。自動車整備業では、新たにエチレングリコールの年間取扱量が 1 トン以上 5 トン未満の事業所が多数届出したため、届出事業所数が増加したと推定されます。

15 年度の届出物質種類数が 14 年度と比べ増加している業種は、増加数の多い順に、鉄鋼業（26）、ゴム製品製造業（25）、輸送用機械器具製造業（19）、電気機械器具製造業（18）、自然科学研究所（18）等となっています。



表 1-5 業種別の届出状況

業種名	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	業種名	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数
金属鉱業	15	17	31	武器製造業	15	6	16
	14	18	31		14	5	12
	13	17	16		13	4	9
原油・天然ガス鉱業	15	29	35	その他の製造業	15	477	100
	14	30	34		14	379	85
	13	30	33		13	385	100
食料品製造業	15	250	35	電気業	15	109	51
	14	337	32		14	108	42
	13	412	40		13	129	47
飲料・たばこ・飼料製造業	15	94	26	ガス業	15	53	20
	14	98	19		14	43	13
	13	100	20		13	43	15
繊維工業	15	226	71	熱供給業	15	17	8
	14	213	62		14	4	7
	13	234	66		13	8	9
衣服・その他の繊維製品製造業	15	42	35	下水道業	15	1,587	34
	14	41	34		14	1,507	32
	13	42	36		13	1,458	39
木材・木製品製造業	15	221	30	鉄道業	15	64	22
	14	227	27		14	41	11
	13	268	31		13	44	11
家具・装備品製造業	15	99	33	倉庫業	15	139	62
	14	99	28		14	126	59
	13	122	24		13	126	61
パルプ・紙・紙加工品製造業	15	378	81	石油卸売業	15	544	7
	14	305	77		14	593	7
	13	331	81		13	511	8
出版・印刷・同関連産業	15	363	49	鉄スクラップ卸売業	15	18	12
	14	300	34		14	8	9
	13	317	40		13	9	10
化学工業	15	2,231	333	自動車卸売業	15	276	7
	14	2,087	331		14	28	5
	13	2,087	334		13	45	6
石油製品・石炭製品製造業	15	178	90	燃料小売業	15	19,023	10
	14	175	79		14	18,385	11
	13	199	73		13	18,633	10
プラスチック製品製造業	15	944	127	洗濯業	15	149	12
	14	828	119		14	115	12
	13	848	126		13	129	13
ゴム製品製造業	15	286	91	写真業	15	4	3
	14	225	66		14	1	1
	13	235	65		13	2	1
なめし革・同製品・毛皮製造業	15	29	19	自動車整備業	15	3,679	24
	14	24	16		14	165	8
	13	21	16		13	136	8
窯業・土石製品製造業	15	512	81	機械修理業	15	55	30
	14	446	66		14	18	16
	13	442	79		13	20	14
鉄鋼業	15	342	71	商品検査業	15	29	11
	14	307	45		14	5	6
	13	328	57		13	5	6
非鉄金属製造業	15	546	87	計量証明業	15	31	9
	14	480	78		14	11	5
	13	470	75		13	9	5
金属製品製造業	15	1,652	75	一般廃棄物処理業	15	1,970	36
	14	1,296	68		14	2,082	41
	13	1,327	74		13	1,920	46
一般機械器具製造業	15	696	64	産業廃棄物処分業	15	483	49
	14	469	51		14	527	47
	13	502	53		13	532	50
電気機械器具製造業	15	1,552	104	高等教育機関	15	98	12
	14	1,074	86		14	73	24
	13	1,096	90		13	78	7
輸送用機械器具製造業	15	1,151	107	自然科学研究所	15	192	46
	14	901	88		14	133	28
	13	890	91		13	119	27
精密機械器具製造業	15	238	50	合計	15	41,079	334
	14	160	38		14	34,497	333
	13	157	35		13	34,820	337

(4) 都道府県別の届出数

都道府県別の届出状況の平成 15 年度と過年度の比較を表 1-6 に示します。

15 年度の届出事業所数が 14 年度と比べ増加している都道府県は、増加数の大きい順に、愛知県（532）、東京都（445）、神奈川県（389）、大阪府（351）、兵庫県（320）等となっています。

15 年度の届出物質種類数が 14 年度と比べ増加している都道府県は、増加数の多い順に、福島県（37）、長野県（26）、山形県（24）、佐賀県（23）、埼玉県（22）等となっています。

表 1-6 都道府県別の届出状況

都道府県	年度	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	年度	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	年度	届出事業所数	届出物質種類数
北海道	15	2,182	145	石川県	15	557	110	岡山県	15	943	176
	14	1,961	125		14	491	103		14	854	166
	13	1,961	133		13	490	96		13	847	164
青森県	15	408	72	福井県	15	443	141	広島県	15	1,019	187
	14	344	61		14	374	129		14	878	173
	13	341	60		13	349	122		13	908	177
岩手県	15	543	73	山梨県	15	398	78	山口県	15	642	199
	14	455	65		14	345	68		14	567	188
	13	354	63		13	327	67		13	569	192
宮城県	15	826	109	長野県	15	1,363	121	徳島県	15	346	122
	14	673	94		14	1,191	95		14	285	115
	13	668	91		13	1,200	96		13	252	113
秋田県	15	540	76	岐阜県	15	987	133	香川県	15	410	97
	14	492	65		14	773	114		14	339	81
	13	501	65		13	816	118		13	350	80
山形県	15	638	106	静岡県	15	1,587	187	愛媛県	15	530	142
	14	525	82		14	1,474	186		14	425	129
	13	560	84		13	1,534	187		13	431	135
福島県	15	1,084	206	愛知県	15	2,603	173	高知県	15	217	48
	14	852	169		14	2,071	167		14	185	45
	13	912	187		13	2,150	168		13	196	46
茨城県	15	1,126	193	三重県	15	815	171	福岡県	15	1,452	160
	14	967	178		14	549	161		14	1,269	142
	13	966	185		13	676	160		13	1,339	144
栃木県	15	791	136	滋賀県	15	637	139	佐賀県	15	420	119
	14	696	127		14	512	126		14	381	96
	13	727	125		13	508	128		13	398	93
群馬県	15	805	133	京都府	15	665	132	長崎県	15	510	55
	14	657	126		14	535	131		14	475	54
	13	704	123		13	523	122		13	484	46
埼玉県	15	1,642	191	大阪府	15	1,993	188	熊本県	15	620	100
	14	1,361	169		14	1,642	175		14	596	83
	13	1,339	165		13	1,639	181		13	644	87
千葉県	15	1,457	172	兵庫県	15	1,861	192	大分県	15	378	112
	14	1,182	166		14	1,541	179		14	333	100
	13	1,133	164		13	1,515	180		13	322	104
東京都	15	1,532	126	奈良県	15	382	89	宮崎県	15	374	97
	14	1,087	109		14	293	77		14	351	94
	13	1,123	110		13	245	77		13	364	92
神奈川県	15	1,927	178	和歌山県	15	346	137	鹿児島県	15	502	88
	14	1,538	161		14	234	124		14	468	70
	13	1,563	160		13	226	122		13	413	70
新潟県	15	1,109	147	鳥取県	15	313	48	沖縄県	15	192	45
	14	1,005	135		14	265	44		14	156	41
	13	1,048	136		13	255	45		13	128	40
富山県	15	672	130	島根県	15	292	74	合計	15	41,079	334
	14	575	118		14	275	67		14	34,497	333
	13	580	121		13	242	66		13	34,820	337

## 2. 排出量・移動量の比較

排出量・移動量の平成15年度と過年度の比較を図2-1～2-3及び表2-1に示します。

総排出量・移動量は、13年度529千トン、14年度500千トン、15年度530千トンと推移しています。15年度は、13年度、14年度と比べ、届出事業所数がそれぞれ6,259(18%)、6,582(19%)と、20%近く増加しているにもかかわらず、総排出量・移動量はそれぞれ0.88千トン(0.17%)の微増、30千トン(6.0%)の増加にとどまっています。

総排出量は、13年度313千トン、14年度290千トン、15年度291千トンと推移しています。前述のとおり、届出事業所数の増加にもかかわらず、15年度は13年度、14年度と比べ、それぞれ、22千トン(7.1%)の減少、0.63千トン(0.22%)の微増となっています。全体の傾向としては、排出量の削減は進行しています。特に、大気への排出量について、15年度は、13、14年度と比べそれぞれ29千トン(10%)、4.7千トン(1.8%)と減少していることから、関係者の排出量削減に向けた努力がうかがえます。

総移動量は、13年度216千トン、14年度210千トン、15年度240千トンと推移しています。15年度は、14年度と比べ29千トン(14%)の増加、13年度と比べ23千トン(11%)の増加となっています。総移動量の増加の理由としては、新たに届出を行った事業所の増加、過年度に既に届出を行っていた事業所の届出物質数の増加、市況変化等による取扱量の増加が考えられます。なお、削減された排出量の一部が廃棄物となり移動量として届出されたことも理由として挙げられます。

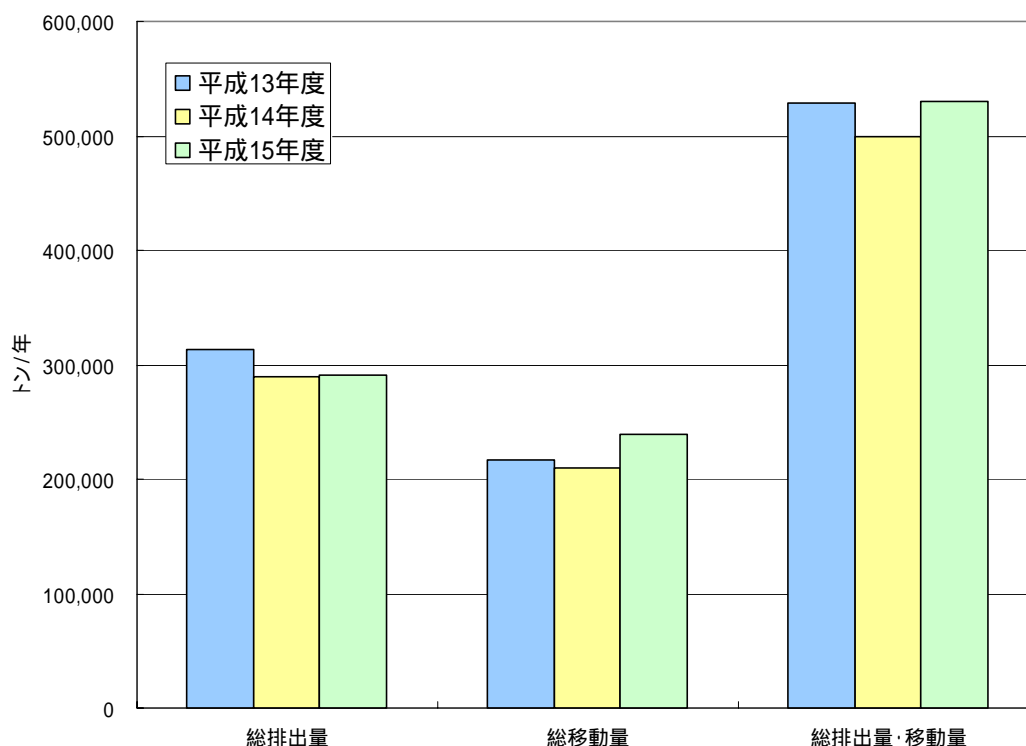


図2-1 総排出量、総移動量及び総排出量・移動量の比較

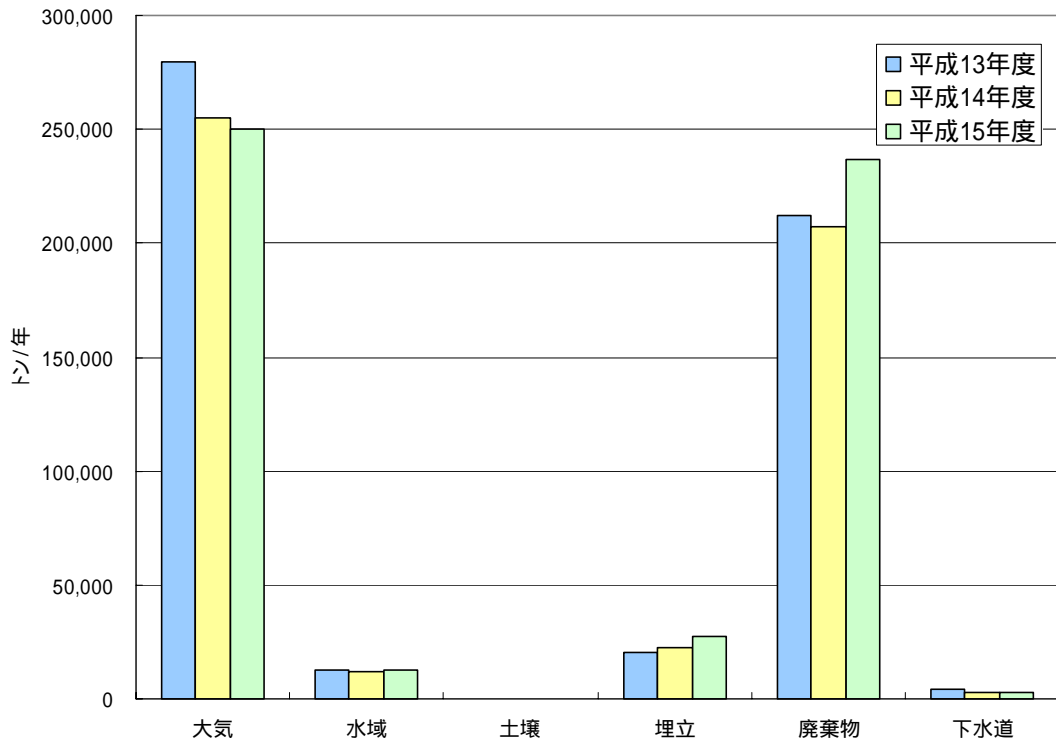


図 2-2 排出量及び移動量の比較 (排出先別・移動先別)

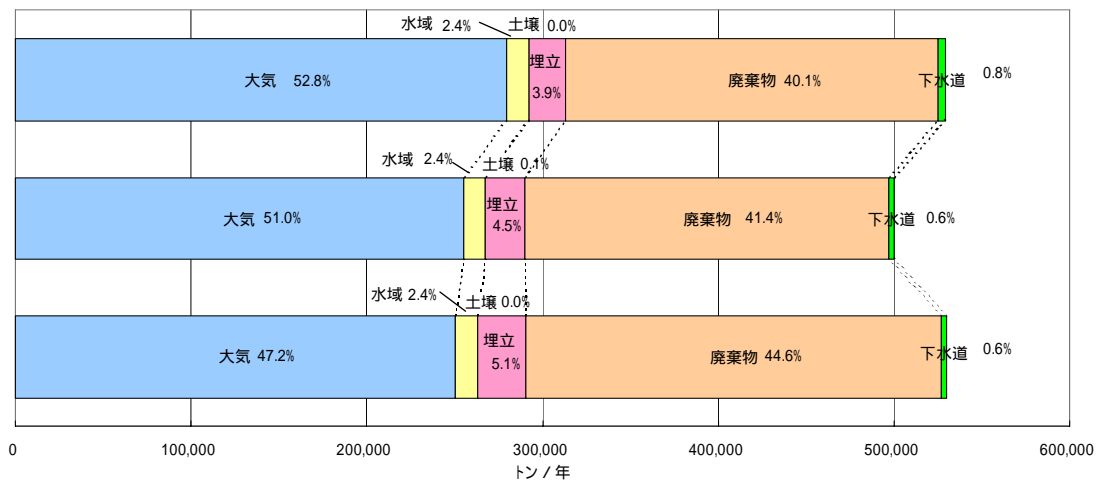


図 2-3 排出量及び移動量の比較 (排出先別・移動先別)

表 2-1 排出量及び移動量の比較 (排出先別・移動先別)

	平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)	
	値:(a)	割合	値:(b)	割合	値:(c)	割合				
排出量 (トン/年)	大気への排出	250,433	47.2%	255,105	51.0%	279,478	52.8%	-4,672	0.982	0.896
	公共用水域への排出	12,544	2.4%	12,041	2.4%	12,631	2.4%	503	1.042	0.993
	土壌への排出	249	0.0%	299	0.1%	234	0.0%	-50	0.833	1.064
	事業所内の埋立処分	27,282	5.1%	22,429	4.5%	20,451	3.9%	4,853	1.216	1.334
	合計	290,508	54.8%	289,873	58.0%	312,794	59.1%	635	1.002	0.929
移動量 (トン/年)	廃棄物としての移動	236,467	44.6%	207,140	41.4%	212,415	40.1%	29,327	1.142	1.113
	下水道への移動	3,088	0.6%	2,977	0.6%	3,973	0.8%	111	1.037	0.777
	合計	239,556	45.2%	210,117	42.0%	216,388	40.9%	29,438	1.140	1.107
排出量・移動量合計		530,064	100.0%	499,990	100.0%	529,182	100.0%	30,073	1.060	1.002

## (1)排出量・移動量

### 排出量・移動量の物質別増減

平成 15 年度の排出量・移動量を 14 年度と比較した結果を図 2-4 及び表 2-2 に示します。

排出量・移動量が減少している物質は、石綿( 1.3 千トン)、砒素及びその無機化合物( 0.68 千トン)、H C F C - 142 b ( 0.61 千トン)、ベンゼン( 0.46 千トン)、バリウム及びその水溶性化合物( 0.41 千トン)等、計 123 物質です。これらの物質の減少量の合計は 7.7 千トンとなっています。

一方、排出量・移動量が増加している物質は、エチレングリコール(7.6 千トン)、クロム及び三価クロム化合物(4.0 千トン)、エチルベンゼン(3.7 千トン)、マンガン及びその化合物(3.6 千トン)、N,N-ジメチルホルムアミド(2.1 千トン)等、計 201 物質です。これらの物質の増加量の合計は 38 千トンとなっています。

このうち、石綿は、従来建材等に幅広く使用されていましたが、健康への影響が問題となったため、他物質への代替が進み、取扱量が減少しているものと推定されます。

砒素及びその無機化合物の減少の主な理由は、金属鉱業において鉱石精製等の過程で、これらの物質を不純物として含有する残渣等を事業所内で埋立処分する量が減少していることです。

H C F C - 142 b は、排出量・移動量が 14 年度の 1.3 千トンから、15 年度の 0.74 千トンに 45%減少しており、発泡剤用途等において他物質への代替が進行していることがその一因と考えられます。

ベンゼンは、主に大気への排出量が減少しています。ベンゼンは、大気汚染防止法における有害大気汚染物質の中の優先取組物質であり、業界団体の中で各事業者の自主管理計画が進行していること、また、大気汚染防止法における指定物質として排出抑制基準が設けられている等の理由で大気への排出量が減少していると考えられます。

バリウム及びその水溶性化合物は、窯業・土石製品製造業からの届出が全体の 63%を占めており、ガラス等の用途で用いられていると考えられます。この物質の減少は、廃棄物としての移動量が主に減少していることによります。

エチレングリコールは自動車の不凍液(ラジエーター内のエンジン冷却水)の成分であり、自動車整備業では自動車から不凍液を抜き出し、抜き出した後の廃不凍液を廃棄物として移動しています。取扱量要件の変更に伴い、自動車整備業から新規の届出が大幅に増加していることにより、廃棄物としての移動量が増加し、排出量・移動量が増加しています。

クロム及び三価クロム化合物は、鉄鋼業において 15 年度排出量・移動量全体の 84%を占め、特殊鋼の成分等としての使用が考えられます。この物質の増加は、鉄鋼業において 3.7 千トン増加していること等によります。

マンガン及びその化合物の増加は、鋼材・アルミ合金成分、電池材料等の用途が想定される非鉄金属製造業において事業所内の埋立処分量が 4.6 千トン増加していることが主な要因です。

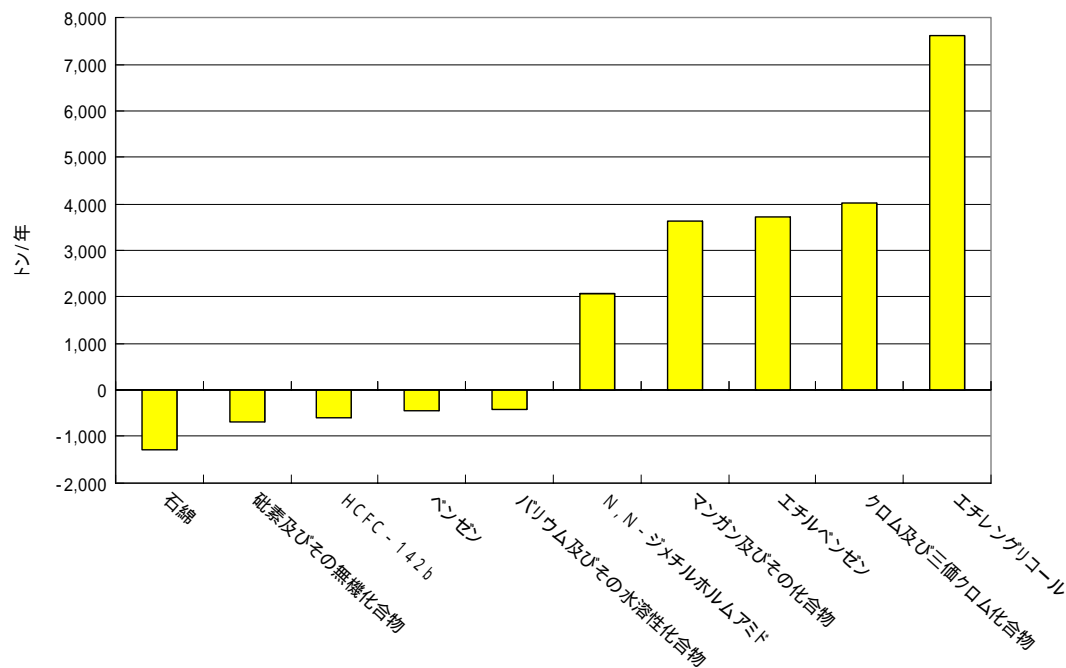


図 2-4 平成 15 年度と 14 年度の排出量・移動量の物質別増減 (増加又は減少上位 5 物質)

表 2-2 平成 15 年度と 14 年度の排出量・移動量の物質別増減 (減少量の多い順)

物質番号	対象化学物質 物質名	排出量・移動量及びその差と比				平成13年度 (トン/年)
		平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	差:(a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	
26	石綿	1,867	3,168	-1,301	0.589	4,159
252	砒素及びその無機化合物	6,682	7,361	-679	0.908	6,224
84	H C F C - 1 4 2 b	741	1,347	-607	0.550	1,582
299	ベンゼン	2,082	2,541	-459	0.819	3,271
243	バリウム及びその水溶性化合物	722	1,136	-414	0.635	1,657
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	1,542	1,875	-333	0.822	1,547
177	スチレン	6,410	6,723	-313	0.953	7,685
102	酢酸ビニル	1,406	1,705	-299	0.825	1,880
95	クロロホルム	3,851	4,134	-283	0.932	4,306
200	テトラクロロエチレン	2,551	2,833	-282	0.900	2,987
.	.....	..	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..	..
230	鉛及びその化合物	17,704	16,751	954	1.057	17,560
304	ほう素及びその化合物	5,048	4,082	966	1.237	3,872
266	フェノール	4,083	2,973	1,110	1.373	3,622
63	キシレン	60,442	59,113	1,329	1.022	65,338
1	亜鉛の水溶性化合物	7,596	6,224	1,372	1.220	7,569
172	N, N - ジメチルホルムアミド	15,501	13,420	2,081	1.155	16,291
311	マンガン及びその化合物	32,890	29,265	3,625	1.124	23,953
40	エチルベンゼン	16,406	12,693	3,714	1.293	12,555
68	クロム及び三価クロム化合物	16,873	12,853	4,020	1.313	13,541
43	エチレングリコール	15,774	8,149	7,625	1.936	7,936
	合計	530,064	499,990	30,073	1.060	529,182

## 排出量・移動量上位 10 物質

平成 15 年度の排出量・移動量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-5 及び表 2-3 に示します。

排出量・移動量の多い上位 10 物質について比較すると、順位の変動はあるものの、9 物質は同じです。13 年度、14 年度のトリクロロエチレンに代わり、15 年度はエチレングリコールが含まれています。

上位 10 物質の排出量・移動量の合計は、13 年度は 383 千トン、14 年度は 365 千トン、15 年度は 390 千トンと推移しており、15 年度は、排出量・移動量全体の 74% を占め、14 年度と比べ 25 千トン（6.8%）の増加、13 年度に比べ 7.1 千トン（1.8%）の増加となっています。なお、最大の増加を示しているエチレングリコールについては既に記したとおりです（2.（1）参照）。

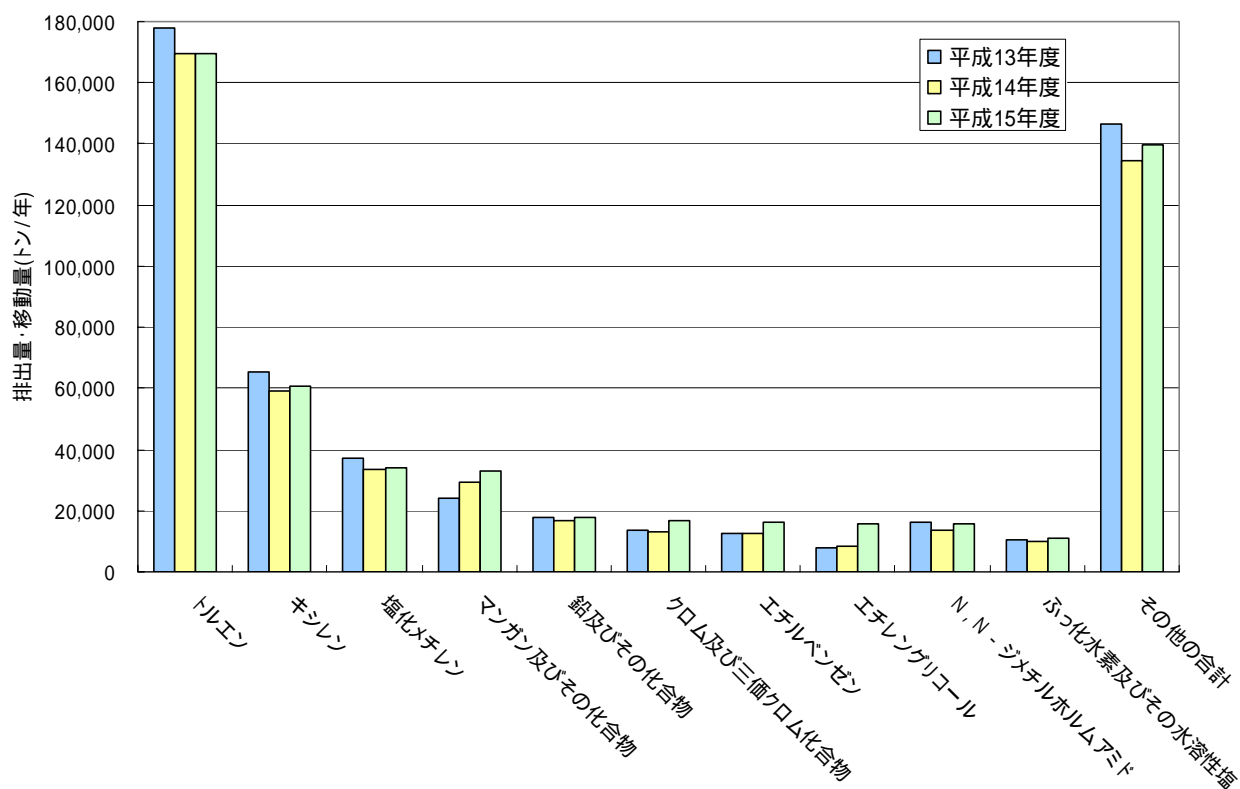


図 2-5 平成 15 年度の排出量・移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-3 平成 15 年度の排出量・移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

対象化学物質		排出量・移動量								
物質 番号	物質名	平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
227	トルエン	169,680	1	169,469	1	178,002	1	210	1.001	0.953
63	キシレン	60,442	2	59,113	2	65,338	2	1,329	1.022	0.925
145	塩化メチレン	33,946	3	33,448	3	37,308	3	498	1.015	0.910
311	マンガン及びその化合物	32,890	4	29,265	4	23,953	4	3,625	1.124	1.373
230	鉛及びその化合物	17,704	5	16,751	5	17,560	5	954	1.057	1.008
68	クロム及び三価クロム化合物	16,873	6	12,853	7	13,541	7	4,020	1.313	1.246
40	エチルベンゼン	16,406	7	12,693	8	12,555	8	3,714	1.293	1.307
43	エチレングリコール	15,774	8	8,149	11	7,936	11	7,625	1.936	1.988
172	N,N-ジメチルホルムアミド	15,501	9	13,420	6	16,291	6	2,081	1.155	0.951
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	10,978	10	10,157	9	10,403	9	821	1.081	1.055
	上位10物質の合計	390,194	-	365,319	-	382,886	-	24,875	1.068	1.019
	合計	530,064	-	499,990	-	529,182	-	30,073	1.060	1.002

## (2)排出量

### 排出量の物質別増減

平成 15 年度の排出量について、14 年度と比較した結果を図 2-6 及び表 2-4 に示します。

排出量が減少している物質は、トルエン( 3.9 千トン)、塩化メチレン( 0.81 千トン)、砒素及びその無機化合物( 0.68 千トン)、H C F C - 142 b ( 0.61 千トン)、エチレングリコール( 0.57 千トン)等、計 137 物質( 11 千トン)です。

一方、排出量が増加している物質は、マンガン及びその化合物(4.2 千トン)、エチルベンゼン(2.8 千トン)、亜鉛の水溶性化合物(1.6 千トン)、キシレン(0.85 千トン)、ほう素及びその化合物(0.54 千トン)等、計 131 物質(12 千トン)です。

エチレングリコールは、排出量は公共用水域への排出を中心として減少しています。なお、廃棄物としての移動量が大幅に増加しているため、排出量と移動量の合計は増加しています。

亜鉛の水溶性化合物は、金属表面の防錆処理(メッキ等)等に使用されますが、15 年度に事業所内の埋立処分量が 1.5 千トン発生していることが増加の要因です。

鉛及びその化合物の増加も、主に事業所内の埋立処分量の増加によります。

ほう素及びその化合物の増加は、公共用水域への排出の増加によります。



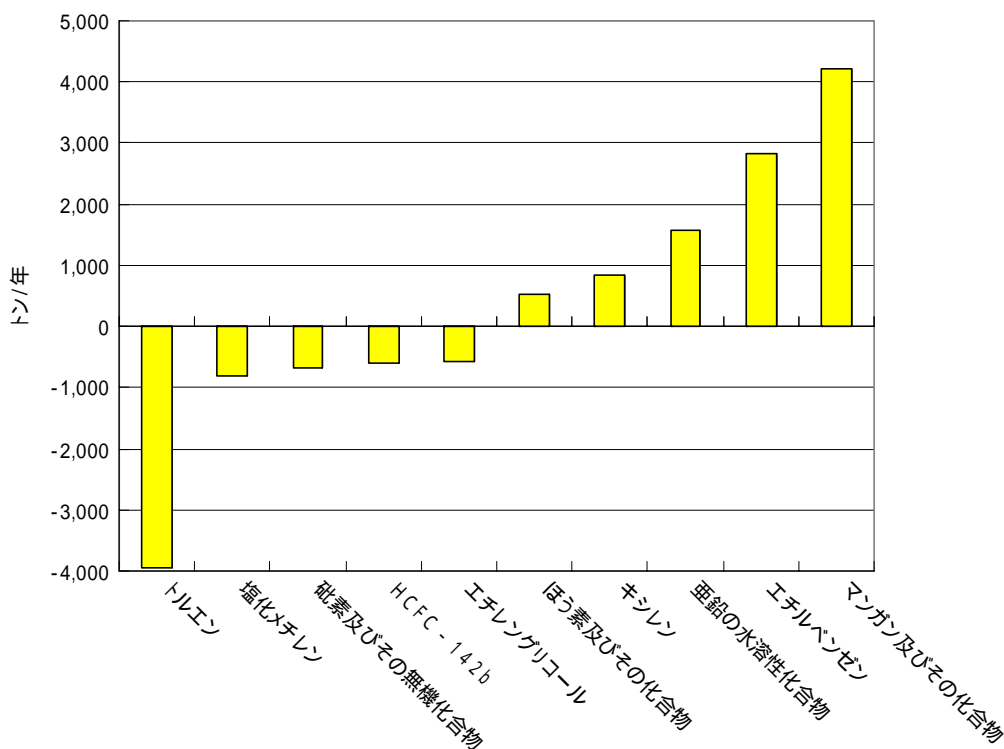


図 2-6 平成 15 年度と 14 年度の排出量の物質別増減 (増加又は減少上位 5 物質)

表 2-4 平成 15 年度と 14 年度の排出量の物質別増減 (減少量の多い順)

対象化学物質		排出量及びその差と比				
物質番号	物質名	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	差:(a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	平成13年度 (トン/年)
227	トルエン	118,869	122,805	-3,936	0.968	132,546
145	塩化メチレン	24,660	25,469	-809	0.968	27,342
252	砒素及びその無機化合物	6,499	7,181	-682	0.905	6,016
84	HCF C - 142b	732	1,341	-609	0.546	1,581
43	エチレングリコール	1,910	2,482	-572	0.770	2,818
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	806	1,365	-559	0.590	1,133
172	N, N - ジメチルホルムアミド	4,759	5,223	-464	0.911	6,334
299	ベンゼン	1,386	1,818	-431	0.763	2,432
95	クロロホルム	1,455	1,785	-330	0.815	1,958
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	3,154	3,451	-297	0.914	3,947
・	.....	..	..	..	..	..
・	.....	..	..	..	..	..
・	.....	..	..	..	..	..
203	テトラフルオロエチレン	587	463	124	1.267	501
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	543	418	125	1.299	353
144	HCF C - 225	557	413	144	1.349	503
224	1, 3, 5 - トリメチルベンゼン	1,339	1,105	235	1.212	1,115
230	鉛及びその化合物	9,962	9,556	407	1.043	9,253
304	ほう素及びその化合物	3,041	2,504	537	1.214	2,258
63	キシレン	48,081	47,231	850	1.018	52,391
1	亜鉛の水溶性化合物	2,229	667	1,561	3.339	689
40	エチルベンゼン	12,677	9,842	2,835	1.288	9,159
311	マンガン及びその化合物	8,724	4,504	4,220	1.937	4,792
	合計	290,508	289,873	635	1.002	312,794

## 排出量上位 10 物質

平成 15 年度の排出量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-7 及び表 2-5 に示します。

排出量の多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、すべて同じ物質です。

15 年度上位 10 物質の排出量の合計は、13 年度 261 千トン、14 年度 243 千トン、15 年度 245 千トンと推移しており、15 年度は総排出量 291 千トンの 84% を占め、14 年度と比べ 2.2 千トン (0.90%) の増加、13 年度と比べ 16 千トン (6.2%) の減少となっています。

このうち、マンガン及びその化合物の増加は、事業所内の埋立処分量が 14 年度と比べ 4.2 千トン増加していることによります。

砒素及びその化合物、鉛及びその化合物も事業所内の埋立処分量の増減がそのまま反映された結果となっています。

他の物質の排出量の増加は、大気への排出量の変化の影響が大きく、次項で別途記します。

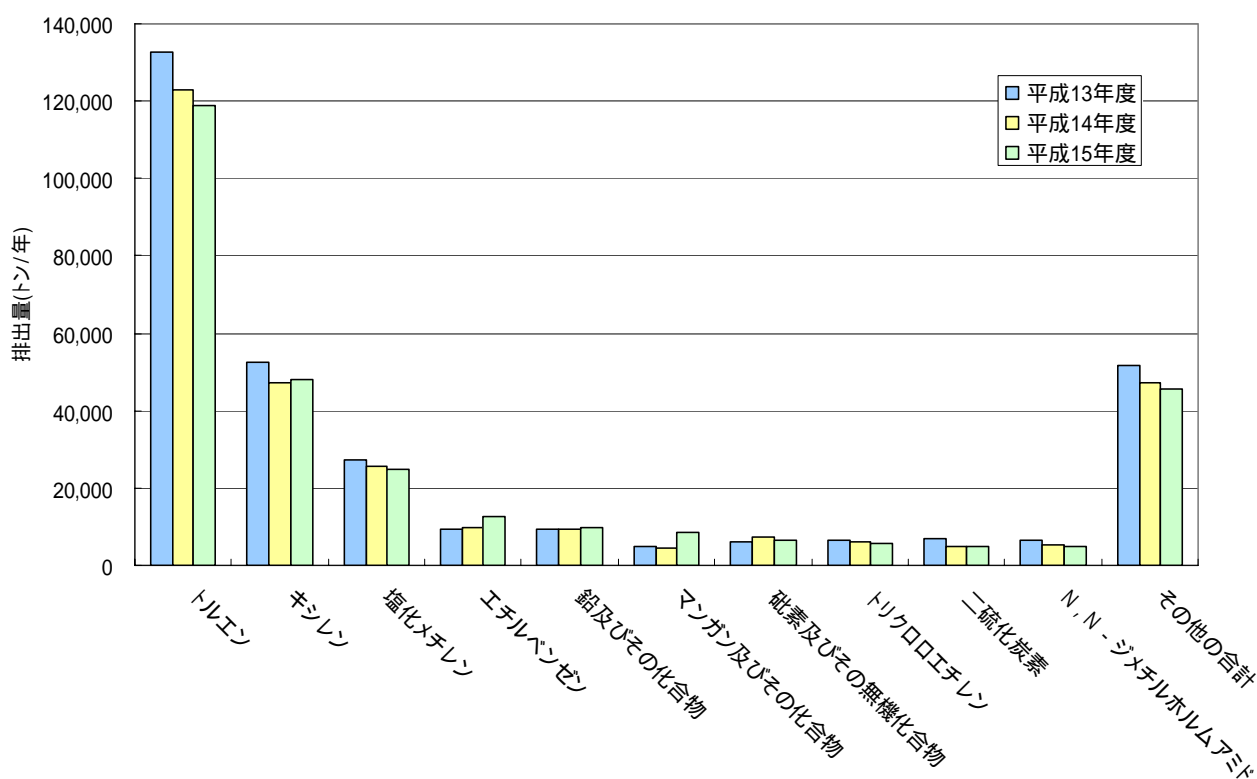


図 2-7 平成 15 年度の排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-5 平成 15 年度の排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

物質番号	対象化学物質 物質名	排出量								
		平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
227	トルエン	118,869	1	122,805	1	132,546	1	-3,936	0.968	0.897
63	キシレン	48,081	2	47,231	2	52,391	2	850	1.018	0.918
145	塩化メチレン	24,660	3	25,469	3	27,342	3	-809	0.968	0.902
40	エチルベンゼン	12,677	4	9,842	4	9,159	5	2,835	1.288	1.384
230	鉛及びその化合物	9,962	5	9,556	5	9,253	4	407	1.043	1.077
311	マンガン及びその化合物	8,724	6	4,504	10	4,792	10	4,220	1.937	1.820
252	砒素及びその無機化合物	6,499	7	7,181	6	6,016	9	-682	0.905	1.080
211	トリクロロエチレン	5,775	8	6,045	7	6,346	7	-271	0.955	0.910
241	二硫化炭素	5,056	9	4,997	9	7,078	6	59	1.012	0.714
172	N,N-ジメチルホルムアミド	4,759	10	5,223	8	6,334	8	-464	0.911	0.751
	上位10物質の合計	245,062	-	242,853	-	261,257	-	2,209	1.009	0.938
	合計	290,508	-	289,873	-	312,794	-	635	1.002	0.929

## 大気への排出量上位 10 物質

平成 15 年度の大気への排出量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-8 及び表 2-6 に示します。

大気への排出量の多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、9 物質は同じです。13 年度のベンゼンに代わり、14 年度及び 15 年度はテトラクロロエチレンが含まれています。

15 年度の上位 10 物質の大気への排出量の合計は、13 年度 252 千トン、14 年度 231 千トン、15 年度 228 千トンと推移しており、15 年度は大気への総排出量 250 千トンの 91% を占めていますが、14 年度と比べ 2.6 千トン（ 1.1% ）、13 年度に比べ 24 千トン（ 9.4% ）減少しています。

これを物質別にみると、トルエン（14 年度比 3.9 千トン、13 年度比 14 千トン）、塩化メチレン（14 年度比 0.81 千トン、13 年度比 2.7 千トン）、N, N - ジメチルホルムアミド（14 年度比 0.69 千トン、13 年度比 2.1 千トン）、トリクロロエチレン（14 年度比 0.27 千トン、13 年度比 0.57 千トン）等が減少しています。キシレンは 14 年度と比べ 0.84 千トン増加しているものの、13 年度と比べ 4.3 千トン減少し、二硫化炭素は 14 年度と比べ 48 トン増加し、13 年度と比べ 2.0 千トン減少しています。また、エチルベンゼン（14 年度比 2.8 千トン、13 年度比 3.5 千トン）が増加しています。

トルエンは、コーティングを含む加工溶剤、塗料・インク等の溶剤成分、合成原料、ガソリン成分等幅広い用途に使用されており、届出事業所数が二番目に多い物質です。キシレンも幅広い用途に使用されており、届出事業所数が最大の物質ですが、大気への排出量の業種別内訳は、輸送用機械器具製造業が 48% と最も多く、金属製品製造業 9.7%、一般機械器具製造業 9.6%、電気機械器具製造業 4.8% となっていることから、塗料等のキシレン系溶剤からの排出が主であると推測されます。トルエン及びキシレンは、キシレンが 14 年度から 15 年度にかけて 0.84 千トン増加しているものの、ともに減少の傾向を示しています。この減少の理由としては、燃焼方式・吸着方式等の排ガス処理設備の設置、塗料・インキ等の原料の変更、「装置使用の適正化」「作業の適正化」等の管理面の強化を含め、多くの事業所での削減努力によることが環境省によるアンケート調査の結果からもうかがえます（注-2）。

塩化メチレンは、排ガス処理設備の設置、炭化水素系洗浄剤等他物質への変更といった自主的な削減努力に加え、製造時にこの物質を使用する製品の市況による生産縮小等の要因もあって、13 年度の大気への排出量の 21% を占めた上位 20 事業所の 15 年度の大気への排出量は、13 年度に比べ 2.6 千トン（ 46% ）の大幅な削減となっています。

N, N - ジメチルホルムアミドは、13 年度と比べ最大の減少率を示しており、排ガス処理設備の設置、溶剤の変更等の自主的な削減努力がなされたことに加え、製造時にこの物質を使用する製品の市況による生産縮小等もあったため、13 年度に大気への排出量全体の 67% を占めた上位 10 事業所の 15 年度の大気への排出量の合計は、13 年度と比べ 2.1 千トン（ 51% ）の大幅減少となっています。

トリクロロエチレンも、炭化水素系洗浄剤等の他の物質への変更を主とする削減努力により、減少しています。

二硫化炭素は、15 年度の大気への排出量が 14 年度と比べ若干の増加はあるものの、13 年度と比べ 29% の減少を示しており、これは主に製造時にこの物質を使用するレーヨン系の生産縮小とセロファン紙製造時の回収の進展によるものと考えられます。

エチルベンゼンは、上位 10 物質の中で唯一増加し続けている物質で、15 年度の大気への排出量を業種別にみると、輸送用機械器具製造業が 59%、金属製品製造業が 9.2%、一般機械器具製造業が 8.2% を占めており、エチルベンゼンを含むキシレン系混合溶剤を使用して

いる塗料からの排出が主であると推測されます。取扱量要件の変更に伴う新たな届出を含め、新規に届出された排出量が非常に多く、増加の要因になっています。

(注-2) 「PRTR 届出対象化学物質の排出量削減に関するアンケート調査(平成16年9月)」  
(環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>)

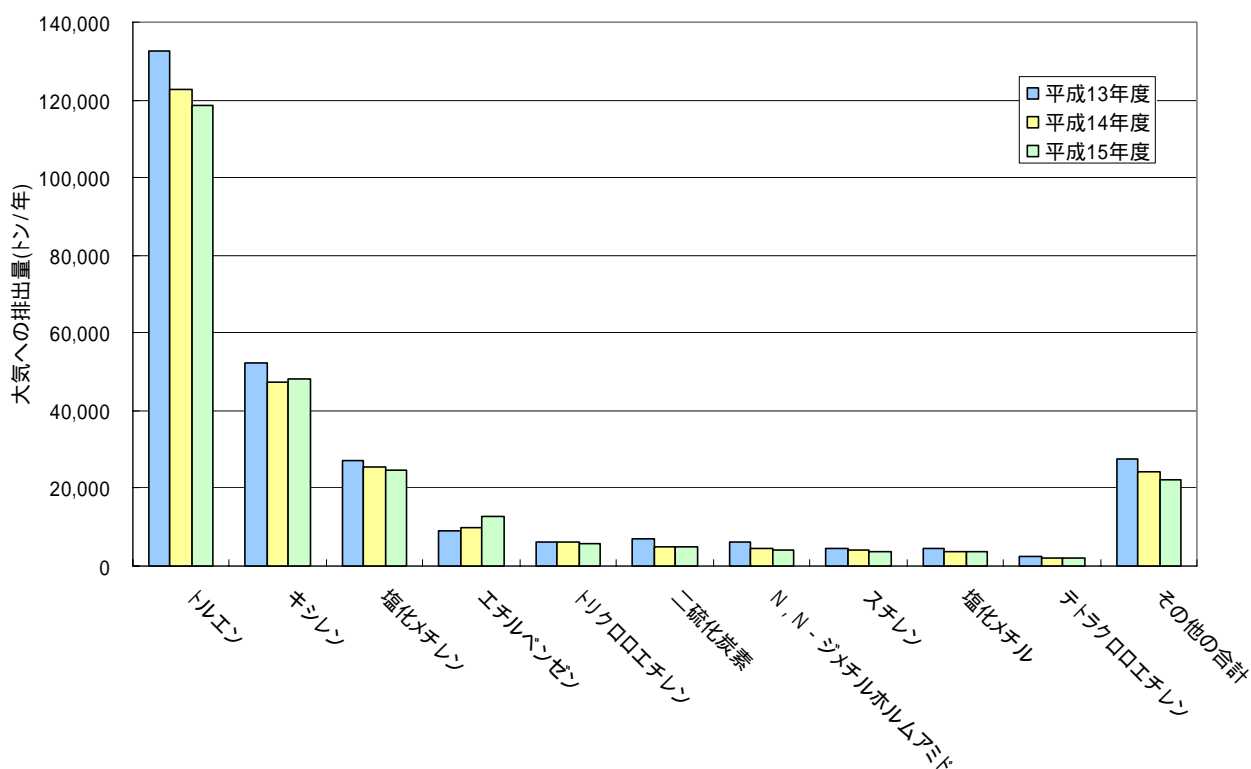


図 2-8 平成 15 年度の大気への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-6 平成 15 年度の大気への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

物質番号	対象化学物質 物質名	大気への排出量								
		平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
227	トルエン	118,772	1	122,688	1	132,419	1	-3,916	0.968	0.897
63	キシレン	48,043	2	47,202	2	52,355	2	841	1.018	0.918
145	塩化メチレン	24,637	3	25,449	3	27,322	3	-812	0.968	0.902
40	エチルベンゼン	12,674	4	9,841	4	9,157	4	2,833	1.288	1.384
211	トリクロロエチレン	5,771	5	6,042	5	6,341	6	-271	0.955	0.910
241	二硫化炭素	4,953	6	4,905	6	6,938	5	48	1.010	0.714
172	N,N-ジメチルホルムアミド	3,928	7	4,614	7	6,040	7	-686	0.851	0.650
177	スチレン	3,802	8	4,005	8	4,594	8	-203	0.949	0.828
96	塩化メチル	3,658	9	3,867	9	4,403	9	-209	0.946	0.831
200	テトラクロロエチレン	1,977	10	2,251	10	2,296	11	-274	0.878	0.861
	上位10物質の合計	228,216	-	230,864	-	251,864	-	-2,648	0.989	0.906
	合計	250,433	-	255,105	-	279,478	-	-4,672	0.982	0.896

### 公共用水域への排出量上位 10 物質

平成 15 年度の公共用水域への排出量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-9 及び表 2-7 に示します。

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、8 物質は同じです。13 年度のポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル及びトリクロロアセトアルデヒドに代わり、14 年度及び 15 年度はチオ尿素及びクロロホルムが含まれています。

15 年度の上位 10 物質の公共用水域への排出量の合計は、13 年度 9.9 千トン、14 年度 9.8 千トン、15 年度 10 千トンと推移しており、15 年度は公共用水域への総排出量の 81% を占め、14 年度と比べ 0.36 千トン (3.7%) の増加、13 年度と比べ 0.27 千トン (2.7%) の増加となっています。

これを物質別にみると、エチレングリコール(14 年度比 0.46 千トン、13 年度比 0.86 千トン)が減少しています。ふっ化水素及びその水溶性塩は 14 年度と比べ 16 トン増加しているものの、13 年度と比較すると 0.28 千トンの減少となっています。ほう素及びその化合物(14 年度比 0.50 千トン、13 年度比 0.76 千トン)、N,N-ジメチルホルムアミド(14 年度比 0.22 千トン、13 年度比 0.54 千トン)等が増加しています。

エチレングリコールは、13 年度の上位排出事業所において、除去装置の新設、原料の変換等の削減努力により減少しています。

ほう素及びその化合物は、14 年度から 15 年度にかけて増加していますが、これは非鉄金属製造業からの届出の増加によります。

排水処理は、金属化合物等の場合に多い凝集沈殿方式と有機化合物の場合に多い活性汚泥処理が主な方法です(2.(2) 注-2)。後者の場合、活性汚泥処理後の排水の分析が困難ですが、分析精度の向上により、より正確に把握した届出が行われた結果、過年度と比べ排出量が増加又は減少している例があります。

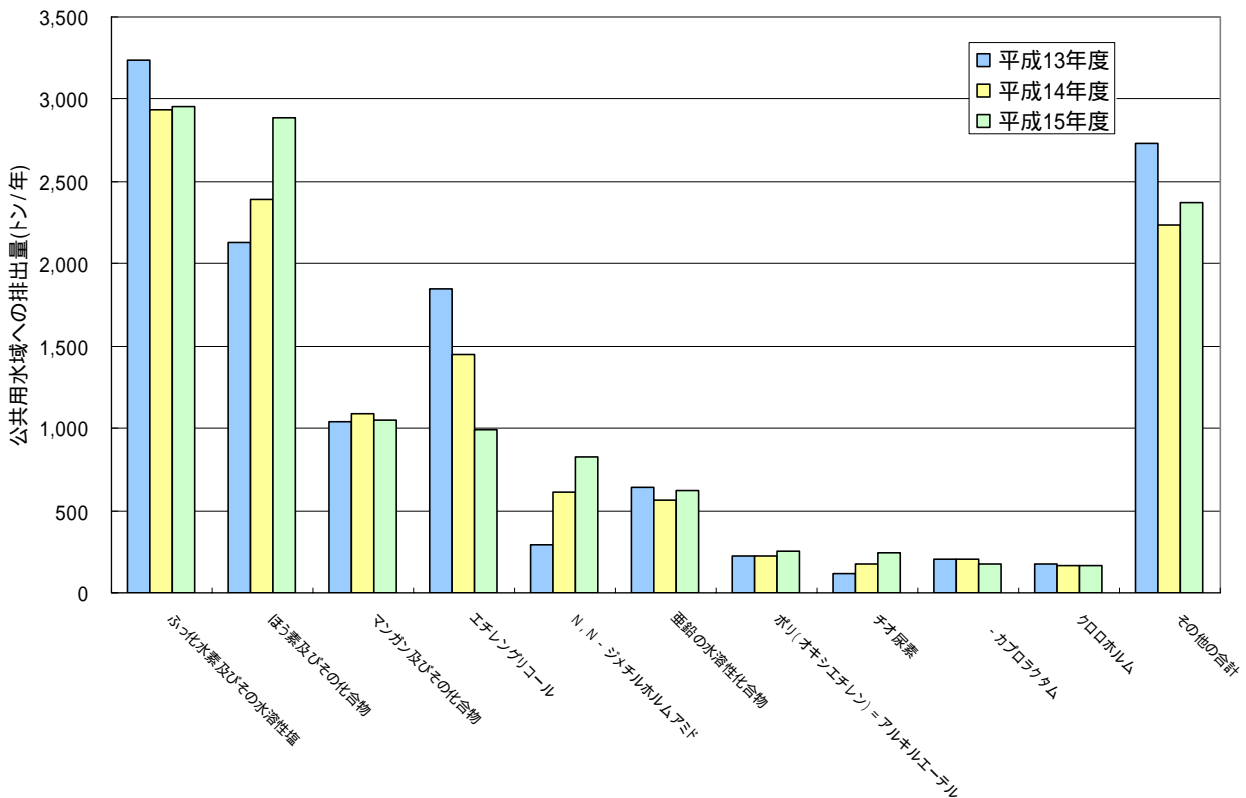


図 2-9 平成 15 年度の公共用水域への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-7 平成 15 年度の公共用水域への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

物質 番号	対象化学物質 物質名	公共用水域への排出量								
		平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,954	1	2,938	1	3,236	1	16	1.006	0.913
304	ほう素及びその化合物	2,887	2	2,392	2	2,130	2	495	1.207	1.355
311	マンガン及びその化合物	1,052	3	1,085	4	1,039	4	-33	0.969	1.013
43	エチレングリコール	987	4	1,449	3	1,845	3	-462	0.681	0.535
172	N,N-ジメチルホルムアミド	830	5	608	5	294	7	222	1.365	2.825
1	亜鉛の水溶性化合物	625	6	562	6	640	5	63	1.113	0.977
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	249	7	220	7	226	8	29	1.133	1.104
181	チオ尿素	242	8	180	9	115	17	63	1.348	2.109
61	- カプロラクタム	179	9	205	8	200	9	-26	0.872	0.897
95	クロロホルム	162	10	168	10	174	11	-6	0.966	0.928
	上位10物質の合計	10,168	-	9,807	-	9,899	-	362	1.037	1.027
	合計	12,544	-	12,041	-	12,631	-	503	1.042	0.993

### 土壌への排出量上位 10 物質

平成 15 年度の土壌への排出量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-10 及び表 2-8 に示します。

土壌への排出量が多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、6 物質は同じです。土壌への総排出量の 99%以上を占める上位 3 物質については、順位の変動はありません。

15 年度の上位 10 物質の土壌への排出量の合計は、13 年度 0.23 千トン、14 年度 0.30 千トン、15 年度 0.25 千トンと推移しており、15 年度は土壌への総排出量のほぼ 100%を占め、14 年度と比べ 49 トン ( 16% ) 減少していますが、13 年度に比べると 16 トン ( 6.9% ) 増加しています。

これを物質別にみると、スチレン ( 14 年度比 37 トン、13 年度比 41 トン ) が減少しています。エチレングリコールは 13 年度から 14 年度にかけて 70 トン増加しているものの、15 年度は 14 年度と比べ 14 トン減少しています。

エチレングリコールは、滑走路の凍結防止用に使用されて、回収できなかった分が土壌及び公共用水域へ排出されますが、エチレングリコール以外の物質は、土壌への排出量は極めて少量です。

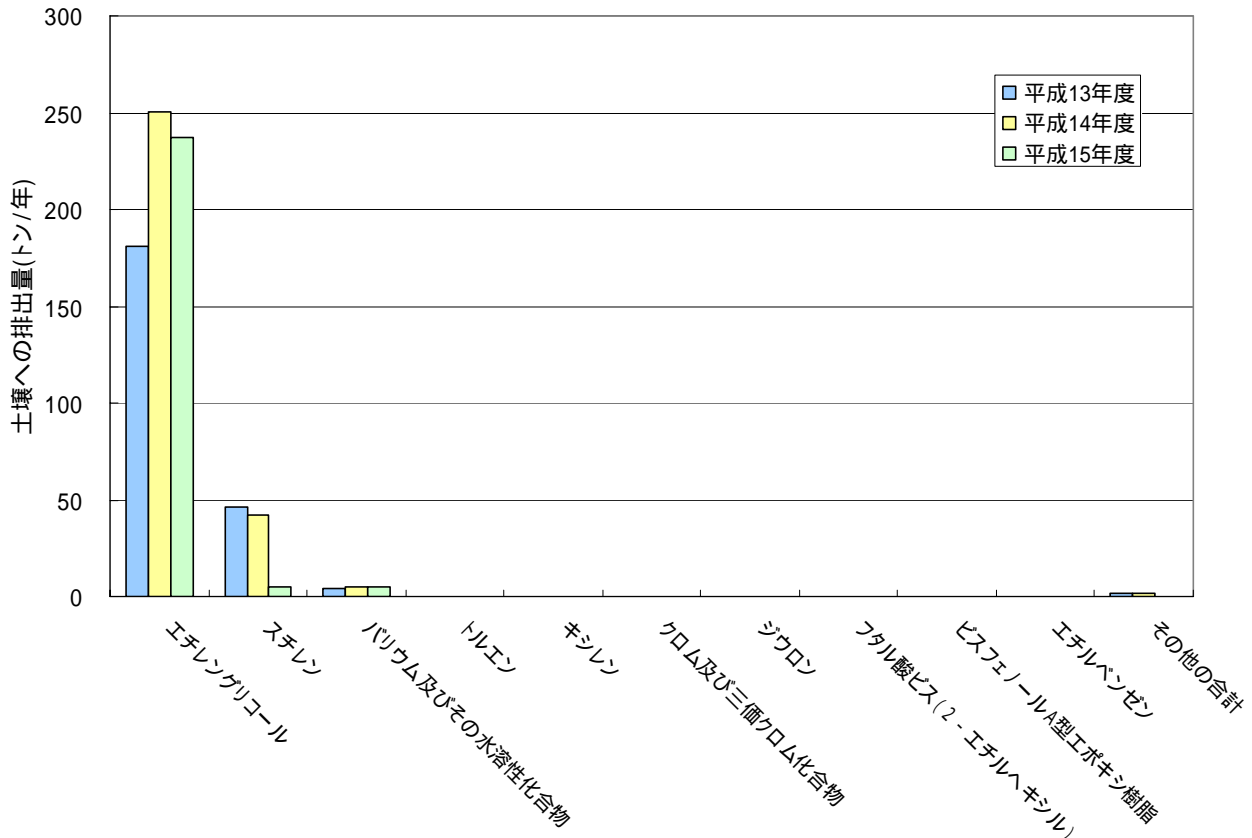


図 2-10 平成 15 年度の土壌への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-8 平成 15 年度の土壌への排出量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

対象化学物質		土壌への排出量								
物質番号	物質名	平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
43	エチレングリコール	237	1	251	1	181	1	-14	0.946	1.307
177	スチレン	5	2	42	2	46	2	-37	0.126	0.115
243	バリウム及びその水溶性化合物	5	3	5	3	4	3	0	1.079	1.313
227	トルエン	0	4	0	7	0	8	0	3.922	2.309
63	キシレン	0	5	0	6	0	5	0	2.433	0.876
68	クロム及び三価クロム化合物	0	6	0	20	0	12	0	25.000	2.174
129	ジウロン	0	7	0	39	0	9	0	0.000	1.077
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	8	0	9	0	15	0	1.369	2.119
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0	9	0	8	0	6	-0	0.878	0.207
40	エチルベンゼン	0	10	0	17	0	10	0	3.429	0.931
上位10物質の合計		249	-	298	-	233	-	-49	0.835	1.069
合計		249	-	299	-	234	-	-50	0.833	1.064

### 事業所内の埋立処分量上位 10 物質

平成 15 年度の事業所内の埋立処分量上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-11 及び表 2-9 に示します。

事業所内の埋立処分量が多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、7 物質は同じです。13 年度のテレフタル酸ジメチル、銅水溶性塩に代わり、14 年度及び 15 年度は亜鉛の水溶性化合物、アンチモン及びその化合物が含まれています。また、13 年度及び 14 年度のふっ化水素及びその水溶性塩に代わり、15 年度は上位 10 物質にモリブデン及びその化合物が含まれています。

15年度の上位10物質の事業所内の埋立処分量の合計は27千トンで、事業所内の埋立処分量の合計のほぼ100%を占め、14年度と比べ5.2千トン(23%)の増加、13年度と比べ7.4千トン(37%)の増加となっています。

これを物質別にみると、砒素及びその無機化合物(14年度比 0.68千トン)等が減少し、マンガン及びその化合物(同4.2千トン)、亜鉛の水溶性化合物(同1.5千トン)等が増加しています。

事業所内の埋立処分は、法に基づく適正な措置がなされていれば、環境への影響は小さいことが想定されます。また、亜鉛の水溶性化合物やアンチモン及びその化合物等は、事業所内の埋立処分を不定期的にまとめて大量に処理することがあるため、事業所内の埋立処分量が急激に増えることがあります。

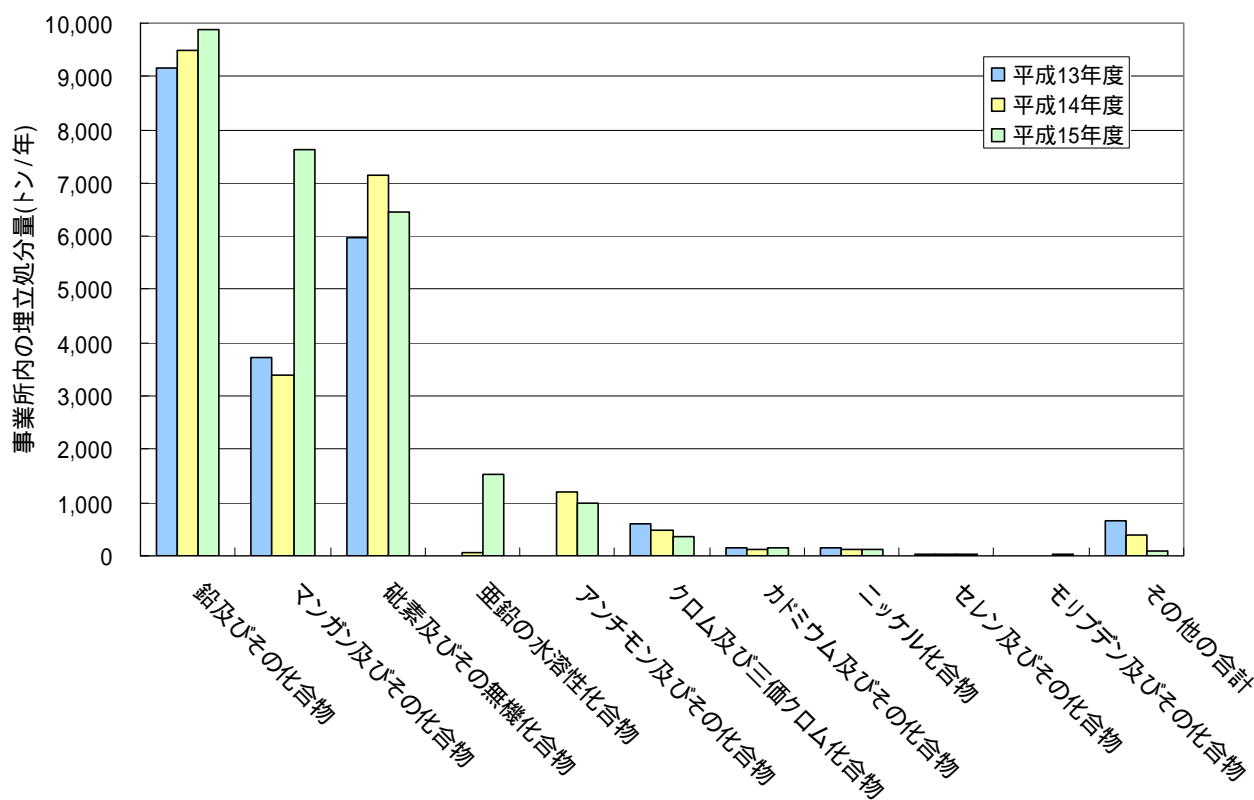


図 2-11 平成 15 年度の事業所内の埋立処分量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-9 平成 15 年度の事業所内の埋立処分量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

物質番号	対象化学物質 物質名	事業所内の埋立処分量						差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		平成15年度		平成14年度		平成13年度				
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
230	鉛及びその化合物	9,885	1	9,484	1	9,165	1	401	1.042	1.079
311	マンガン及びその化合物	7,633	2	3,387	3	3,716	3	4,245	2.253	2.054
252	砒素及びその無機化合物	6,468	3	7,148	2	5,983	2	-680	0.905	1.081
1	亜鉛の水溶性化合物	1,537	4	74	9	12	11	1,463	20.723	127.566
25	アンチモン及びその化合物	1,003	5	1,201	4	1	21	-197	0.836	765.995
68	クロム及び三価クロム化合物	370	6	489	5	593	4	-119	0.757	0.624
60	カドミウム及びその化合物	146	7	119	7	155	6	27	1.223	0.942
232	ニッケル化合物	121	8	110	8	136	7	11	1.098	0.892
178	セレン及びその化合物	18	9	22	10	32	9	-5	0.788	0.546
346	モリブデン及びその化合物	18	10	4	14	4	17	14	5.013	4.253
	上位10物質の合計	27,198	-	22,038	-	19,797	-	5,160	1.234	1.374
	合計	27,282	-	22,429	-	20,451	-	4,853	1.216	1.334



### (3)移動量

#### 移動量の物質別増減

平成 15 年度の移動量について、14 年度と比較した結果を図 2-12 及び表 2-10 に示します。

移動量が減少している物質は、石綿（ 1.3 千トン）、マンガン及びその化合物（ 0.60 千トン）、バリウム及びその水溶性化合物（ 0.42 千トン）、アニリン（ 0.22 千トン）、亜鉛の水溶性化合物（ 0.19 千トン）等、計 117 物質です。これらの物質の減少量の合計は、4.5 千トンとなっています。

一方、移動量が増加している物質は、エチレングリコール（8.2 千トン）、トルエン（4.1 千トン）、クロム及び三価クロム化合物（4.1 千トン）、N,N-ジメチルホルムアミド（2.5 千トン）、塩化メチレン（1.3 千トン）等、計 196 物質です。これらの物質の増加量の合計は 34 千トンとなっています。

石綿、バリウム及びその水溶性化合物の減少については、既に記したとおりです（2.(1)）

マンガン及びその化合物の減少は、鉄鋼業において 1.1 千トンの大幅な減少があったためです。

アニリンは、化学合成原料であり、その減少のほとんどが化学工業における減少によるものです。

亜鉛の水溶性化合物の減少も、化学工業における 0.48 千トンの減少が大きく影響しています。

エチレングリコールの増加の要因は、既に記したとおり、廃棄物としての移動量の増加によるものです（2.(1)）。エチレングリコールは自動車の不凍液の成分であり、自動車整備業では自動車から不凍液を抜き出しています。不凍液の抜き出しの工程では大気や水域への排出量が比較的少なく、また、抜き出した後の廃不凍液は廃棄物として移動しているため、移動量の増加になっていると推定されます。

一方、クロム及び三価クロム化合物は、その物性から大気等への排出は少なく、事業所内の埋立処分量又は移動量の比率が高いことが特徴で、取扱量の増加の多くは事業所内の埋立処分量が移動量の増加によるものです。クロム及び三価クロム化合物の移動量の合計の 84% を占める鉄鋼業では、特殊鋼の成分等としての使用が考えられますが、経済産業省が公表している統計（注-3）によれば、15 年度の特種鋼粗鋼生産量は 14 年度と比べ 8.8%、13 年度と比べ 17.3% の増加となっており、取扱量の増加が示唆されます。

トルエンと塩化メチレンの増加の要因は、排出削減のために回収した物質を廃棄物として移動しているためと推測されます。

（注-3） 「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計月報」（主要製品時系列表、平成 17 年 1 月）  
経済産業省 経済産業政策局調査統計部 鋳工業工業動態統計室

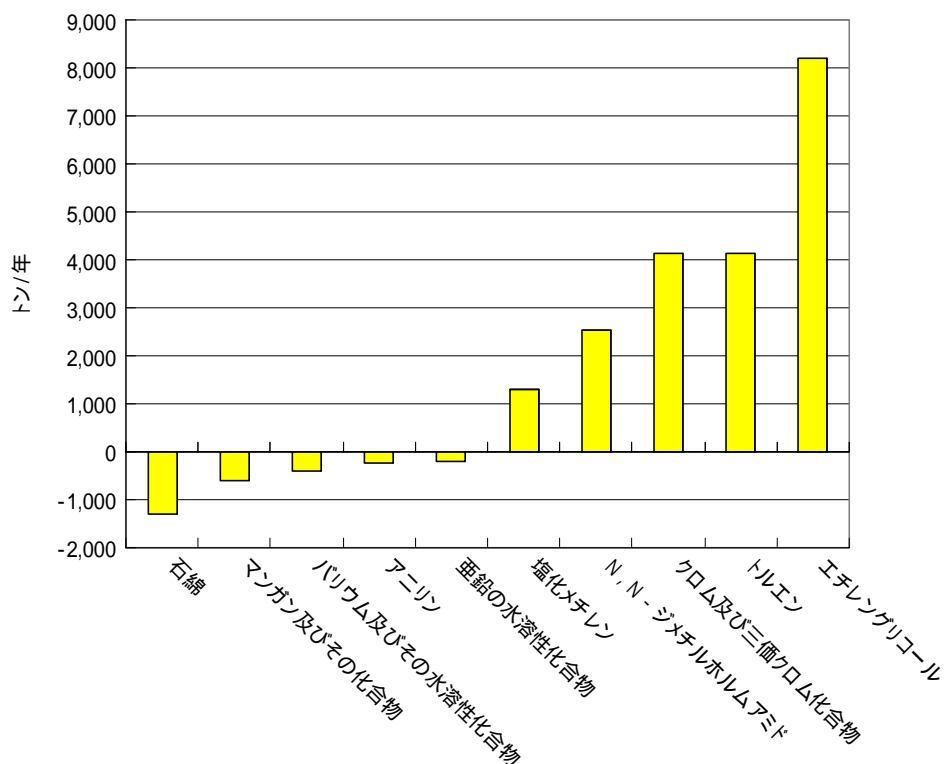


図 2-12 平成 15 年度と 14 年度の移動量の物質別増減 (増加又は減少上位 5 物質)

表 2-10 平成 15 年度と 14 年度の移動量の物質別増減

(14 年度対比 減少量の多い順)

対象化学物質		移動量及びその差と比				
物質番号	物質名	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	差:(a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	平成13年度 (トン/年)
26	石綿	1,867	3,168	-1,301	0.589	4,159
311	マンガン及びその化合物	24,166	24,761	-595	0.976	19,161
243	バリウム及びその水溶性化合物	712	1,127	-415	0.632	1,651
15	アニリン	446	665	-220	0.670	603
1	亜鉛の水溶性化合物	5,367	5,557	-189	0.966	6,880
7	アクリロニトリル	567	725	-158	0.782	662
69	六価クロム化合物	513	648	-135	0.792	653
102	酢酸ビニル	224	358	-134	0.626	546
29	ビスフェノールA	234	351	-117	0.667	444
3	アクリル酸	396	501	-106	0.789	519
.	.....	..	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..	..
113	1,4 - ジオキサン	4,072	3,252	820	1.252	2,381
40	エチルベンゼン	3,730	2,851	879	1.308	3,396
93	クロロベンゼン	2,560	1,642	918	1.559	1,391
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,824	6,707	1,117	1.167	6,456
266	フェノール	3,541	2,358	1,183	1.501	2,911
145	塩化メチレン	9,286	7,979	1,307	1.164	9,966
172	N,N - ジメチルホルムアミド	10,741	8,196	2,545	1.311	9,957
68	クロム及び三価クロム化合物	16,450	12,309	4,142	1.336	12,868
227	トルエン	50,811	46,664	4,147	1.089	45,456
43	エチレングリコール	13,864	5,668	8,197	2.446	5,118
合計		239,556	210,117	29,438	1.140	216,388

## 移動量上位 10 物質

平成 15 年度の移動量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-13 及び表 2-11 に示します。

移動量が多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、8 物質は同じです。13 年度の銅水溶性塩に代わり、14 年度及び 15 年度はエチレングリコールが含まれています。また、13 年度及び 14 年度の垂鉛の水溶性化合物に代わり、15 年度はフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)が含まれています。

15 年度の上位 10 物質の移動量の合計は、13 年度 135 千トン、14 年度 136 千トン、15 年度 159 千トンと推移しており、15 年度は総移動量の 66% を占め、14 年度と比べ 22 千トン(16%) の増加、13 年度に比べ 23 千トン(17%) の増加になっています。これを物質別にみると、増加量の多い順に、エチレングリコール(14 年度比 8.2 千トン)、トルエン(同 4.1 千トン)、クロム及び三価クロム化合物(同 4.1 千トン)、N, N - ジメチルホルムアミド(同 2.5 千トン)等が増加しています。

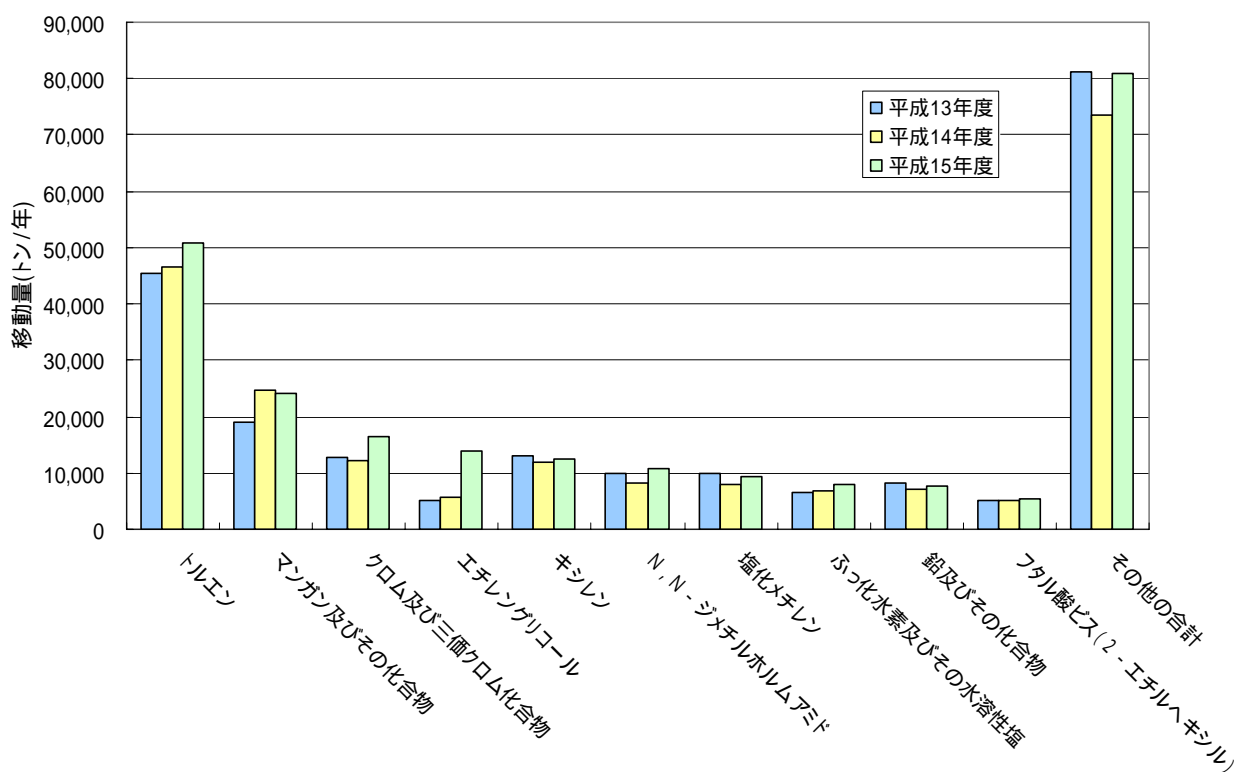


図 2-13 平成 15 年度の移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-11 平成 15 年度の移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度との比較

物質番号	対象化学物質 物質名	移動量						差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		平成15年度		平成14年度		平成13年度				
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
227	トルエン	50,811	1	46,664	1	45,456	1	4,147	1.089	1.118
311	マンガン及びその化合物	24,166	2	24,761	2	19,161	2	-595	0.976	1.261
68	クロム及び三価クロム化合物	16,450	3	12,309	3	12,868	4	4,142	1.336	1.278
43	エチレングリコール	13,864	4	5,668	9	5,118	11	8,197	2.446	2.709
63	キシレン	12,361	5	11,882	4	12,947	3	478	1.040	0.955
172	N, N - ジメチルホルムアミド	10,741	6	8,196	5	9,957	6	2,545	1.311	1.079
145	塩化メチレン	9,286	7	7,979	6	9,966	5	1,307	1.164	0.932
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,824	8	6,707	8	6,456	9	1,117	1.167	1.212
230	鉛及びその化合物	7,742	9	7,195	7	8,308	7	547	1.076	0.932
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	5,374	10	5,125	11	5,056	12	249	1.049	1.063
	上位 10 物質の合計	158,620	-	136,486	-	135,293	-	22,134	1.162	1.172
	合計	239,556	-	210,117	-	216,388	-	29,438	1.140	1.107

事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質

平成 15 年度の廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-14 及び表 2-12 に示します。

廃棄物としての移動量が多い上位 10 物質を比較すると、順位の変動はあるものの、8 物質は同じです。13 年度の銅水溶性塩に代わり、14 年度及び 15 年度はエチレングリコールが含まれています。また、13 年度及び 14 年度の亜鉛の水溶性化合物に代わり、15 年度はフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)が含まれています。

15 年度の上位 10 物質の廃棄物としての移動量の合計は、13 年度 134 千トン、14 年度 135 千トン、15 年度 157 千トンと推移しており、15 年度は廃棄物としての総移動量の 66% を占め、14 年度と比べ 22 千トン(16%)の増加が、13 年度に比べ 23 千トン(17%)の増加がみられます。

これを物質別にみると、増加量の多い順に、エチレングリコール(14 年度比 8.1 千トン)、トルエン(同 4.1 千トン)、クロム及び三価クロム化合物(同 4.1 千トン)、N,N-ジメチルホルムアミド(同 2.4 千トン)、塩化メチレン(同 1.3 千トン)等が増加しています。

移動後の廃棄物の処理が適正に実施されれば、環境への影響は非常に小さいと考えられます。なお、移動後の廃棄物は、廃棄物処理業者によってリサイクルされる場合も想定されます。

廃棄物としての移動量は、年度間で比較するとその量が大幅に変動している物質も見られます。その要因は、従来焼却処理等を行っていた事業所が廃棄物としての処理に変更する場合、廃棄物を事業所内に保存した後にまとめて処理する場合、返品・売れ残りの在庫品・使用しなかった購入原料を廃棄する場合等、不定期的に発生することが想定されます。

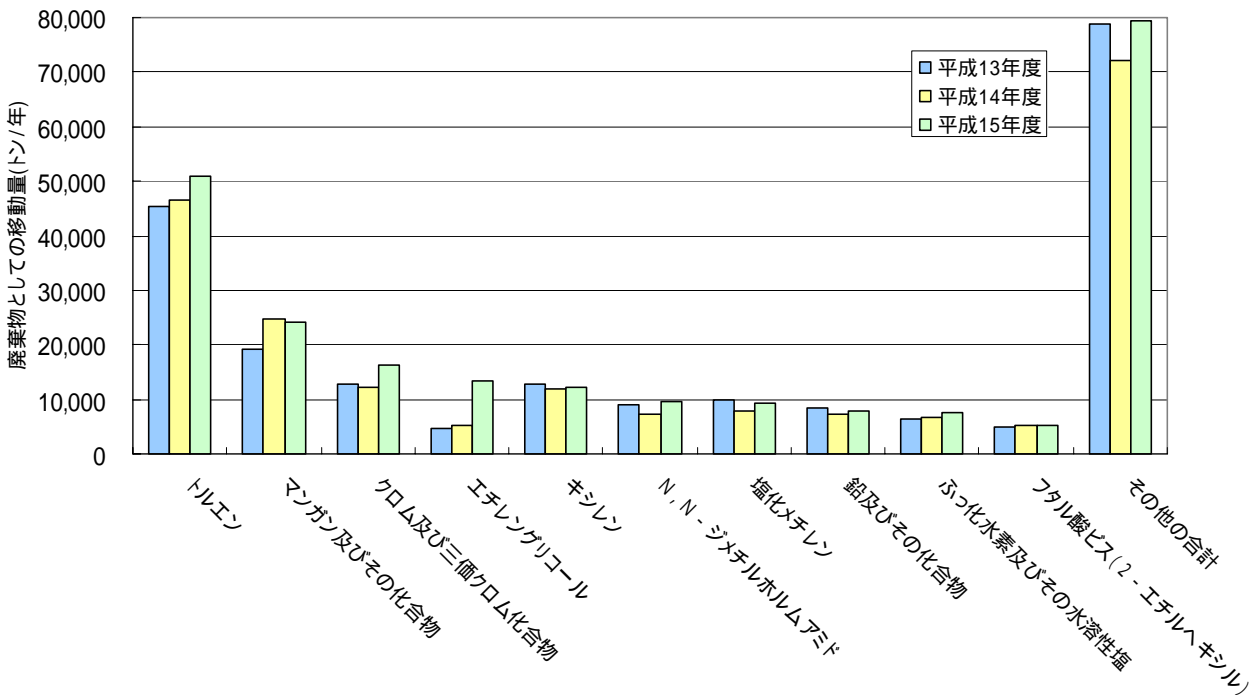


図 2-14 平成 15 年度の事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質の過年度との比較

表 2-12 平成 15 年度の事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質における  
15 年度と過年度の比較

対象化学物質		廃棄物としての移動量								
物質 番号	物質名	平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
227	トルエン	50,773	1	46,624	1	45,391	1	4,148	1.089	1.119
311	マンガン及びその化合物	24,158	2	24,755	2	19,153	2	-597	0.976	1.261
68	クロム及び三価クロム化合物	16,405	3	12,278	3	12,857	4	4,127	1.336	1.276
43	エチレングリコール	13,519	4	5,379	10	4,729	12	8,140	2.513	2.859
63	キシレン	12,335	5	11,835	4	12,894	3	501	1.042	0.957
172	N,N-ジメチルホルムアミド	9,698	6	7,248	6	9,003	6	2,449	1.338	1.077
145	塩化メチレン	9,275	7	7,971	5	9,965	5	1,304	1.164	0.931
230	鉛及びその化合物	7,742	8	7,195	7	8,307	7	547	1.076	0.932
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,688	9	6,600	8	6,363	9	1,088	1.165	1.208
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	5,374	10	5,125	11	5,056	11	249	1.049	1.063
	上位10物質の合計	156,966	-	135,010	-	133,719	-	21,956	1.163	1.174
	合計	236,467	-	207,140	-	212,415	-	29,327	1.142	1.113

#### 下水道への移動量上位 10 物質

平成 15 年度の下水道への移動量の多い上位 10 物質について、過年度と比較した結果を図 2-15 及び表 2-13 に示します。

下水道への移動量の多い上位 10 物質について比較すると、順位の変動はあるものの、6 物質は同じです。13 年度のポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル、テレフタル酸、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩に代わり、14 年度はふっ化水素及びその水溶性塩、酸化プロピレン、エピクロロヒドリンが含まれています。また、14 年度の無水フタル酸に代わり、15 年度はポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテルが含まれています。

15 年度の上位 10 物質の下水道への移動量の合計は、13 年度 2.5 千トン、14 年度 2.1 千トン、15 年度 2.3 千トンと推移しており、15 年度は下水道への総移動量の 75% を占め、14 年度と比べ 0.23 千トン(11%) 増加していますが、13 年度と比べると 0.17 千トン(7.0%) の減少となっています。

これを物質別にみると、N,N-ジメチルホルムアミド(14 年度比 96 トン)、エチレングリコール(同 56 トン)、ふっ化水素及びその水溶性塩(同 29 トン)、2-アミノエタノール(同 29 トン)、エピクロロヒドリン(同 15 トン)等が増加しています。

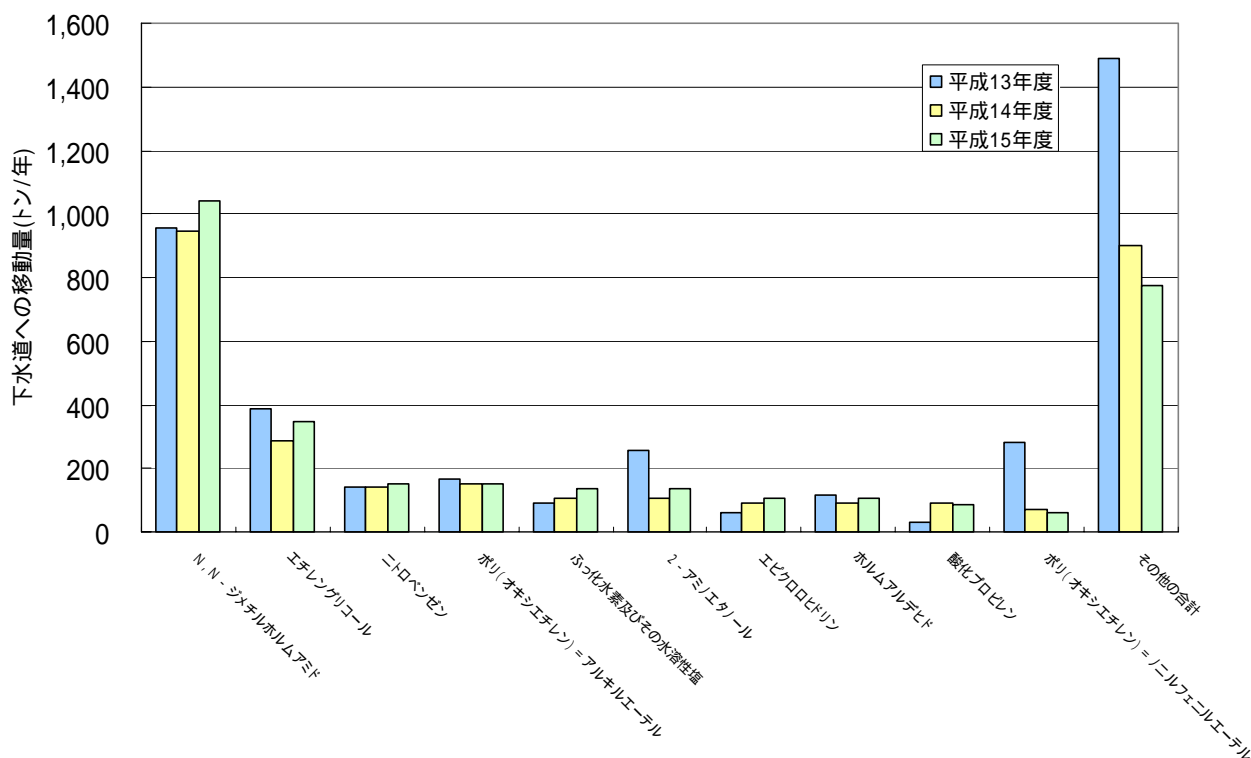


図 2-15 平成 15 年度の下水道への移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

表 2-13 平成 15 年度の下水道への移動量上位 10 物質における 15 年度と過年度の比較

対象化学物質		下水道への移動量								
物質番号	物質名	平成15年度		平成14年度		平成13年度		差:(a)-(b) (トン/年)	比:(a)/(b)	比:(a)/(c)
		値:(a) (トン/年)	順位	値:(b) (トン/年)	順位	値:(c) (トン/年)	順位			
172	N,N-ジメチルホルムアミド	1,044	1	948	1	955	1	96	1.101	1.094
43	エチレングリコール	345	2	289	2	389	3	56	1.195	0.888
240	ニトロベンゼン	150	3	140	4	140	7	10	1.071	1.068
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	150	4	149	3	168	6	1	1.005	0.891
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	136	5	106	6	93	11	29	1.275	1.463
16	2-アミノエタノール	133	6	105	7	256	5	29	1.276	0.522
54	エピクロロヒドリン	105	7	90	10	60	15	15	1.168	1.745
310	ホルムアルデヒド	104	8	93	8	114	10	12	1.126	0.919
56	酸化プロピレン	84	9	92	9	28	22	-8	0.913	3.001
309	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	61	10	68	12	283	4	-7	0.895	0.215
上位10物質の合計		2,312	-	2,079	-	2,485	-	233	1.112	0.931
合計		3,088	-	2,977	-	3,973	-	111	1.037	0.777

(4) 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

特定第一種指定化学物質の排出量・移動量の平成 13～15 年度の推移を、図 2-16、図 2-17、表 2-14 及び表 2-15、に示します。

このうち、石綿は、14 年度に引き続き、排出量、移動量共に減少しています。減少の要因は、石綿の代替品の使用が進んだことによるためと考えられます。

エチレンオキシド、塩化ビニルモノマー、ベンゼンは、14 年度に引き続き、大気への排出量が減少しています。これらの物質は有害大気汚染物質の中の優先取組物質であり、PRT R 制度の開始以前から業界団体の中で各事業者の自主管理により削減が進行していることがうかがえます。

カドミウム及びその化合物は、14年度に比べ主に事業所内の埋立処分量と廃棄物としての移動量が増加しています。

六価クロム化合物は、14年度に比べ主に廃棄物としての移動量が減少しています。

ニッケル化合物は、排出量・移動量が引き続き増加しています。

砒素及びその無機化合物は、14年度に比べ主に事業所内の埋立処分量が減少し、廃棄物としての移動量が増加しています。

ダイオキシン類は、14年度に引き続き排出量、移動量共に大幅に減少しています。その要因としては、ダイオキシン類対策特別措置法に定められた既設焼却炉の大気排出基準等が14年12月に強化されたこと等の理由が考えられます。

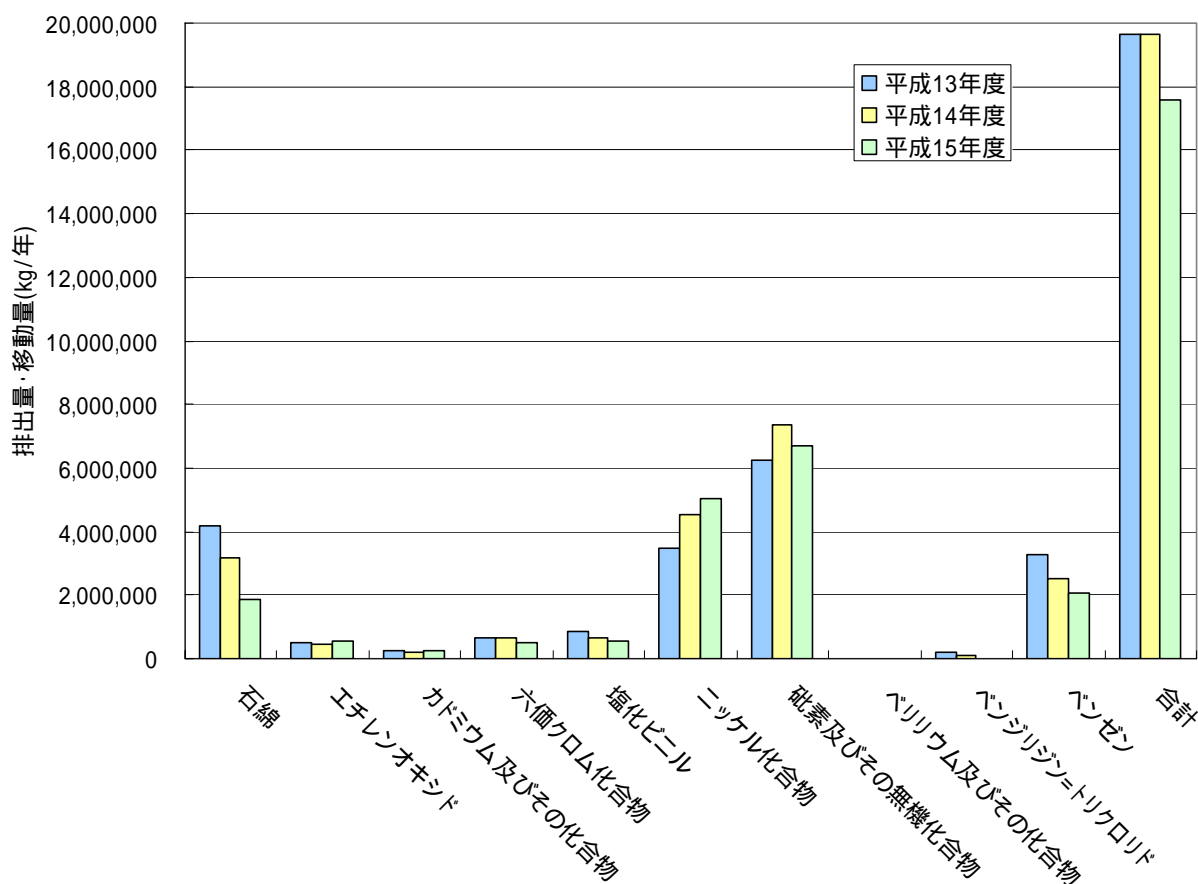


図 2-16 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量の推移（ダイオキシン類をのぞく）

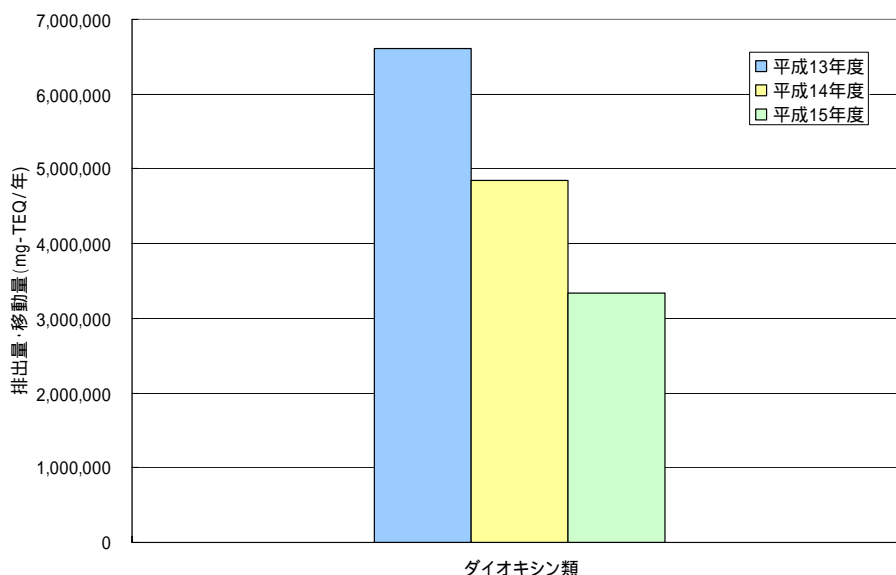


図 2-17 ダイオキシン類（特定第一種指定化学物質）の排出量・移動量の推移

表 2-14 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量の推移（ダイオキシン類をのぞく）

対象化学物質		排出量・移動量(kg/年)									
物質番号	物質名	年度	大気	公共用水域	土壌	埋立	排出量合計	廃棄物移動	下水道	移動量合計	合計
26	石綿	H15	22	27	0	0	49	1,866.973	6	1,866.979	1,867.028
		H14	31	64	0	0	95	3,167.806	12	3,167.818	3,167.913
		H13	35	104	0	0	140	4,159.173	34	4,159.207	4,159.346
42	エチレンオキシド	H15	245,190	29,833	0	0	275,023	209,116	54,060	263,176	538,199
		H14	279,119	19,774	0	0	298,893	110,903	51,567	162,470	461,363
		H13	338,748	24,198	0	0	362,946	104,524	51,094	155,618	518,564
60	カドミウム及びその化合物	H15	1,668	5,708	0	146,085	153,461	101,288	2	101,290	254,751
		H14	2,364	5,072	0	119,428	126,864	66,913	7	66,920	193,784
		H13	2,348	5,858	0	155,093	163,299	71,629	7	71,636	234,935
69	六価クロム化合物	H15	769	13,360	1	0	14,131	512,433	642	513,075	527,206
		H14	691	13,738	2	9	14,439	647,377	788	648,165	662,604
		H13	1,198	18,835	2	1	20,036	649,757	3,659	653,416	673,452
77	塩化ビニル	H15	519,261	19,107	0	0	538,369	21,829	1,950	23,779	562,148
		H14	614,045	15,442	0	120	629,607	26,291	10,200	36,491	666,099
		H13	805,218	15,552	0	550	821,320	27,762	11,900	39,662	860,982
232	ニッケル化合物	H15	8,223	107,841	1	121,150	237,215	4,772,416	18,644	4,791,060	5,028,275
		H14	6,722	98,770	2	110,379	215,873	4,291,309	21,082	4,312,392	4,528,265
		H13	11,481	105,144	54	135,770	252,449	3,178,340	29,042	3,207,382	3,459,831
252	砒素及びその無機化合物	H15	9,402	21,985	0	6,467,640	6,499,027	183,286	22	183,308	6,682,335
		H14	10,591	22,641	0	7,147,683	7,180,915	180,145	11	180,156	7,361,072
		H13	11,688	22,065	0	5,982,644	6,016,397	208,005	16	208,021	6,224,418
294	ベリリウム及びその化合物	H15	16	1	0	230	247	210	0	210	457
		H14	0	1	0	0	1	1,297	0	1,297	1,298
		H13	0	1	0	0	1	1,360	0	1,360	1,361
295	ベンジリジントリクロリド	H15	0	0	0	0	0	22,000	0	22,000	22,000
		H14	0	0	0	0	0	76,440	0	76,440	76,440
		H13	0	0	0	0	0	224,620	0	224,620	224,620
299	ベンゼン	H15	1,377,376	9,010	1	3	1,386,389	691,684	3,710	695,394	2,081,783
		H14	1,796,906	20,860	0	2	1,817,768	720,106	2,978	723,083	2,540,851
		H13	2,416,919	14,774	1	710	2,432,404	827,736	10,408	838,144	3,270,547
合計		H15	2,161,927	206,872	3	6,735,108	9,103,911	8,381,235	79,036	8,460,271	17,564,182
		H14	2,710,469	196,362	4	7,377,621	10,284,455	9,288,587	86,645	9,375,232	19,659,689
		H13	3,587,635	206,531	57	6,274,768	10,068,992	9,452,906	106,160	9,559,066	19,628,056

表 2-15 ダイオキシン類（特定第一種指定化学物質）の排出量・移動量の推移

対象化学物質		排出量・移動量(mg-TEQ/年)									
物質番号	物質名	年度	大気	公共用水域	土壌	埋立	排出量合計	廃棄物移動	下水道	移動量合計	合計
179	ダイオキシン類	H15	273,531	2,073	22	274,630	550,256	2,780,253	73	2,780,326	3,330,582
		H14	523,819	3,295	0	518,936	1,046,050	3,792,788	70	3,792,858	4,838,908
		H13	1,012,270	3,996	6	554,164	1,570,436	5,043,146	139	5,043,285	6,613,721



### 3. 業種別の排出量・移動量の比較

#### (1) 業種別の排出量・移動量の主な状況

平成 15 年度及び過年度の排出量・移動量の業種別比較を表 3-1 及び図 3-1 に示します。

15 年度は 14 年度と比べて排出・移動量は 30 千トン（6.0%）増加しています。減少している業種は 14 業種あり、出版・印刷・同関連産業（4.1 千トン）パルプ・紙・紙加工品製造業（2.0 千トン）窯業・土石製品製造業（1.3 千トン）金属鉱業（0.91 千トン）下水道業（0.28 千トン）等となっています。増加している業種は 31 業種あり、非鉄金属製造業（7.7 千トン）化学工業（7.5 千トン）自動車整備業（6.3 千トン）鉄鋼業（3.1 千トン）プラスチック製品製造業（3.1 千トン）等となっています。

表 3-1 平成 15 年度と過年度の排出量・移動量の業種別比較

（平成 14 年度対比 減少量の多い順）

業種		排出量・移動量					
業種コード	業種名	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	平成13年度: (c)(トン/年)	差: (a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	比: (a)/(c)
1900	出版・印刷・同関連産業	23,733	27,842	31,600	-4,109	0.852	0.751
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	21,242	23,276	26,367	-2,034	0.913	0.806
2500	窯業・土石製品製造業	15,784	17,049	20,736	-1,265	0.926	0.761
500	金属鉱業	6,248	7,155	5,566	-907	0.873	1.122
3830	下水道業	4,121	4,403	4,690	-282	0.936	0.879
700	原油・天然ガス鉱業	209	490	762	-281	0.426	0.274
2300	ゴム製品製造業	14,640	14,917	14,188	-278	0.981	1.032
8716	一般廃棄物処理業	107	285	664	-178	0.376	0.162
7210	洗濯業	935	997	1,075	-62	0.938	0.870
2100	石油製品・石炭製品製造業	2,876	2,935	3,433	-58	0.980	0.838
5132	石油卸売業	446	487	460	-41	0.915	0.969
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	625	647	917	-22	0.965	0.681
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	612	631	632	-19	0.970	0.969
3300	武器製造業	39	43	31	-4	0.904	1.273
3600	ガス業	72	63	37	9	1.151	1.964
7430	写真業	25	12	19	12	2.002	1.296
8722	産業廃棄物処分業	555	514	1,163	41	1.080	0.477
3700	熱供給業	50	7	13	44	7.728	3.748
5142	鉄スクラップ卸売業	78	33	35	45	2.375	2.217
1700	家具・装備品製造業	2,039	1,989	2,193	50	1.025	0.930
8620	商品検査業	76	19	20	57	3.971	3.785
8630	計量証明業	109	45	37	65	2.448	2.978
5930	燃料小売業	1,552	1,476	1,355	76	1.051	1.145
3900	鉄道業	341	238	236	103	1.433	1.444
4400	倉庫業	924	782	1,010	141	1.181	0.914
7810	機械修理業	281	122	148	159	2.304	1.894
9210	自然科学研究所	526	360	242	165	1.459	2.174
3200	精密機械器具製造業	2,627	2,435	2,525	191	1.079	1.040
3500	電気業	484	282	370	202	1.717	1.308
1200	食料品製造業	1,051	820	926	231	1.282	1.135
9140	高等教育機関	342	95	88	247	3.615	3.874
1600	木材・木製品製造業	3,324	3,060	4,077	265	1.086	0.815
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	319	10	48	308	30.729	6.581
5220	自動車卸売業	461	64	52	397	7.161	8.851
3400	その他の製造業	15,042	14,332	13,947	710	1.050	1.079
1400	繊維工業	11,189	10,327	13,237	863	1.084	0.845
3100	輸送用機械器具製造業	61,970	60,717	63,718	1,254	1.021	0.973
3000	電気機械器具製造業	32,441	31,078	29,530	1,364	1.044	1.099
2800	金属製品製造業	28,144	25,955	27,998	2,189	1.084	1.005
2900	一般機械器具製造業	14,089	11,405	12,390	2,684	1.235	1.137
2200	プラスチック製品製造業	45,428	42,367	47,458	3,061	1.072	0.957
2600	鉄鋼業	44,314	41,168	39,178	3,146	1.076	1.131
7700	自動車整備業	7,028	697	431	6,331	10.087	16.314
2000	化学工業	133,480	125,954	134,445	7,527	1.060	0.993
2700	非鉄金属製造業	30,087	22,410	21,136	7,678	1.343	1.424
	合計	530,064	499,990	529,182	30,073	1.060	1.002

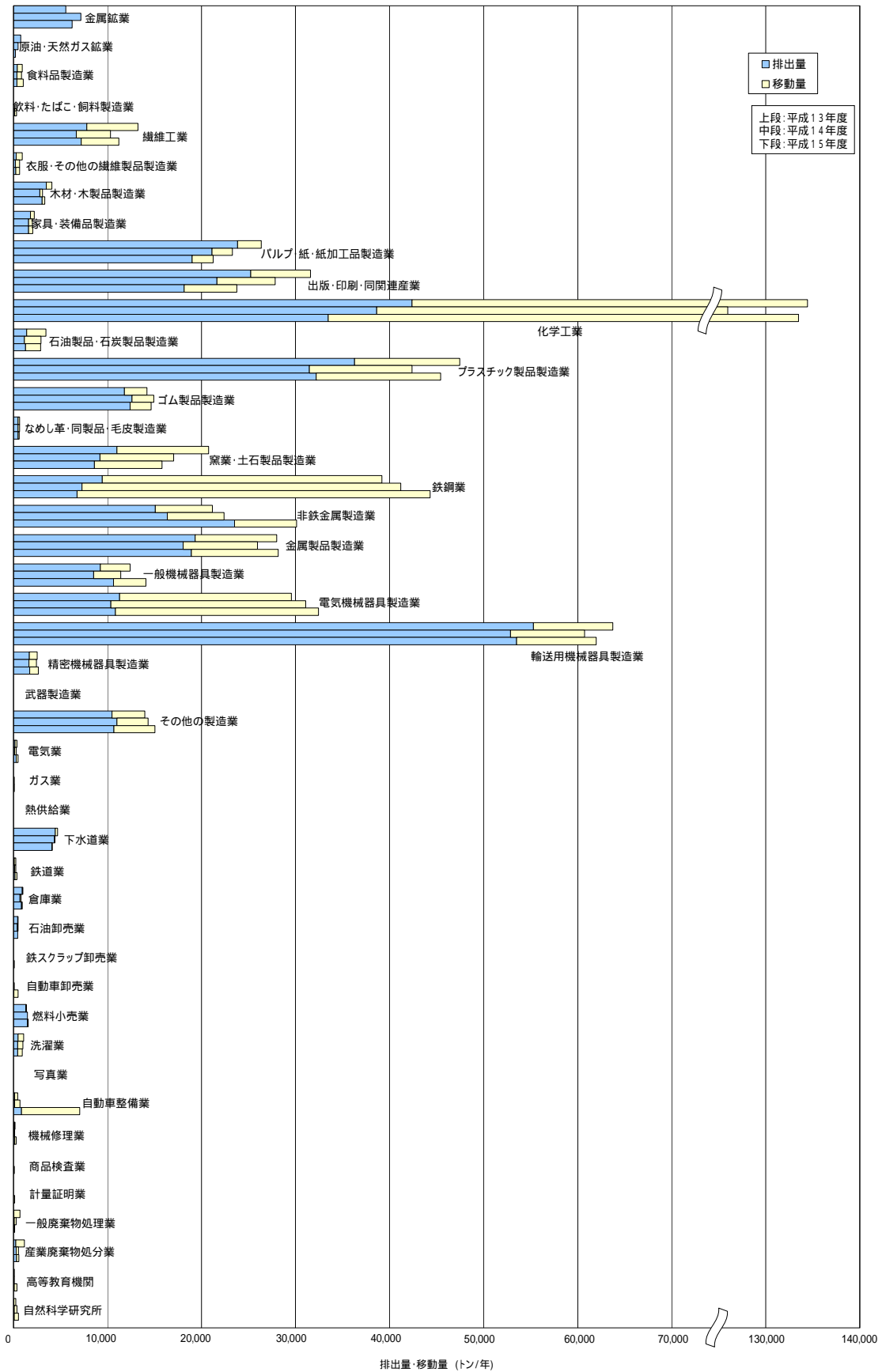


図 3-1 平成 15 年度と過年度の排出量・移動量の業種別比較

平成 15 年度及び過年度の排出量及び移動量の業種別比較を表 3-2、表 3-3 に示します。

排出量は 15 年度に 14 年度と比べ 0.63 千トン（0.22%）増加しています。減少している業種は 13 業種あり、化学工業（ 5.2 千トン） 出版・印刷・同関連産業（ 3.5 千トン） パルプ・紙・紙加工品製造業（ 2.1 千トン） 金属鉱業（ 0.90 千トン） 窯業・土石製品製造業（ 0.62 千トン）となっています。増加している業種は 32 業種あり、非鉄金属製造業（7.2 千トン） 一般機械器具製造業（2.1 千トン） 金属製品製造業（0.87 千トン） プラスチック製品製造業（0.73 千トン） 自動車整備業（0.69 千トン） 等となっています。

表 3-2 平成 15 年度と過年度の排出量の業種別比較

（平成 14 年度対比 減少量の多い順）

業種 コード	業種名	排出量					
		平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	平成13年度: (c)(トン/年)	差: (a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	比: (a)/(c)
2000	化学工業	33,458	38,627	42,396	-5,169	0.866	0.789
1900	出版・印刷・同関連産業	18,156	21,620	25,225	-3,464	0.840	0.720
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	19,009	21,091	23,832	-2,082	0.901	0.798
500	金属鉱業	6,244	7,148	5,561	-904	0.873	1.123
2500	窯業・土石製品製造業	8,586	9,210	10,999	-624	0.932	0.781
2600	鉄鋼業	6,755	7,278	9,437	-523	0.928	0.716
3400	その他の製造業	10,693	11,003	10,459	-310	0.972	1.022
700	原油・天然ガス鉱業	204	490	762	-286	0.416	0.267
3830	下水道業	4,082	4,343	4,442	-261	0.940	0.919
2300	ゴム製品製造業	12,404	12,609	11,811	-205	0.984	1.050
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	466	489	489	-22	0.955	0.953
3300	武器製造業	30	35	23	-6	0.839	1.276
5142	鉄スクラップ卸売業	4	7	20	-2	0.657	0.214
8716	一般廃棄物処理業	78	73	42	5	1.066	1.868
8630	計量証明業	12	4	6	8	2.914	2.000
7430	写真業	20	10	17	11	2.071	1.167
7210	洗濯業	432	421	470	11	1.026	0.918
5930	燃料小売業	1,481	1,470	1,333	11	1.007	1.111
1200	食料品製造業	374	363	383	11	1.032	0.977
8620	商品検査業	23	11	12	12	2.106	2.026
9210	自然科学研究所	82	63	48	20	1.316	1.700
3600	ガス業	39	15	26	24	2.566	1.506
5220	自動車卸売業	31	4	6	27	7.107	5.678
1700	家具・装備品製造業	1,615	1,579	1,794	35	1.022	0.900
9140	高等教育機関	61	22	26	39	2.746	2.360
5132	石油卸売業	446	406	437	40	1.098	1.021
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	223	183	284	40	1.219	0.785
3900	鉄道業	149	108	95	41	1.383	1.576
3700	熱供給業	50	5	13	44	9.330	3.692
8722	産業廃棄物処分業	315	267	223	48	1.180	1.413
7810	機械修理業	127	70	76	56	1.798	1.665
3200	精密機械器具製造業	1,730	1,645	1,694	85	1.052	1.021
2100	石油製品・石炭製品製造業	1,276	1,174	1,408	103	1.087	0.907
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	110	4	3	106	27.857	33.314
4400	倉庫業	826	690	932	136	1.197	0.887
3500	電気業	291	134	148	156	2.164	1.963
1600	木材・木製品製造業	3,052	2,816	3,497	237	1.084	0.873
3000	電気機械器具製造業	10,820	10,364	11,266	457	1.044	0.960
1400	繊維工業	7,204	6,679	7,797	525	1.079	0.924
3100	輸送用機械器具製造業	53,505	52,860	55,285	645	1.012	0.968
7700	自動車整備業	821	130	134	691	6.296	6.109
2200	プラスチック製品製造業	32,189	31,454	36,272	734	1.023	0.887
2800	金属製品製造業	18,910	18,039	19,328	871	1.048	0.978
2900	一般機械器具製造業	10,616	8,527	9,224	2,089	1.245	1.151
2700	非鉄金属製造業	23,507	16,333	15,058	7,174	1.439	1.561
	合計	290,508	289,873	312,794	635	1.002	0.929

移動量は15年度に14年度と比べて29千トン(14%)増加しています。減少している業種は13業種あり、出版・印刷・同関連産業(0.65千トン)窯業・土石製品製造業(0.64千トン)一般廃棄物処理業(0.18千トン)石油製品・石炭製品製造業(0.16千トン)石油卸売業(81トン)等となっています。増加している業種は32業種あり、化学工業(13千トン)自動車整備業(5.6千トン)鉄鋼業(3.7千トン)プラスチック製品製造業(2.3千トン)金属製品製造業(1.3千トン)等となっています。

表3-3 平成15年度と過年度の移動量の業種別比較

(平成14年度対比 減少量の多い順)

業種		移動量					
業種コード	業種名	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	平成13年度: (c)(トン/年)	差: (a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	比: (a)/(c)
1900	出版・印刷・同関連産業	5,576	6,222	6,375	-645	0.896	0.875
2500	窯業・土石製品製造業	7,198	7,839	9,737	-641	0.918	0.739
8716	一般廃棄物処理業	30	212	622	-183	0.140	0.048
2100	石油製品・石炭製品製造業	1,600	1,761	2,026	-161	0.909	0.790
5132	石油卸売業	0	81	23	-81	0.000	0.001
2300	ゴム製品製造業	2,236	2,309	2,377	-73	0.968	0.941
7210	洗濯業	503	576	605	-73	0.874	0.832
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	402	465	634	-62	0.866	0.635
3830	下水道業	39	60	248	-21	0.657	0.159
3600	ガス業	33	47	11	-14	0.695	3.078
8722	産業廃棄物処分量	239	246	939	-7	0.972	0.255
500	金属鉱業	4	7	5	-3	0.590	0.798
3700	熱供給業	1	1	0	-0	0.625	-
3300	武器製造業	10	8	8	2	1.193	1.263
7430	写真業	4	3	2	2	1.729	2.700
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	146	143	142	3	1.021	1.022
700	原油・天然ガス鉱業	5	0	0	5	31.733	-
4400	倉庫業	97	92	79	5	1.055	1.232
1700	家具・装備品製造業	424	410	398	15	1.036	1.065
1600	木材・木製品製造業	272	244	580	28	1.114	0.469
8620	商品検査業	52	8	9	44	6.544	6.160
3500	電気業	193	148	222	46	1.311	0.870
5142	鉄スクラップ卸売業	73	26	15	47	2.802	4.893
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2,233	2,185	2,535	48	1.022	0.881
8630	計量証明業	97	40	31	57	2.400	3.172
3900	鉄道業	192	130	141	62	1.474	1.356
5930	燃料小売業	71	6	22	65	11.618	3.271
7810	機械修理業	155	52	72	103	2.993	2.135
3200	精密機械器具製造業	896	790	830	106	1.135	1.080
9210	自然科学研究所	443	298	193	146	1.489	2.293
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	209	6	45	203	32.487	4.631
9140	高等教育機関	280	72	62	208	3.884	4.506
1200	食品製造業	677	457	543	220	1.480	1.245
1400	繊維工業	3,985	3,647	5,439	338	1.093	0.733
5220	自動車卸売業	430	60	47	370	7.165	9.226
2700	非鉄金属製造業	6,580	6,077	6,078	503	1.083	1.083
2900	一般機械器具製造業	3,473	2,878	3,165	595	1.207	1.097
3100	輸送用機械器具製造業	8,465	7,857	8,433	609	1.077	1.004
3000	電気機械器具製造業	21,621	20,714	18,264	907	1.044	1.184
3400	その他の製造業	4,349	3,329	3,488	1,020	1.306	1.247
2800	金属製品製造業	9,234	7,916	8,670	1,318	1.167	1.065
2200	プラスチック製品製造業	13,239	10,912	11,186	2,327	1.213	1.184
2600	鉄鋼業	37,559	33,890	29,741	3,669	1.108	1.263
7700	自動車整備業	6,207	566	296	5,640	10.960	20.943
2000	化学工業	100,022	87,326	92,049	12,696	1.145	1.087
	合計	239,556	210,117	216,388	29,438	1.140	1.107

(2)業種別の排出量・移動量の詳細

平成 15 年度の業種別の排出量・移動量を 14 年度と比較した結果を図 3-2 に示します。

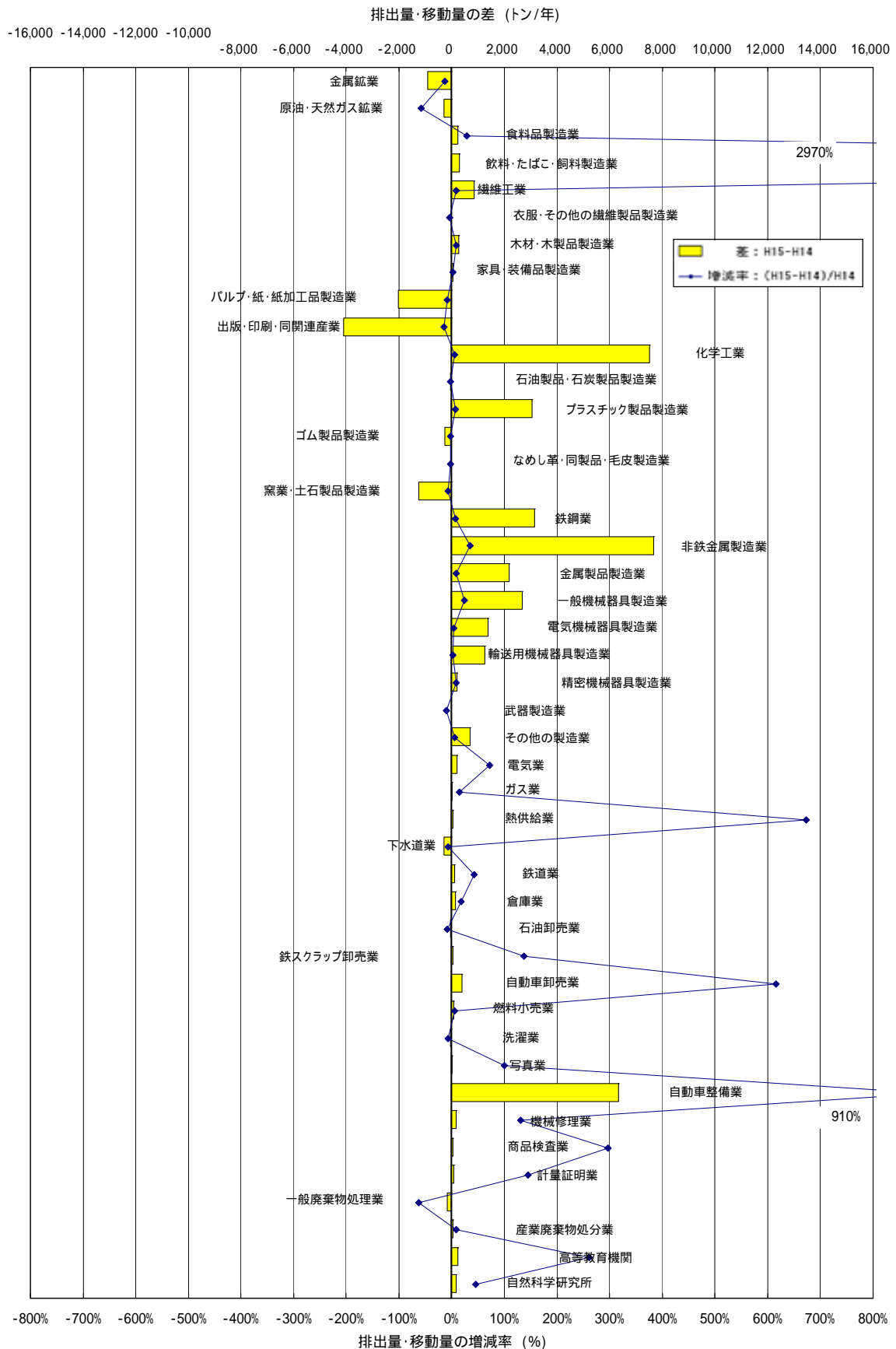


図 3-2 平成 15 年度と 14 年度の業種別の排出量・移動量の増減(排出量・移動量の差及び比率)

### 1) 金属鉱業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 1.6 千トン(29%)増加しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.90 千トン(13%)減少しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、砒素及びその無機化合物( 0.90 千トン(15%) )、鉛及びその化合物( 88 トン(9.4%) ) 等による減少です。

なお、両物質の減少の要因は主に事業所内の埋立処分量の減少です。

### 2) 原油・天然ガス鉱業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き減少し、14 年度と比べて 0.28 千トン(57%)減少しています。その主な内訳は、ベンゼン( 0.17 千トン(88%) )、トルエン( 82 トン(88%) )、キシレン( 28 トン(82%) ) 等による減少です。

なお、上記 3 物質の減少の要因は主に大気への排出量の減少です。

### 3) 製造業

#### a . 食料品製造業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 0.11 千トン(11%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.23 千トン(28%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、N , N - ジメチルホルムアミド(0.22 千トン(81%) )、H C F C - 2 2 (54 トン(210%) ) 等、合計 0.32 千トンの増加と、アセトニトリル( 38 トン(41%) )、トルエン( 23 トン(10%) ) 等、合計 93 トンの減少です。

なお、N , N - ジメチルホルムアミドの増加の要因は廃棄物としての移動量の増加で、H C F C - 2 2 の増加の要因は主に大気への排出量の増加です。

#### b . 飲料・たばこ・飼料製造業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 38 トン(79%)減少し、その主な要因はエチレンジアミン四酢酸の移動量の減少( 32 トン(100%) ) です。15 年度は 14 年度と比べて、0.31 千トン(3,000%)と大幅に増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.15 千トン(520,000%) )、クロロホルム(0.11 千トン(14 年度の届出なし))、塩化メチレン(31 トン(14 年度の届出なし)) 等が増加していることによるものです。

なお、トルエンは大気への排出量と廃棄物としての移動量がほぼ等しく増加しており、クロロホルムと塩化メチレンの増加の要因は主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### c . 繊維工業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 2.9 千トン(22%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.86 千トン(8.4%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、N , N - ジメチルホルムアミド(0.94 千トン(43%) )、塩化メチレン(0.59 千トン(420%) )、トルエン(0.34 千トン(15%) ) 等、合計 2.4 千トンの増加と、エチレングリコール( 0.68 千トン(53%) )、フタル酸ビス( 2 - エチルヘキシル)( 0.61 千トン(62%) ) 等、合計 1.5 千トンの減少です。

なお、N , N - ジメチルホルムアミドの増加の要因は、廃棄物としての移動の大幅な増加です。

主にポリエステル繊維の加工工程(減量加工等)において生成するものと想定されるエチレングリコールは、公共用水域への排出及び廃棄物としての移動ともに、15 年度は 14 年度に引き続き大きく減少し、特に公共用水域への排出は 13 年度に比べて 3 分の 1 に減少しています。

主にレーヨン系の製造に溶剤として使用されている二硫化炭素の大気への排出については、レーヨン系製造工業の縮小により、15年度は14年度に引き続き減少し、13年度に比べて43%減少しています。

d . 衣服・その他の繊維製品製造業

平成15年度は、14年度に引き続き減少し、14年度と比べて22トン(3.5%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(47トン(24%))、キシレン(40トン(58%))等の減少と、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(28トン(11%))等の増加です。

なお、3物質の増加又は減少の要因はいずれも廃棄物としての移動量の増加又は減少です。

e . 木材・木製品製造業

平成14年度は13年度と比べて1.0千トン(25%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて0.26千トン(8.6%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、主に接着剤の溶剤等としての使用が想定される塩化メチレン(0.35千トン(18%))やホルムアルデヒド(29トン(110%))等、合計0.43千トンの増加と、塗料溶剤としての使用等が想定されるトルエン(0.11千トン(19%))、キシレン(25トン(7.0%))等、合計0.17千トンの減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

f . 家具・装備品製造業

平成14年度は13年度と比べて0.20千トン(9.3%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて50トン(2.5%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、エチルベンゼン(45トン(24%))、塩化メチレン(26トン(7.2%))、1,3,5-トリメチルベンゼン(22トン(91%))等の増加と、塗料溶剤としての使用等が想定されるトルエン(51トン(10%))、キシレン(18トン(2.1%))等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

g . パルプ・紙・紙加工品製造業

平成15年度は、14年度に引き続き減少し、14年度と比べて2.0千トン(8.7%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(1.7千トン(10%))、クロロホルム(0.23千トン(23%))、エチレングリコール(0.14千トン(61%))等、合計2.3千トンの減少と、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(72トン(15%))等、合計0.25千トンの増加です。

なお、パルプ製造時の塩素系漂白工程で副生成すると想定されるクロロホルムは主に大気へ排出されますが、13年度から15年度まで続けて大幅に減少し、大気への排出量は13年度と比べて27%減少しています。

接着剤や紙加工用コーティング剤の溶剤等としての使用が想定されるトルエンも主に大気へ排出されていますが、15年度は14年度に引き続き減少し、大気への排出量が13年度と比べて20%減少しています。

h . 出版・印刷・関連産業

平成15年度は、14年度に引き続き減少し、14年度と比べて4.1千トン(15%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(4.0千トン(15%))、エチレングリコールモノメチルエーテル(0.14千トン(43%))等、合計4.2千トンの減少と、ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル(24トン(23%))等、合計0.12千トンの増加です。

なお、主に印刷インキ用溶剤としての使用が想定されるトルエンは主に大気へ排出されていますが、15年度は14年度に引き続き減少し、大気への排出量は13年度と比べて28%減少しています。

#### i . 化学工業

平成14年度は13年度と比べて8.5千トン(6.3%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて7.5千トン(6.0%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(2.4千トン(6.6%))、エチレングリコール(2.3千トン(78%))、N,N-ジメチルホルムアミド(1.0千トン(16%))、フェノール(1.0千トン(76%))等、合計14千トンの増加と、HCF C - 142 b (0.50千トン(61%))、亜鉛の水溶性化合物(0.45千トン(20%))、スチレン(0.42千トン(14%))、クロロエタン(0.40千トン(66%))等、合計6.1千トンの減少です。

なお、トルエン、エチレングリコール、N,N-ジメチルホルムアミドは廃棄物としての移動量が年々増加しているものの、大気や公共用水域への排出は大幅に減少しています。15年度は13年度と比べ、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミドの大気への排出量がそれぞれ16%、28%減少し、エチレングリコールの公共用水域への排出量が37%減少しています。また、15年度は13年度と比べ、HCF C - 142 b、スチレン、クロロエタンの大気への排出量がそれぞれ43%、34%、25%減少しています。

フェノールの増加の要因は主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### j . 石油製品・石炭製品製造業

平成15年度は、14年度に引き続き減少し、14年度と比べて58トン(2.0%)減少しています。その主な内訳は、モリブデン及びその化合物(0.19千トン(25%))、亜鉛の水溶性化合物(32トン(73%))、ベンゼン(26トン(8.8%))等の減少と、ニッケル(87トン(117%))、キシレン(42トン(19%))、マンガン及びその化合物(38トン(14年度は届出なし))等の増加です。

なお、モリブデン及びその化合物、亜鉛の水溶性化合物、ニッケル、マンガン及びその化合物の増加又は減少の要因は主に廃棄物としての移動量の増加又は減少であり、キシレン及びベンゼンの増加又は減少の要因は主に大気への排出の増加又は減少です。

#### k . プラスチック製品製造業

平成14年度は13年度と比べて5.1千トン(11%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて3.1千トン(7.2%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの内訳は、トルエン(1.4千トン(6.2%))、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(1.2千トン(62%))、クロロエタン(0.38千トン(51%)増)、N,N-ジメチルホルムアミド(0.34千トン(11%))等、合計4.1千トンの増加と、塩化メチレン(0.24千トン(7.1%))、エチレングリコールモノメチルエーテル(0.24千トン(22%))、HCF C - 142 b (0.11千トン(21%))等、合計1.0千トンの減少です。

なお、15年度に14年度と比べて増加しているトルエン及びN,N-ジメチルホルムアミドの大気への排出量は、14年度に13年度と比べて大幅に減少しており、15年度を13年度と比べると、それぞれ4.9%、34%減少しています。

プラスチックの接着用溶剤や加工機械の洗浄剤、発泡プラスチックの発泡助剤としての使用等が想定される塩化メチレンは、15年度は14年度に引き続き減少し、13年度と比べて13%の減少となっています。

主に発泡プラスチックの発泡剤としての使用が想定されるHCF C - 142 bの大気



への排出量も、15年度は14年度に引き続き減少し、13年度と比べて60%の減少となっています。

#### 1. ゴム製品製造業

平成14年度は13年度と比べて0.73千トン(5.1%)増加しているものの、15年度は14年度と比べて0.28千トン(1.9%)減少しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(0.24千トン(2.2%))、塩化メチレン(84トン(9.4%))、N,N-ジメチルホルムアミド(80トン(18%))等の減少と、キシレン(49トン(4.7%))、エチルベンゼン(40トン(39%))等の増加です。

なお、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少であり、塩化メチレンも、大気への排出量と廃棄物としての移動量がほぼ同程度に増加又は減少しています。

#### m. なめし革・同製品・毛皮製造業

平成15年度は14年度と比べて19トン(3.0%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(26トン(6.7%))、エチレングリコールモノエチルエーテル(4.9トン(14%))等の減少と、クロム及び三価クロム化合物(8.4トン(11%))、ほう素及びその化合物(4.9トン(14年度の届出なし))等の増加です。

なお、トルエンの減少の要因は主に大気への排出量の減少です。

主に皮のなめし剤としての使用が想定されるクロム及び三価クロム化合物は、廃棄物としての移動は減少しているものの、下水道への移動が増加しています。

#### n. 窯業・土石製品製造業

平成15年度は14年度に引き続き減少し、14年度と比べて1.3千トン(7.4%)減少しています。その主な内訳は、石綿(1.2千トン(41%))、キシレン(0.26千トン(9.1%))、トルエン(0.14千トン(3.1%))等、合計2.0千トンの減少と、ヘキサメチレンテトラミン(0.26千トン(2,800%))、ほう素及びその化合物(0.19千トン(21%))等、合計0.78千トンの増加です。

なお、石綿は主に廃棄物としての移動量が15年度は14年度に引き続き大幅に減少し、13年度に比べて55%減少しています。

キシレン及びトルエンの減少の要因は主に大気への排出量の減少であり、15年度は14年度に引き続き減少しています。

ヘキサメチレンテトラミン、ほう素及びその化合物の増加の要因は、いずれも主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### o. 鉄鋼業

平成15年度は14年度に引き続き増加し、14年度と比べて3.1千トン(7.6%)増加しています。その主な内訳は、クロム及び三価クロム化合物(3.7千トン(35%))、鉛及びその化合物(0.35千トン(9.5%))、ニッケル化合物(0.25千トン(16%))、モリブデン及びその化合物(0.12千トン(60%))等、合計5.4千トンの増加と、マンガン及びその化合物(1.5千トン(8.3%))、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.28千トン(20%))等、合計2.2千トンの減少です。

なお、クロム及び三価クロム化合物と鉛及びその化合物は、14年度は13年度と比べて減少しているものの、15年度は14年度と比べ、主に廃棄物としての移動量が大きく増加しているため、13年度に比べ、それぞれ33%、8.3%の増加です。

マンガン及びその化合物は、埋立処分量及び廃棄物としての移動量において、14年度は13年度と比べて大きく増加しており、15年度は14年度と比べて減少しているものの、排出量・移動量は14年度に比べて16%増加しています。

ニッケル化合物は廃棄物としての移動量において引き続き増加し、ふっ化水素及びその水溶性塩は埋立処分量において引き続き減少しています。

p. 非鉄金属製造業

平成15年度は、14年度に引き続き増加し、14年度と比べて7.7千トン(34%)と大きく増加しています。その主な内訳は、マンガン及びその化合物(5.1千トン(140%))、亜鉛の水溶性化合物(1.4千トン(300%))、鉛及びその化合物(0.60千トン(6.5%))、ほう素及びその化合物(0.45千トン(210%))、砒素及びその無機化合物(0.22千トン(17%))等、合計8.7千トンの増加と、アンチモン及びその化合物(0.21千トン(16%))、ニッケル(0.19千トン(72%))等、合計1.0千トンの減少です。

なお、マンガン及びその化合物、鉛及びその化合物は、主に埋立処分量が増加しています。

砒素及びその無機化合物、アンチモン及びその化合物の増加又は減少の要因は、主に埋立処分量の増加又は減少です。

亜鉛の水溶性化合物は、14年度は13年度と比べて主に廃棄物としての移動量が減少し、15年度は14年度と比べて主に埋立処分量が増加しています。

q. 金属製品製造業

平成14年度は13年度と比べて2.0千トン(7.3%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて2.2千トン(8.4%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、キシレン(0.49千トン(10%))、エチルベンゼン(0.42千トン(44%))、亜鉛の水溶性化合物(0.36千トン(17%))、トルエン(0.24千トン(3.9%))等、合計2.4千トンの増加と、ニッケル化合物(77トン(11%))、テトラクロロエチレン(71トン(11%))等、合計0.23千トンの減少です。

なお、主に塗装用の溶剤としての使用が想定されるキシレン、エチルベンゼンの増加の要因は、主に大気への排出の増加です。15年度は13年度と比べ、キシレンとトルエンの大気への排出量が、それぞれ6.9%、9.7%減少しています。

金属製品のメッキでの使用が考えられる亜鉛の水溶性化合物の増加又は減少の要因は、主に廃棄物としての移動の増加又は減少です。

r. 一般機械器具製造業

平成14年度は13年度と比べて0.99千トン(7.9%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて2.7千トン(24%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.78千トン(29%))、キシレン(0.77千トン(18%))、エチルベンゼン(0.37千トン(48%))、塩化メチレン(0.18千トン(18%))等、合計2.7千トンの増加と、H C F C - 2 2 (19トン(21%))等、合計53トンの減少です。

なお、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、塩化メチレンは、15年度は13年度と比べいずれも主に大気への排出の増加しています。

s. 電気機械器具製造業

平成15年度は14年度に引き続き増加し、14年度と比べて1.4千トン(4.4%)増加しています。その主な内訳は、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.44千トン(14%))、キシレン(0.32

千トン(12%)、2 - アミノエタノール(0.26 千トン(12%))等、合計 2.8 千トンの増加と、N,N - ジメチルホルムアミド( 0.39 千トン(50%))、バリウム及びその水溶性化合物(0.31 千トン(91%))等、合計 1.4 千トンの減少となっています。

なお、ふっ化水素及びその水溶性塩並びに 2 - アミノエタノールは、主に廃棄物としての移動量が 14 年度に引き続き増加しており、キシレンは主に大気への排出量が 14 年度に引き続き増加しています。

N,N - ジメチルホルムアミドは主に大気への排出量が、バリウム及びその水溶性化合物は主に廃棄物としての移動量が、いずれも 14 年度に引き続き減少しています。

#### t. 輸送用機械器具製造業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 3.0 千トン(4.7%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 1.3 千トン(2.1%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、エチルベンゼン(1.7 千トン(29%))、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(0.23 千トン(47%))、クロム及び三価クロム化合物(0.20 千トン(87%))、マンガン及びその化合物(0.19 千トン(33%))、トルエン(0.17 千トン(0.87%))等、合計 3.6 千トンの増加と、キシレン(0.90 千トン(3.5%))、塩化メチレン(0.77 千トン(19%))等、合計 2.3 千トンの減少となっています。

なお、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂、クロム及び三価クロム化合物、マンガン及びその化合物は、15 年度は 13 年度に比べ、いずれも増加していますが、これは主に廃棄物としての移動量の増加です。また、主に塗料の溶剤としての使用等が想定されるエチルベンゼンの大気への排出量は、15 年度は 14 年度に引き続き増加しています。同様の用途が想定されるキシレンの大気への排出は、15 年度は 14 年度に引き続き減少し、13 年度と比べて 12%の減少となっています。塩化メチレンの大気への排出量は、15 年度は 14 年度に引き続き減少し、13 年度と比べて 26%の減少となっています。

#### u. 精密機械器具製造業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 90 トン(3.5%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.19 千トン(7.9%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、H C F C - 1 4 1 b(48 トン(59%))、トリクロロエチレン(46 トン(8.6%))、トルエン(43 トン(20%))、キシレン(42 トン(33%))等、合計 0.29 千トンの増加と、塩化メチレン(72 トン(8.1%))等の減少となっています。

なお、トリクロロエチレンの増加の要因は大気への排出量と廃棄物としての移動量の増加であり、H C F C - 1 4 1 b、トルエン、キシレン、塩化メチレンの増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### v. 武器製造業

平成 15 年度は 14 年度と比べて 4.2 トン(9.6%)減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン(5.5 トン(15 年度の届出なし))、トリクロロエチレン(3.9 トン(24%))等の減少と、キシレン(3.6 トン(14 年度の届出なし))、鉛及びその化合物(3.3 トン(140%))等の増加です。

なお、塩化メチレン、キシレンの増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少であり、トリクロロエチレン、鉛及びその化合物の増加又は減少の要因は主に廃棄物としての移動の増加又は減少です。

#### w. その他の製造業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き増加し、14 年度と比べて 0.71 千トン(5.0%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.24 千トン(2.6%))、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.23 千トン(49%))、塩化メチレン(91 トン(5.4%))等、合計 0.94 千トンの増加と、トリクロロエチレン(70 トン(26%))、キシレン(39 トン(3.0%))等、合計 0.23 千トンの減少です。

なお、トルエンについては、廃棄物としての移動量のみが増加し、大気への排出量等は大幅に減少しています。ふっ化水素及びその水溶性塩は主に廃棄物としての移動量が、塩化メチレンは主に大気への排出量が増加しています。

トリクロロエチレンは主に大気への排出量が減少し、キシレンは大気への排出量と廃棄物としての移動量が同程度に減少しています。

#### 4)電気業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 88 トン(24%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.20 千トン(72%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、キシレン(69 トン(56%))、エチルベンゼン(34 トン、(14 年度排出量・移動量なし))、ニッケル(26 トン(35%))等、合計 0.22 千トンの増加と、石綿(15 トン(66%))等、合計 15 トンの減少となっています。

なお、キシレン、エチルベンゼンの増加の要因は主に大気への排出量の増加であり、ニッケル、石綿の増加又は減少の要因はいずれも廃棄物としての移動量の増加又は減少です。

#### 5)ガス業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き増加し、14 年度と比べて 9.5 トン(15%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(15 トン(190%))、2-アミノエタノール(9.3 トン(14 年度届出なし))、トルエン(6.3 トン(2,800%))等の増加と、エチレングリコール(35 トン(82%))等の減少です。

なお、エチレングリコールは、廃棄物としての移動量のみが増減しており、14 年度は 13 年度に比べて 40 トン増加しているものの、15 年度は 14 年度と比べ、35 トン減少しています。キシレン、トルエンは、主に大気への排出量が増加しています。

#### 6)熱供給業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 6.9 トン(51%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 44 トン(670%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、広域冷暖房の熱媒体として使用されているエチレングリコール(43 トン(760%))の増加によるもので、この増加の要因は主に大気への排出量の増加です。

#### 7)下水道業

平成 15 年度は、14 年度に引き続き減少し、14 年度と比べて 0.28 千トン(6.4%)減少しています。その主な内訳は、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.23 千トン(14%))、ほう素及びその化合物(27 トン(1.9%))、マンガン及びその化合物(21 トン(3.9%))等の減少と、無機シアン化合物(4.6 トン(13%))、銅水溶性塩(4.6 トン(7.3%))等の増加で、これらの物質の増加又は減少の要因は、すべて公共用水域への排出量の増加又は減少です。

#### 8)鉄道業

平成 15 年度は 14 年度と比べて 0.10 千トン(43%)増加しています。その主な内訳は、工

チレングリコール(69トン(110%))、キシレン(15トン(31%))等の増加と、トルエン(7.5トン(7.8%))の減少です。

なお、エチレングリコール、トルエンは主に廃棄物としての移動量が増加又は減少し、キシレンは主に大気への排出量が増加しています。

## 9)倉庫業

平成14年度は13年度と比べて0.23千トン(23%)減少しており、15年度は14年度と比べて0.14千トン(18%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(69トン(44%))、アクリロニトリル(30トン(200%))、臭化メチル(24トン(12%))等、合計0.18千トンの増加と、無水フタル酸(13トン(69%))、N,N-ジメチルホルムアミド(4.6トン(54%))等の減少です。

なお、臭化メチル、トルエンは、主に大気への排出量が14年度に引き続き増加しています。また、アクリロニトリルは、主に大気への排出量が増加しています。

## 10)石油卸売業

平成14年度は13年度と比べて27トン(5.9%)増加しているものの、15年度は14年度と比べて41トン(8.5%)減少しています。

15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(25トン(8.7%))、キシレン(7.8トン(15%))等の増加と、エチレングリコール(81トン(15年度は届出なし))等の減少です。エチレングリコールは、14年度は13年度と比べ、増加しているものの、15年度は届出がなかったため、14年度と比べ、大幅な減少となっています。

なお、トルエン及びキシレンは、主に大気への排出量が減少しています。

## 11)鉄スクラップ卸売業

平成14年度は13年度と比べて2.3トン(6.6%)減少しているものの、15年度は14年度と比べて45トン(137%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、エチレングリコール(37トン(114%))、CFC-12(7.8トン(60,000%))等、5物質が増加し、減少している物質はありません。

なお、エチレングリコール、CFC-12は主に廃車からの不凍液の抜き取りやカーエアコンからの冷媒の抜き取り等による取扱が想定されますが、これらの物質の増加の要因は主に廃棄物としての移動量の増加です。

## 12)自動車卸売業

平成15年度は、14年度に引き続き増加し、14年度と比べて397トン(620%)増加しています。その主な内訳は、エチレングリコール(0.37千トン(660%))、トルエン(12トン(280%))、キシレン(11トン(390%))等の増加で、減少している物質はありません。

なお、エチレングリコールは主に廃棄物としての移動量が増加しています。この業種では自動車からの不凍液の抜き取りを行っており、その成分であるエチレングリコールを年間1トン以上5トン未満取り扱う事業所が多いため、取扱量要件の変更に伴い、15年度に届出が増えたことが、増加の要因と推定されます。

## 13)燃料小売業

平成14年度は13年度と比べて0.12千トン(8.9%)増加し、引き続き15年度は14年度と比べて76トン(5.1%)増加しています。15年度を14年度と比べたときの主な内訳は、エチレングリコール(56トン(16%))、トルエン(9.6トン(1.2%))、キシレン(4.1トン(2.9%))等、

合計 76 トンの増加で、減少している物質はほとんどありません。

なお、エチレングリコールの大幅な増加の要因は、主に廃棄物としての移動量の増加です。この業種では自動車の不凍液の交換を行っており、その成分であるエチレングリコールを年間 1 トン以上 5 トン未満取り扱う事業所が多いため、取扱量要件の変更に伴い、15 年度に届出が増えたことが、増加の要因と推定されます。

#### 14)洗濯業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き減少し、14 年度と比べて 62 トン(6.2%)減少しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、テトラクロロエチレン(45 トン(7.5%))、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(28 トン(24%))等、合計 81 トンの増加と、フタル酸ビス(2 - エチルヘキシル)(0.13 千トン(99%))、ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(12 トン(22%))等、合計 0.14 千トンの減少です。

なお、フタル酸ビス(2 - エチルヘキシル)は主に廃棄物としての移動量が大幅に減少し、排出量・移動量は 13 年度の 1.1%まで減少しています。また、テトラクロロエチレンは大気への排出量が増加し、廃棄物の移動量が減少しています。

#### 15)写真業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 6.7 トン(35%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 12 トン(100%)増加しています。

この増加の要因は主にテトラクロロエチレン(10 トン(81%))の大気への排出量の増加です。

#### 16)自動車整備業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き増加し、14 年度と比べて 6.3 千トン(900%)増加しています。その主な内訳は、エチレングリコール(5.6 千トン(1,000%))、トルエン(0.39 千トン(450%))、キシレン(0.33 千トン(600%))等、合計 6.3 千トンの増加です。

なお、エチレングリコールの大幅な増加の要因は、廃棄物への移動量の増加です。これは、主に自動車の不凍液成分としてエチレングリコールを 1 トン以上 5 トン未満取り扱っている事業所が、取扱量要件の変更に伴い、多数届出したためと推定されます。

トルエン、キシレンの増加の要因は主に大気への排出量の増加です。

#### 17)機械修理業

平成 14 年度は 13 年度と比べて 26 トン(18%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 0.16 千トン(130%)増加しています。これは、取扱量要件の変更に伴い、届出事業所数が約 3 倍に増えたためと推定されます。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、エチレングリコール(45 トン(14 年度は届出なし))、トルエン(35 トン(100%))、キシレン(31 トン(170%))等、合計 0.16 千トンの増加と、トリクロロエチレン(3.6 トン(14%))等の減少です。

なお、エチレングリコールの増加の要因は主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### 18)商品検査業

平成 14 年度は 13 年度と比べ、0.94 トン(4.7%)減少していますが、15 年度は 14 年度と比べて 57 トン(300%)増加しています。これは、取扱量要件の変更に伴い、届出事業所数が約 6 倍に増えたためと推定されます。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(21 トン(1,300%))、テトラクロロエチレン(17 トン(220%))、キシレン(15 トン(310%))等、合計 57 トンの増加です。

なお、トルエン及びテトラクロロエチレンは主に廃棄物としての移動量が増加し、キシレンの増加の要因は大気への排出量と廃棄物としての移動量の増加です。

#### 19)計量証明業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き増加し、14 年度に比べて 65 トン(150%)増加しています。これは、取扱量要件の変更に伴い、届出事業所数が約 3 倍に増えたためと推定されます。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、トルエン(32 トン(150%))、塩化メチレン(23 トン(100%))等、合計 65 トンの増加です。

なお、トルエン、塩化メチレンの増加の要因は主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### 20)一般廃棄物処理業

平成 15 年度は 14 年度に引き続き減少し、14 年度と比べて 0.18 千トン(62%)減少しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、鉛及びその化合物(7.7 トン(75%))等、合計 17 トンの増加と、亜鉛の水溶性化合物(0.16 千トン(99%))、マンガン及びその化合物(24 トン(52%))等、合計 0.19 千トンの減少です。

なお、亜鉛の水溶性化合物は、14 年度は 13 年度と比べて 0.16 千トン(49%)と大幅に減少し、15 年度は 14 年度に引き続き 0.16 千トン(99%)減少しており、主に廃棄物としての移動量が減少しています。

ダイオキシン類については、14 年度は 13 年度と比べて 1.6kg-TEQ(27%)減少しているのに続いて、15 年度は 14 年度と比べて 1.5kg-TEQ(36%)減少しています。この減少量は、全業種の排出量・移動量の減少量の合計の 96%に相当します。また、15 年度のダイオキシン類の排出量・移動量は、一般廃棄物処理業が全業種の 80%を占めており、14 年度の 87%よりやや下がっています。

#### 21)産業廃棄物処分業

平成 14 年度は 13 年度に比べて 0.65 千トン(56%)減少しているものの、15 年度は 14 年度と比べて 41 トン(8.0%)増加しています。15 年度を 14 年度と比べたときの主な内訳は、エチレングリコール(37 トン(340,000%))、ふっ化水素及びその水溶性塩(31 トン(31%))、鉛及びその化合物(13 トン(510%))等、合計 0.12 千トンの増加と、キシレン(44 トン(88%))、トリクロロエチレン(11 トン(46%))等、合計 75 トンの減少です。

なお、主に廃棄物としての移動量が変動しているエチレングリコールは、14 年度は 13 年度と比べて 0.24 千トン(100%)と大幅に減少していますが、15 年度は 14 年度に比べ 37 トン(340,000%)増加しています。

ふっ化水素及びその水溶性塩については、公共用水域への排出量が 15 年度は 14 年度に引き続き増加しています。鉛及びその化合物の増加の要因は、主に廃棄物としての移動量の増加です。

#### 22)高等教育機関

平成 15 年度は 14 年度に引き続き増加し、14 年度と比べて 0.25 千トン(260%)増加しています。その主な内訳は、クロロホルム(0.11 千トン(160%))、塩化メチレン(80 トン(610%))、ホルムアルデヒド(21 トン(14 年度の排出量・移動量なし))等、合計 0.25 千トンの増加です。

なお、いずれの物質の増加の要因も主に廃棄物としての移動量の増加です。

### 23)自然科学研究所

平成 15 年度は平成 14 年度に引き続き増加し、14 年度と比べて 0.17 千トン(46%)増加しています。その主な内訳は、クロロホルム(51 トン(53%) )、塩化メチレン(33 トン(88%) )、トルエン(27 トン(36%) )等、合計 0.17 千トンの増加です。

なお、クロロホルム、塩化メチレン、トルエンの増加の要因は、主に廃棄物としての移動量の増加です。



#### 4. 都道府県別の排出量・移動量の比較

##### (1) 都道府県別の排出量・移動量の主な状況

平成15年度及び14年度の排出量・移動量の都道府県別推移を図4-1-1～4-1-3及び表4-1に示します。排出・移動量は14年度と比べて、14の都道府県で減少し、33の府県で増加しています。減少している上位5県は、静岡県（2.3千トン）、埼玉県（1.1千トン）、富山県（0.58千トン）、徳島県（0.56千トン）、秋田県（0.49千トン）です。増加している上位5県は、広島県（5.3千トン）、岐阜県（4.4千トン）、兵庫県（2.6千トン）、愛知県（2.3千トン）、山口県（2.3千トン）です。

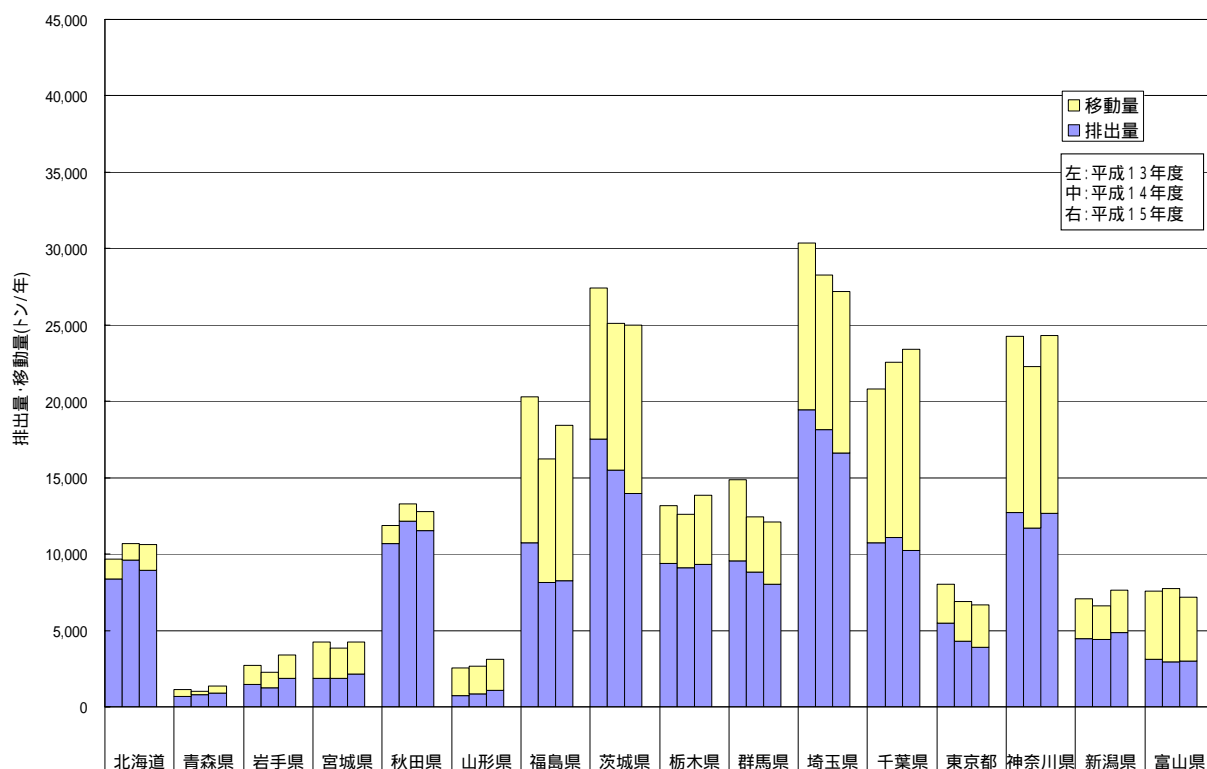


図4-1-1 平成15年度と過年度の排出量・移動量の都道府県別比較（北海道～富山県）

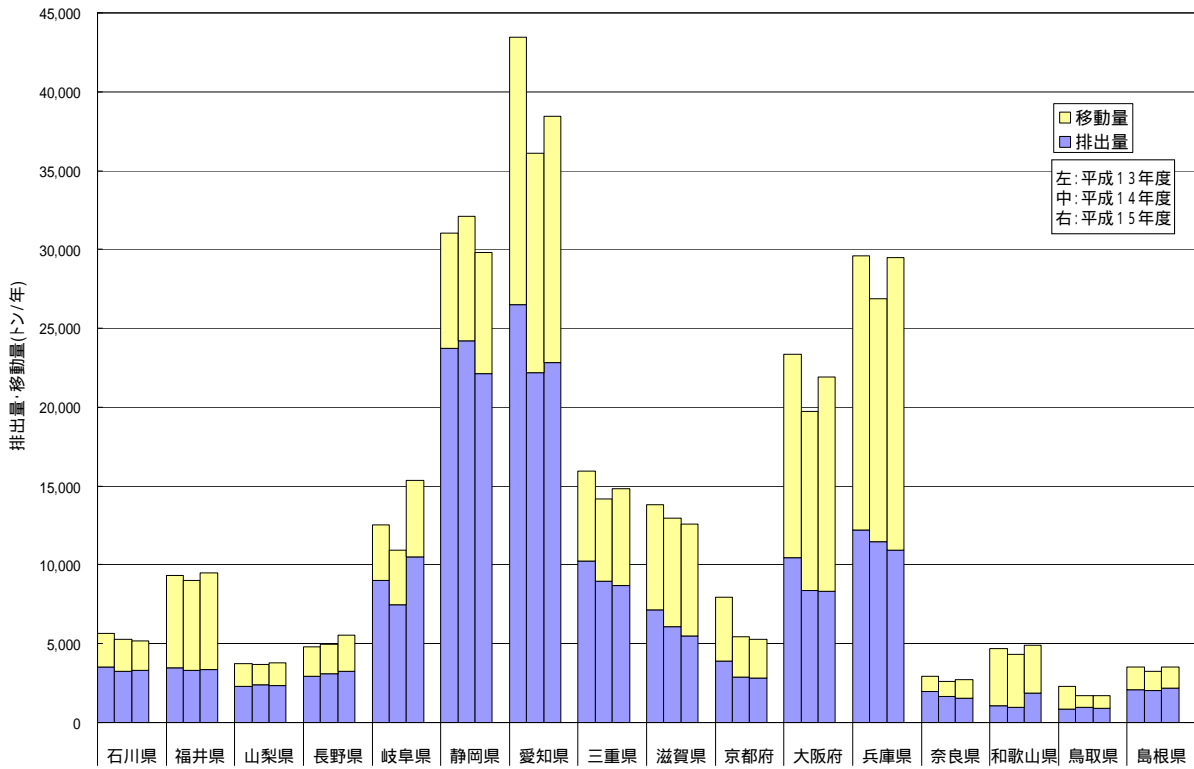


図 4-1-2 平成 15 年度と過年度の排出量・移動量の都道府県別比較（石川県～島根県）

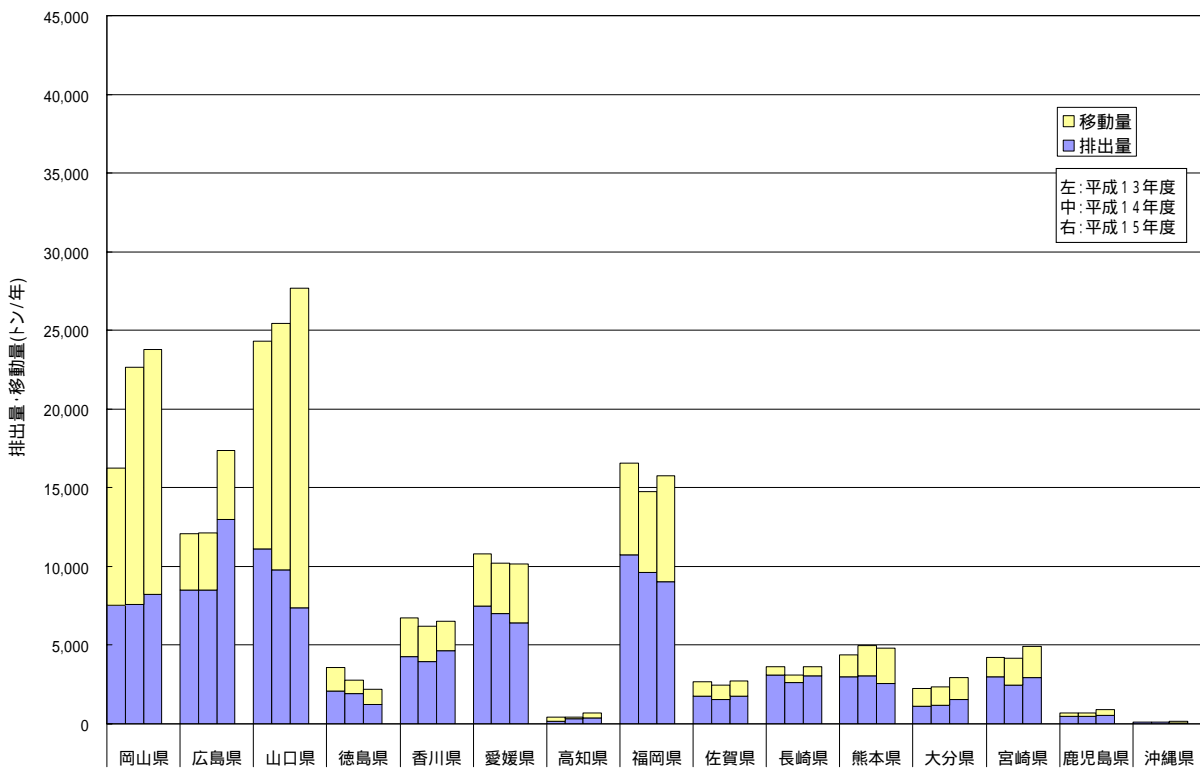


図 4-1-3 平成 15 年度と過年度の排出量・移動量の都道府県別比較（岡山県～沖縄県）

表 4-1 平成 15 年度と過年度の排出量・移動量の都道府県別比較

都道府県	排出量・移動量					
	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	平成13年度: (c)(トン/年)	差: (a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	比: (a)/(c)
北海道	10,607	10,701	9,645	-94	0.991	1.100
青森県	1,360	1,001	1,143	359	1.358	1.190
岩手県	3,372	2,278	2,714	1,094	1.480	1.242
宮城県	4,218	3,871	4,262	346	1.089	0.990
秋田県	12,798	13,288	11,854	-490	0.963	1.080
山形県	3,107	2,676	2,533	431	1.161	1.227
福島県	18,404	16,233	20,276	2,172	1.134	0.908
茨城県	24,996	25,083	27,418	-87	0.997	0.912
栃木県	13,857	12,615	13,179	1,242	1.098	1.051
群馬県	12,118	12,464	14,850	-346	0.972	0.816
埼玉県	27,213	28,267	30,356	-1,054	0.963	0.896
千葉県	23,413	22,576	20,779	837	1.037	1.127
東京都	6,692	6,889	8,053	-196	0.971	0.831
神奈川県	24,285	22,285	24,237	2,000	1.090	1.002
新潟県	7,659	6,642	7,056	1,017	1.153	1.085
富山県	7,165	7,741	7,594	-576	0.926	0.944
石川県	5,183	5,305	5,657	-121	0.977	0.916
福井県	9,478	9,017	9,353	462	1.051	1.013
山梨県	3,807	3,686	3,719	121	1.033	1.024
長野県	5,531	4,978	4,773	553	1.111	1.159
岐阜県	15,329	10,911	12,506	4,418	1.405	1.226
静岡県	29,825	32,076	31,041	-2,251	0.930	0.961
愛知県	38,420	36,072	43,478	2,348	1.065	0.884
三重県	14,817	14,179	15,949	638	1.045	0.929
滋賀県	12,571	12,942	13,823	-371	0.971	0.909
京都府	5,295	5,443	7,943	-148	0.973	0.667
大阪府	21,894	19,718	23,358	2,176	1.110	0.937
兵庫県	29,494	26,861	29,603	2,634	1.098	0.996
奈良県	2,694	2,616	2,936	78	1.030	0.918
和歌山県	4,894	4,302	4,704	592	1.138	1.040
鳥取県	1,722	1,684	2,300	38	1.023	0.749
島根県	3,522	3,257	3,542	265	1.081	0.994
岡山県	23,798	22,642	16,241	1,156	1.051	1.465
広島県	17,390	12,107	12,086	5,283	1.436	1.439
山口県	27,697	25,413	24,291	2,285	1.090	1.140
徳島県	2,193	2,757	3,554	-563	0.796	0.617
香川県	6,527	6,199	6,747	328	1.053	0.967
愛媛県	10,161	10,193	10,806	-32	0.997	0.940
高知県	696	436	404	260	1.596	1.722
福岡県	15,787	14,746	16,559	1,041	1.071	0.953
佐賀県	2,741	2,476	2,651	265	1.107	1.034
長崎県	3,646	3,102	3,610	544	1.176	1.010
熊本県	4,786	4,988	4,363	-202	0.960	1.097
大分県	2,950	2,326	2,242	623	1.268	1.315
宮崎県	4,906	4,154	4,200	752	1.181	1.168
鹿児島県	888	695	687	194	1.279	1.292
沖縄県	155	99	103	56	1.565	1.504
合計	530,064	499,990	529,182	30,073	1.060	1.002

(2) 都道府県別の排出量の主な状況

平成 15 年度及び 14 年度の都道府県別の排出量の増減を図 4-2 及び表 4-2 に示します。排出量は 14 年度と比べて、22 の都道府県で減少し、25 の県で増加しています。減少している上位 5 府県は、山口県（ 2.4 千トン）、静岡県（ 2.1 千トン）、茨城県（ 1.5 千トン）、埼玉県（ 1.5 千トン）、千葉県（ 0.83 千トン）です。増加している上位 5 県は、広島県（4.5 千トン）、岐阜県（3.0 千トン）、神奈川県（0.96 千トン）、和歌山県（0.90 千トン）、香川県（0.68 千トン）です。

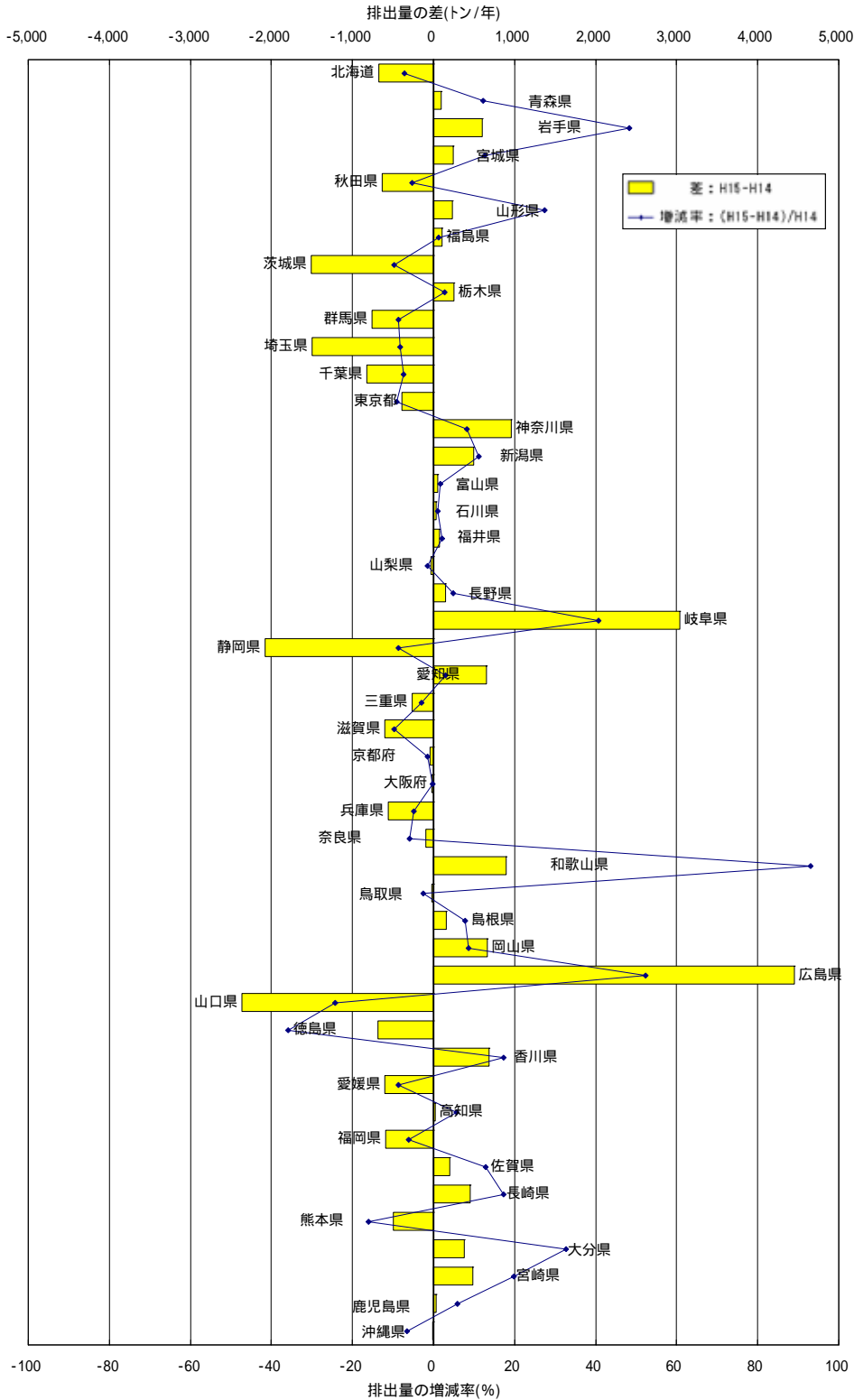


図 4-2 平成 15 年度と 14 年度の都道府県別の排出量の増減 (排出量の差及び比率)

表 4-2 平成 15 年度及び過年度の排出量の都道府県別比較

都道府県	排出量					
	平成15年度: (a)(トン/年)	平成14年度: (b)(トン/年)	平成13年度: (c)(トン/年)	差: (a)-(b) (トン/年)	比: (a)/(b)	比: (a)/(c)
北海道	8,924	9,603	8,386	-679	0.929	1.064
青森県	904	804	661	99	1.123	1.367
岩手県	1,845	1,244	1,456	601	1.484	1.267
宮城県	2,126	1,887	1,877	238	1.126	1.132
秋田県	11,550	12,180	10,674	-631	0.948	1.082
山形県	1,052	825	744	227	1.275	1.415
福島県	8,226	8,123	10,732	104	1.013	0.767
茨城県	13,974	15,481	17,506	-1,508	0.903	0.798
栃木県	9,328	9,077	9,364	252	1.028	0.996
群馬県	8,052	8,812	9,550	-760	0.914	0.843
埼玉県	16,639	18,136	19,438	-1,497	0.917	0.856
千葉県	10,250	11,078	10,735	-828	0.925	0.955
東京都	3,889	4,282	5,479	-393	0.908	0.710
神奈川県	12,642	11,687	12,739	955	1.082	0.992
新潟県	4,884	4,390	4,467	494	1.113	1.093
富山県	2,987	2,939	3,116	48	1.016	0.959
石川県	3,287	3,250	3,545	36	1.011	0.927
福井県	3,365	3,293	3,475	72	1.022	0.968
山梨県	2,360	2,393	2,292	-33	0.986	1.029
長野県	3,228	3,076	2,951	151	1.049	1.094
岐阜県	10,487	7,454	8,996	3,033	1.407	1.166
静岡県	22,152	24,230	23,740	-2,078	0.914	0.933
愛知県	22,814	22,161	26,500	653	1.029	0.861
三重県	8,684	8,946	10,241	-261	0.971	0.848
滋賀県	5,492	6,089	7,153	-597	0.902	0.768
京都府	2,841	2,886	3,877	-45	0.985	0.733
大阪府	8,343	8,369	10,438	-26	0.997	0.799
兵庫県	10,924	11,481	12,221	-557	0.951	0.894
奈良県	1,540	1,636	1,986	-95	0.942	0.776
和歌山県	1,869	968	1,055	901	1.930	1.772
鳥取県	922	946	879	-24	0.975	1.049
島根県	2,161	2,003	2,090	158	1.079	1.034
岡山県	8,249	7,589	7,519	659	1.087	1.097
広島県	12,969	8,517	8,516	4,452	1.523	1.523
山口県	7,395	9,758	11,122	-2,363	0.758	0.665
徳島県	1,227	1,911	2,099	-685	0.642	0.584
香川県	4,630	3,949	4,290	681	1.172	1.079
愛媛県	6,409	7,014	7,466	-605	0.914	0.858
高知県	350	331	174	19	1.057	2.003
福岡県	9,041	9,632	10,716	-591	0.939	0.844
佐賀県	1,778	1,576	1,762	202	1.128	1.009
長崎県	3,057	2,604	3,074	453	1.174	0.994
熊本県	2,567	3,058	2,979	-492	0.839	0.861
大分県	1,558	1,174	1,136	384	1.327	1.371
宮崎県	2,929	2,445	2,986	484	1.198	0.981
鹿児島県	531	501	504	29.9	1.060	1.053
沖縄県	79	84	88	-5.5	0.934	0.899
合計	290,508	289,873	312,794	635	1.002	0.929

### (3) 都道府県別の排出量の詳細

#### 1) 北海道

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.68 千トン(7.1%)減少しています。その主な内訳は、砒素及びその無機化合物( 0.90 千トン)、鉛及びその化合物( 88 トン)等の減少と、トルエン(0.15 千トン)、キシレン(0.11 千トン)等の増加です。

なお、砒素及びその無機化合物と鉛及びその化合物の減少の要因は事業所内の埋立処分量であり、トルエンとキシレンの増加の要因は主に大気への排出量の増加です。

#### 2) 青森県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、99 トン(12%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(31 トン)、トルエン(28 トン)、エチルベンゼン(21 トン)等の増加です。

なお、これら 3 物質の増加の要因は大気への排出量の増加です。

#### 3) 岩手県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.60 千トン(48%)増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン(0.28 千トン)、キシレン(0.15 千トン)、トルエン(42 トン)等の増加です。

なお、塩化メチレン及びトルエンの増加の要因は大気への排出量及び廃棄物としての移動量の増加であり、キシレンの増加の要因は主に大気への排出量の増加です。

#### 4) 宮城県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.24 千トン(13%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.13 千トン)、亜鉛の水溶性化合物(56 トン)、塩化メチレン(54 トン)等の増加と、H C F C - 1 4 1 b ( 50 トン)等の減少です。

なお、亜鉛の水溶性化合物の増加の要因は主に事業所内の埋立処分量の増加です。

#### 5) 秋田県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.63 千トン(5.2%)減少しています。その主な内訳は、鉛及びその化合物( 0.60 千トン)、アンチモン及びその化合物( 0.20 千トン)等の減少と、トルエン(0.11 千トン)等の増加です。

なお、鉛及びその化合物、アンチモン及びその化合物の減少は、主に事業所内の埋立処分量の減少です。

#### 6) 山形県

平成 15 年度は 14 年度と比べ 0.23 千トン(27%)増加しています。その主な内訳はトルエン(73 トン)、塩化メチレン(59 トン)、キシレン(54 トン)等の増加であり、主に大気への排出量が増加しています。

#### 7) 福島県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.10 千トン(1.3%)増加しています。その主な内訳は、ほう素及びその化合物(0.44 千トン)、トリクロロエチレン(0.18 千トン)、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.13 千トン)等の増加と、N, N - ジメチルホルムアミド( 0.49 千トン)、トルエン( 0.18 千トン)等の減少です。

なお、ほう素及びその化合物の増加の要因は、主に公共用水域への排出量の増加であり、トリクロロエチレン、N, N - ジメチルホルムアミドとトルエンの増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 8)茨城県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、1.5 千トン(9.7%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 1.0 千トン)、エチレングリコールモノメチルエーテル( 0.29 千トン)、キシレン( 0.13 千トン)、スチレン( 0.11 千トン)等の減少と、塩化メチレン(0.13 千トン)、テトラフルオロエチレン(71 トン)等の増加です。

なお、これら 6 物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 9)栃木県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.25 千トン(2.8%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.32 千トン)、キシレン(0.25 千トン)、エチルベンゼン(0.11 千トン)等の増加と、H C F C - 1 4 2 b ( 0.23 千トン)、塩化メチレン( 0.13 千トン)等の減少です。

なお、これら 5 物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 10)群馬県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.76 千トン(8.6%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 0.46 千トン)、塩化メチレン( 0.18 千トン)、塩化メチル( 0.16 千トン)等の減少です。

なお、これら 3 物質の減少の要因は主に大気への排出量の減少です。

#### 11)埼玉県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、1.5 千トン(8.3%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 1.2 千トン)、塩化メチレン( 0.26 千トン)、キシレン( 0.15 千トン)等の減少です。

なお、トルエン、塩化メチレン、キシレンの減少の要因は、主に大気への排出量の減少です。

#### 12)千葉県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.83 千トン(7.5%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 0.17 千トン)、キシレン( 0.12 千トン)、スチレン( 0.11 千トン)、酢酸ビニル( 88 トン)等の減少です。

なお、これら 4 物質の減少の要因は主に大気への排出量の減少です。

#### 13)東京都

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.39 千トン(9.2%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 0.26 千トン)、ふっ化水素及びその水溶性塩( 0.23 千トン)等の減少と、キシレン(87 トン)等の増加です。

なお、トルエンの減少の要因は主に大気への排出量の減少であり、ふっ化水素及びその水溶性塩の減少の要因は主に公共用水域への排出量の減少です。

#### 14)神奈川県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.95 千トン(8.2%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(0.46 千トン)、トルエン(0.43 千トン)、エチルベンゼン(0.21 千トン)等の増加と、1, 2 - ジクロロエタン( 66 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 15)新潟県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.49 千トン(11%)増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン(0.62 千トン)、トルエン(54 トン)、キシレン(36 トン)等の増加と、ベンゼン(0.18 千トン)、テトラクロロエチレン(78 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 16)富山県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、48 トン(1.6%)増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン(63 トン)、エチルベンゼン(51 トン)、N,N-ジメチルホルムアミド(27 トン)等の増加と、クロロホルム(88 トン)、トルエン(48 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 17)石川県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、36 トン(1.1%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.16 千トン)、キシレン(0.12 千トン)、エチルベンゼン(87 トン)、N,N-ジメチルホルムアミド(29 トン)等の増加と、エチレングリコール(0.41 千トン)、トリクロロエチレン(14 トン)等の減少です。

なお、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、N,N-ジメチルホルムアミド、トリクロロエチレンの増加又は減少の要因は大気への排出量の増加又は減少であり、エチレングリコールの減少の要因は主に公共用水域への排出量の減少です。

#### 18)福井県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、72 トン(2.2%)増加しています。その主な内訳は、テレフタル酸(0.13 千トン)、キシレン(38 トン)等の増加と、エチレングリコール(0.11 千トン)、塩化メチレン(36 トン)、トルエン(35 トン)等の減少です。

なお、テレフタル酸及びエチレングリコールの増加又は減少の要因は、主に公共用水域への排出量の増加又は減少であり、キシレン及びトルエンの増加又は減少の要因は大気への排出量の増加又は減少です。

#### 19)山梨県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、33 トン(1.4%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(98 トン)、トリクロロエチレン(13 トン)等の減少と、キシレン(19 トン)等の増加です。

なお、トルエン、キシレン及びトリクロロエチレンの増加又は減少の要因は大気への排出量の増加又は減少です。

#### 20)長野県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.15 千トン(4.9%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(87 トン)、トルエン(71 トン)等の増加と、塩化メチレン(0.11 千トン)等の減少です。

なお、キシレン、トルエン及び塩化メチレンの増加又は減少の要因は、大気への排出量の増加又は減少です。



#### 21) 岐阜県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、3.0 千トン(41%)増加しています。その主な内訳は、亜鉛の水溶性化合物(1.4 千トン)、鉛及びその化合物(1.1 千トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加の要因は、主に事業所内の埋立処分量の増加です。

#### 22) 静岡県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、2.1 千トン(8.6%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(1.0 千トン)、塩化メチレン(0.66 千トン)、キシレン(0.35 千トン)等の減少と、エチルベンゼン(84 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 23) 愛知県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.65 千トン(2.9%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(0.52 千トン)、エチルベンゼン(0.36 千トン)等の増加と、塩化メチレン(0.17 千トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 24) 三重県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.26 千トン(2.9%)減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン(0.11 千トン)、トルエン(0.10 千トン)、H C F C - 1 4 2 b(0.10 千トン)等の減少と、キシレン(75 トン)、エチルベンゼン(71 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 25) 滋賀県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.60 千トン(9.8%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(0.82 千トン)、塩化メチレン(83 トン)等の減少と、キシレン(0.16 千トン)、エチルベンゼン(0.12 千トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 26) 京都府

平成 15 年度は 14 年度と比べ、45 トン(1.5%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(0.12 千トン)、塩化メチレン(55 トン)、N, N - ジメチルホルムアミド(53 トン)等の減少と、トルエン(0.12 千トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 27) 大阪府

平成 15 年度は 14 年度と比べ、26 トン(0.31%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(69 トン)、メタクリル酸メチル(48 トン)、テトラクロロエチレン(32 トン)等の減少と、トルエン(82 トン)、塩化メチレン(76 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、大気への排出量の増加又は減少です。

#### 28) 兵庫県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.56 千トン(4.9%)減少しています。その主な内訳は、マンガン及びその化合物(0.33 千トン)、ふっ化水素及びその水溶性塩(0.31 千トン)、トルエン(0.18 千トン)等の減少と、キシレン(0.22 千トン)等の増加です。

なお、ふっ化水素及びその水溶性塩、マンガン及びその化合物の減少の要因は、主に事業所内の埋立処分量の減少であり、トルエン、キシレンの増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 29)奈良県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、95 トン(5.8%)減少しています。その主な内訳は、トリクロロエチレン( 26 トン)、塩化メチレン( 21 トン)、トルエン( 20 トン)、N, N - ジメチルホルムアミド( 19 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の減少の要因は、主に大気への排出量です。

#### 30)和歌山県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.90 千トン(93%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.87 千トン)、キシレン(22 トン)等の増加と、エチレングリコールモノエチルエーテル( 18 トン)、ベンゼン( 12 トン)等の減少です。

なお、これらの 4 物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量です。

#### 31)鳥取県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、24 トン(2.5%)減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン( 15 トン)、キシレン( 14 トン)、トルエン( 11 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の減少の要因は、主に大気への排出量の減少です。

#### 32)島根県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.16 千トン(7.9%)増加しています。その主な内訳は、N, N - ジメチルホルムアミド(0.16 千トン)、トルエン(31 トン)等の増加と、マンガン及びその化合物( 28 トン)、クロム及び三価クロム化合物( 23 トン)等の減少です。

なお、N, N - ジメチルホルムアミド、トルエンの増加の要因は、主に大気への排出量であり、マンガン及びその化合物、クロム及び三価クロム化合物の減少の要因は、事業所内の埋立処分量の減少です。

#### 33)岡山県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.66 千トン(8.7%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.44 千トン)、キシレン(0.14 千トン)、砒素及びその無機化合物(0.14 千トン)、エチルベンゼン(89 トン)等の増加と、酢酸ビニル( 57 トン)、H C F C - 1 4 2 b ( 56 トン)、フェノール( 50 トン)等の減少です。

なお、砒素及びその無機化合物の増加の要因は事業所内の埋立処分量であり、その他の 6 物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 34)広島県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、4.5 千トン(52%)増加しています。その主な内訳は、マンガン及びその化合物(4.1 千トン)、エチルベンゼン(0.37 千トン)、トルエン(0.13 千トン)等の増加と、キシレン( 0.13 千トン)、メタクリル酸メチル( 51 トン)等の減少です。

なお、マンガン及びその化合物の増加の要因は、事業所内の埋立処分量であり、その他の 4 物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

### 35)山口県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、2.4 千トン(24%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 0.67 千トン)、キシレン( 0.58 千トン)、N, N - ジメチルホルムアミド( 0.31 千トン)、テトラクロロエチレン( 0.17 千トン)、トリクロロエチレン( 0.13 千トン)、クロロホルム( 0.13 千トン)、エチルベンゼン( 99 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の減少の要因は主に大気への排出量の減少です。

### 36)徳島県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.68 千トン(36%)減少しています。その主な内訳は、トルエン( 0.67 千トン)、キシレン( 39 トン)、クロロホルム( 33 トン)、塩化ビニリデン( 28 トン)等の減少と、塩化メチレン( 75 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

### 37)香川県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.68 千トン(17%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.39 千トン)、キシレン(0.12 千トン)、エチルベンゼン( 71 トン)、二硫化炭素( 50 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加の要因は、主に大気への排出量の増加です。

### 38)愛媛県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.61 千トン(8.6%)減少しています。その主な内訳は、キシレン( 0.51 千トン)、トルエン( 0.38 千トン)、塩化メチレン( 80 トン)、スチレン( 70 トン)等の減少と、エチルベンゼン(0.26 千トン)、N, N - ジメチルホルムアミド(0.18 千トン)等の増加です。

なお、N, N - ジメチルホルムアミドの増加の要因は、主に公共用水域への排出量であり、その他の 5 物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

### 39)高知県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、19 トン(5.7%)増加しています。その主な内訳は、キシレン( 30 トン)等の増加と、トルエン( 21 トン)、ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル( 4 トン)の減少です。

なお、ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテルの減少の要因は、公共用水域への排出量であり、キシレン、トルエンの増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

### 40)福岡県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.59 千トン(6.1%)減少しています。その主な内訳は、キシレン( 0.37 千トン)、トルエン( 0.36 千トン)等の減少と、エチルベンゼン(0.16 千トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

### 41)佐賀県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.20 千トン(13%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(0.13 千トン)、トルエン( 55 トン)、エチルベンゼン( 32 トン)等の増加と、N, N - ジメチルホルムアミド( 22 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 42)長崎県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.45 千トン(17%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(0.16 千トン)、トルエン(0.13 千トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加の要因は、主に大気への排出量の増加です。

#### 43)熊本県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.49 千トン(16%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(0.61 千トン)、塩化メチレン(34 トン)、クロロホルム(24 トン)等の減少と、キシレン(73 トン)、スチレン(40 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、主に大気への排出量の増加又は減少です。

#### 44)大分県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、0.38 千トン(33%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(0.13 千トン)、エチルベンゼン(0.10 千トン)、キシレン(93 トン)等の増加です。

なお、これらの物質の増加の要因は、主に大気への排出量の増加です。

#### 45)宮崎県

平成 15 年度は 14 年度と比べ 0.48 千トン(20%)増加しています。その主な内訳は、マンガ及びその化合物(0.41 千トン)の事業所内の埋立処分量の増加です。

#### 46)鹿児島県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、30 トン(6.0%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(40 トン)等の増加と、トリクロロエチレン(9.0 トン)、塩化メチレン(8.1 トン)等の減少です。

なお、これらの物質の増加又は減少の要因は、大気への排出量の増加又は減少です。

#### 47)沖縄県

平成 15 年度は 14 年度と比べ、5.5 トン(6.6%)減少しています。その主な内訳は、ほう素及びその化合物(13 トン)等の減少と、キシレン(6.5 トン)等の増加です。

なお、キシレンの増加の要因は大気への排出量の増加であり、ほう素及びその化合物の減少の要因は公共用水域への排出量の減少です。

<本資料の問い合わせ先>

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

化学物質管理センターリスク管理課

TEL: 03-3481-1967

FAX: 03-3481-1959

E-mail: [safe@prtr.nite.go.jp](mailto:safe@prtr.nite.go.jp)

URL: <http://www.prtr.nite.go.jp/>

集計表.全国の届出排出量・移動量(平成13年度～15年度)

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
1	亜鉛の水溶性化合物	15	65,973	625,139	3	1,537,424	2,228,539	5,336,505	30,969	5,367,474	7,596,013
		14	31,503	561,744	2	74,190	667,438	5,539,417	17,136	5,556,553	6,223,992
		13	37,140	639,720	25	12,052	688,937	6,856,851	23,258	6,880,110	7,569,047
2	アクリルアミド	15	845	211	1	0	1,056	22,171	37	22,208	23,264
		14	1,208	652	2	0	1,862	20,243	45	20,288	22,150
		13	999	907	2	0	1,909	26,357	70	26,427	28,335
3	アクリル酸	15	142,383	47,995	0	0	190,378	380,401	15,210	395,611	585,989
		14	197,791	39,712	0	0	237,503	494,245	7,230	501,476	738,979
		13	278,004	27,030	0	0	305,034	508,978	10,105	519,083	824,116
4	アクリル酸エチル	15	18,843	650	0	0	19,492	19,411	346	19,757	39,249
		14	18,487	839	0	0	19,326	93,228	314	93,542	112,867
		13	21,096	1,342	0	0	22,438	46,004	274	46,278	68,715
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	15	134	61	0	0	195	1,913	0	1,913	2,108
		14	232	20	0	0	253	7,301	0	7,301	7,553
		13	143	21	0	0	164	7,900	0	7,900	8,064
6	アクリル酸メチル	15	88,101	14,110	0	0	102,211	38,893	2	38,895	141,107
		14	87,178	15,553	0	0	102,731	38,367	3	38,370	141,102
		13	78,101	13,601	0	0	91,702	33,327	0	33,327	125,028
7	アクリロニトリル	15	639,622	23,961	0	0	663,583	567,162	17	567,179	1,230,762
		14	696,966	65,204	0	0	762,170	725,374	23	725,398	1,487,568
		13	879,603	66,018	0	0	945,621	662,273	204	662,477	1,608,098
8	アクroleイン	15	1,402	25	0	0	1,427	57,000	0	57,000	58,427
		14	1,373	642	0	0	2,015	14,010	0	14,010	16,025
		13	1,854	590	0	0	2,444	11,000	0	11,000	13,444
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	15	18,088	0	1	0	18,089	153,253	1	153,253	171,343
		14	6,233	0	1	0	6,234	156,713	1	156,713	162,947
		13	8,681	120	1	0	8,803	115,209	832	116,041	124,843
10	アジポニトリル	15	0	0	0	0	0	19,000	0	19,000	19,000
		14	0	0	0	0	0	8,400	0	8,400	8,400
		13	0	0	0	0	0	1,700	0	1,700	1,700
11	アセトアルデヒド	15	110,922	59,429	0	0	170,351	169,361	0	169,361	339,711
		14	101,883	51,349	0	0	153,232	215,800	0	215,800	369,032
		13	119,652	60,152	0	0	179,804	299,720	0	299,720	479,524
12	アセトニトリル	15	223,250	17,696	0	1	240,947	3,455,022	23,743	3,478,765	3,719,711
		14	190,184	30,582	0	0	220,766	3,461,245	17,447	3,478,692	3,699,458
		13	266,554	8,225	0	0	274,779	3,197,808	10,179	3,207,987	3,482,765
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	15	47	11	0	0	58	1,216	0	1,216	1,275
		14	65	12	0	0	76	1,594	0	1,594	1,671
		13	10	401	0	0	411	1,850	0	1,851	2,261
14	o-アニシジン	15	4	0	0	0	4	4	9	13	16
		14	9	0	0	0	9	7	7	14	23
		13	8	0	0	0	8	6	7	12	20
15	アニリン	15	3,533	35,094	0	0	38,627	438,868	6,829	445,697	484,324
		14	3,199	30,174	0	0	33,373	659,443	6,046	665,489	698,862
		13	3,194	39,951	0	0	43,145	595,842	6,724	602,566	645,712
16	2-アミノエタノール	15	54,470	52,846	0	0	107,316	2,763,867	133,378	2,897,245	3,004,561
		14	56,857	24,031	0	0	80,888	2,362,860	104,506	2,467,367	2,548,254
		13	53,596	29,138	0	0	82,734	2,261,752	255,741	2,517,493	2,600,227
17	N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン(別名ジエチレントリアミン)	15	919	110,039	0	0	110,957	12,561	36	12,597	123,554
		14	928	110,004	8	0	110,940	9,381	72	9,453	120,394
		13	944	120,023	12	0	120,979	11,265	71	11,336	132,315
18	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィプロニル)	15	0	0	0	0	485	0	485	485	
		14	0	0	0	0	394	0	394	394	
		13	0	0	0	0	443	0	443	443	
19	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール(別名アミトロール)	15	0	1	0	0	1	101	0	101	102
		14	4	18	0	0	21	30	0	30	51
		13	10	26	0	0	36	8,009	0	8,009	8,045
20	2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィノイル]酪酸(別名グルホシネート)	15	0	0	0	0	0	58	0	58	58
		14	0	0	0	0	0	140	0	140	140
		13	0	0	0	0	0	46	0	46	46
21	m-アミノフェノール	15	0	114	0	0	114	2,327	0	2,327	2,441
		14	0	90	0	0	90	595	0	595	685
		13	0	121	0	0	121	37,037	0	37,037	37,158
22	アリルアルコール	15	7,280	11,248	0	0	18,528	157,450	500	157,950	176,478
		14	5,320	2,048	0	0	7,368	128,523	10	128,533	135,901
		13	48,596	7,631	0	0	56,228	74,193	0	74,193	130,421
23	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	15	2,673	8	0	0	2,681	39,270	0	39,270	41,951
		14	3,078	0	0	160	3,238	33,996	0	33,996	37,234
		13	4,001	0	0	0	4,001	27,377	0	27,377	31,378
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	15	13,752	47,886	0	0	61,638	563,002	22,137	585,139	646,777
		14	5,528	35,308	0	270	41,106	614,395	34,022	648,417	689,523
		13	8,607	37,591	0	380	46,578	1,476,040	115,527	1,591,567	1,638,145
25	アンチモン及びその化合物	15	9,305	7,525	34	1,003,453	1,020,317	1,051,217	1,123	1,052,340	2,072,657
		14	8,175	6,560	3	1,200,796	1,215,533	757,296	1,670	758,966	1,974,499
		13	8,283	4,090	6	1,310	13,689	685,092	1,049	686,140	699,829
26	石綿	15	22	27	0	0	49	1,866,973	6	1,866,979	1,867,028
		14	31	64	0	0	95	3,167,806	12	3,167,818	3,167,913
		13	35	104	0	0	140	4,159,173	34	4,159,207	4,159,346
27	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート	15	256	0	0	0	256	31,058	0	31,058	31,313
		14	543	0	0	0	543	10,105	0	10,105	10,648
		13	405	0	0	0	405	3,195	0	3,195	3,600

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
28	イソブレン	15	55,427	0	0	0	55,427	15,434	21,793	37,227	92,654
		14	77,943	0	0	0	77,943	17,741	21,315	39,056	116,999
		13	122,138	0	0	0	122,138	20,971	16,744	37,715	159,853
29	4, 4 - イソプロピリデンジフェ ノール (別名ビスフェノールA)	15	2,499	392	0	0	2,892	233,650	547	234,196	237,088
		14	1,705	363	0	0	2,069	326,282	25,029	351,311	353,380
		13	3,888	417	0	0	4,305	412,892	31,346	444,239	448,544
30	4, 4 - イソプロピリデンジフェ ノールと1-クロロ-2, 3-エポ キシプロパンの重縮合物 (別名ビス フェノールA型エポキシ樹脂) (液 状のものに限る。)	15	150,683	1,741	72	0	152,495	1,367,488	66	1,367,554	1,520,048
		14	123,129	1,306	82	0	124,517	1,082,585	100	1,082,685	1,207,202
		13	138,034	4,745	348	130	143,257	856,168	98	856,266	999,523
31	2, 2 - {イソプロピリデンビス [(2, 6-ジプロモ-4, 1- フェニレン)オキシ]}ジエタノ ール	15	0	0	0	0	0	1,192	0	1,192	1,192
		14	0	0	0	0	0	901	0	901	901
		13	0	0	0	0	0	630	0	630	630
32	2 - イミダゾリジンチオン	15	17	0	0	0	17	10,853	0	10,853	10,871
		14	4	0	0	0	4	7,678	0	7,678	7,682
		13	4	0	0	0	4	15,327	0	15,327	15,331
33	1, 1 - [イミノジ(オクタメチ レン)]ジグアニジン (別名イミノ クタジン)	15	0	1	0	0	1	142	0	142	143
		14	0	2	0	0	2	24	0	24	26
		13	0	1	0	0	1	34	0	34	35
34	エチル=2-[4-(6-クロロ- 2-キノキサリニルオキシ)フェ キシ]プロピオナート (別名キサロ ホップエチル)	15	0	0	0	0	0	20	0	20	20
		14	0	0	0	0	0	9	0	9	9
		13	0	0	0	0	0	130	0	130	130
35	S-エチル=2-(4-クロロ-2 -メチルフェノキシ)チオアセタ ート (別名フェノチオール又はMCP Aチオエチル)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	O-エチル=O-(6-ニトロ-m -トリル)=sec-ブチルホスホ ルアミドチオアート (別名ブタミホ ス)	15	0	0	0	0	0	471	0	471	471
		14	0	0	0	0	0	2,279	0	2,279	2,279
		13	0	0	0	0	0	8,385	0	8,385	8,385
37	O-エチル=O-4-ニトロフェニ ル=フェニルホスホノチオア ート (別名EPN)	15	1	29,222	4	0	29,228	81	13	94	29,321
		14	2	28,153	2	0	28,157	246	11	257	28,415
		13	2	37,182	3	0	37,187	165	13	178	37,365
38	N-(1-エチルプロピル)-2, 6-ジニトロ-3,4-キシリジン (別名ベンディメタリン)	15	16	0	0	0	16	2,332	2	2,334	2,351
		14	3	0	0	0	3	3,203	6	3,208	3,212
		13	0	0	0	0	0	2,752	1	2,753	2,753
39	S-エチル=ヘキサヒドロ-1H- アゼピン-1-カルボチオア ート (別名モリネート)	15	0	0	0	0	0	52	0	52	52
		14	0	0	0	0	0	50	0	50	50
		13	0	0	0	0	0	46	0	46	46
40	エチルベンゼン	15	12,673,640	3,045	71	0	12,676,756	3,722,723	6,899	3,729,621	16,406,377
		14	9,840,584	1,138	28	0	9,841,751	2,848,735	2,310	2,851,045	12,692,795
		13	9,156,687	1,865	103	0	9,158,655	3,370,147	25,866	3,396,013	12,554,668
41	エチレンイミン	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	4	0	0	4	120	0	120	124
42	エチレンオキシド	15	245,190	29,833	0	0	275,023	209,116	54,060	263,176	538,199
		14	279,119	19,774	0	0	298,893	110,903	51,567	162,470	461,363
		13	338,748	24,198	0	0	362,946	104,524	51,094	155,618	518,564
43	エチレングリコール	15	685,631	987,118	237,006	84	1,909,839	13,519,330	344,978	13,864,308	15,774,147
		14	782,189	1,448,905	250,561	99	2,481,754	5,378,934	288,628	5,667,561	8,149,315
		13	791,665	1,845,024	181,315	0	2,818,004	4,729,318	388,581	5,117,898	7,935,903
44	エチレングリコールモノエチルエ テル	15	330,959	36,932	0	0	367,891	303,156	9,545	312,701	680,592
		14	296,760	20,600	0	0	317,359	263,155	13,411	276,566	593,925
		13	279,017	15,181	3	0	294,201	347,086	17,711	364,797	658,997
45	エチレングリコールモノメチルエ テル	15	798,488	7,691	15	0	806,194	734,782	524	735,306	1,541,500
		14	1,357,818	7,665	0	0	1,365,482	508,955	400	509,354	1,874,836
		13	1,124,351	8,656	0	0	1,133,007	414,062	29	414,091	1,547,098
46	エチレンジアミン	15	12,219	141,627	0	0	153,845	258,124	1,048	259,172	413,017
		14	11,731	165,807	0	0	177,538	264,059	499	264,558	442,096
		13	11,870	160,525	0	0	172,395	234,181	1,414	235,595	407,990
47	エチレンジアミン四酢酸	15	1	25,708	0	0	25,709	151,955	25,147	177,102	202,811
		14	0	37,134	0	0	37,134	161,238	37,494	198,732	235,866
		13	0	25,788	0	0	25,788	129,455	65,111	194,566	220,354
48	N, N - エチレンビス(ジチオカ ルバミン酸)亜鉛 (別名ジネブ)	15	0	0	0	0	0	477	0	477	477
		14	1	0	0	0	1	348	0	348	349
		13	1	0	0	0	1	580	0	580	581
49	N, N - エチレンビス(ジチオカ ルバミン酸)マンガン (別名マン ネブ)	15	0	0	0	0	0	13,721	0	13,721	13,721
		14	0	0	0	0	1	11,407	0	11,407	11,407
		13	0	0	0	0	0	1,336	0	1,336	1,336
50	N, N - エチレンビス(ジチオカ ルバミン酸)マンガンとN, N - エチレンビス(ジチオカルバ ミン酸)亜鉛の錯化合物 (別名マンコ ゼブ又はマンゼブ)	15	2	0	0	0	2	314	2	315	317
		14	6	0	0	0	6	301	0	301	307
		13	11	0	0	0	11	455	0	455	466
51	1, 1 - エチレン-2, 2 - ビ ピリジニウム=ジプロミド (別名ジ クアトジプロミド又はジクワット)	15	0	0	0	0	0	1,155	0	1,155	1,155
		14	0	0	0	0	0	1,022	0	1,022	1,022
		13	0	0	0	0	0	57	0	57	57
52	4 - エトキシアセトアニリド (別 名フェナセチン)	15	0	0	0	0	0	21	0	21	21
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	5 - エトキシ-3-トリクロロメチ ル-1, 2, 4-チアジアゾール (別名エクロメゾール)	15	0	0	0	0	0	8	2	10	10
		14	0	0	0	0	0	2	1	3	3
		13	0	0	0	0	0	3	1	4	4
54	エピクロヒドリン	15	73,242	1,997	0	0	75,240	896,021	105,202	1,001,223	1,076,462
		14	98,065	2,012	0	0	100,077	765,790	90,037	855,827	955,904
		13	95,247	1,866	0	0	97,113	570,801	60,301	631,102	728,215

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
55	2, 3 - エボキシ - 1 - プロパノール	15	0	0	0	0	0	4	0	4	4
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56	1, 2 - エボキシプロパン (別名酸化プロピレン)	15	272,564	4,778	0	0	277,342	25,791	84,039	109,830	387,173
		14	289,855	4,673	0	0	294,528	10,855	92,031	102,886	397,414
		13	376,658	4,356	0	0	381,014	88,006	28,000	116,006	497,020
57	2, 3 - エボキシプロピル = フェニルエーテル	15	155	0	0	0	155	308	57	365	520
		14	83	0	3	0	86	2,258	2	2,260	2,346
		13	65	0	15	0	80	683	87	770	850
58	1 - オクタノール	15	1,327	15	0	0	1,342	68,240	8	68,248	69,590
		14	1,070	41	0	0	1,111	34,659	8	34,667	35,779
		13	1,924	49	0	0	1,973	127,319	21	127,340	129,313
59	p - オクチルフェノール	15	248	15	0	0	263	242,246	0	242,246	242,509
		14	201	0	0	0	201	133,087	0	133,087	133,289
		13	118	0	0	0	118	128,289	0	128,289	128,406
60	カドミウム及びその化合物	15	1,668	5,708	0	146,085	153,461	101,288	2	101,290	254,751
		14	2,364	5,072	0	119,428	126,864	66,913	7	66,920	193,784
		13	2,348	5,858	0	155,093	163,299	71,629	7	71,636	234,935
61	- カプロラクタム	15	15,995	178,893	0	0	194,888	204,028	62	204,090	398,978
		14	6,505	205,136	0	0	211,641	250,946	1	250,948	462,589
		13	10,217	199,546	0	0	209,763	376,613	3	376,616	586,379
62	2, 6 - キシレノール	15	1,751	1	0	0	1,753	78,020	83	78,103	79,856
		14	2,485	3	0	0	2,489	17,455	77	17,532	20,021
		13	5,461	0	0	0	5,461	70,023	27	70,050	75,511
63	キシレン	15	48,043,051	37,533	326	71	48,080,982	12,335,158	25,518	12,360,676	60,441,658
		14	47,201,952	28,815	134	0	47,230,900	11,834,650	47,596	11,882,246	59,113,146
		13	52,355,274	35,270	372	110	52,391,025	12,894,267	52,613	12,946,880	65,337,905
64	銀及びその水溶性化合物	15	132	2,375	0	13,023	15,530	33,064	911	33,975	49,505
		14	56	47	0	9,700	9,803	67,969	831	68,800	78,602
		13	67	103	2	7,800	7,972	30,136	156	30,292	38,264
65	グリオキサール	15	955	18,731	0	0	19,686	8,190	371	8,561	28,247
		14	899	23,866	0	0	24,765	2,958	468	3,426	28,190
		13	569	23,474	0	0	24,042	5,486	430	5,916	29,958
66	グルタルアルデヒド	15	127	114	0	0	240	6,547	2,236	8,783	9,023
		14	154	124	0	0	278	3,555	1,245	4,801	5,078
		13	69	60	0	0	129	2,398	1,167	3,565	3,693
67	クレゾール	15	102,801	24,771	3	0	127,575	485,566	780	486,346	613,921
		14	128,362	23,119	0	0	151,481	502,024	554	502,578	654,059
		13	147,208	19,458	0	0	166,666	480,409	506	480,915	647,581
68	クロム及び三価クロム化合物	15	10,989	41,971	150	369,885	422,995	16,405,077	45,392	16,450,469	16,873,464
		14	13,219	42,582	6	488,768	544,574	12,278,281	30,367	12,308,648	12,853,222
		13	23,368	56,783	69	592,584	672,804	12,856,722	10,995	12,867,717	13,540,521
69	六価クロム化合物	15	769	13,360	1	0	14,131	512,433	642	513,075	527,206
		14	691	13,738	2	9	14,439	647,377	788	648,165	662,604
		13	1,198	18,835	2	1	20,036	649,757	3,659	653,416	673,452
70	クロロアセチル = クロリド	15	124	490	0	0	614	170,094	15	170,109	170,723
		14	119	700	0	0	819	150,055	12	150,067	150,886
		13	184	920	0	0	1,104	130,008	9	130,017	131,121
71	o - クロロアニリン	15	40	330	0	0	370	9,620	1,160	10,780	11,150
		14	33	1,320	0	0	1,353	18,130	1,050	19,180	20,533
		13	23	1,323	0	0	1,346	51,284	2,070	53,354	54,700
72	p - クロロアニリン	15	0	2,100	0	0	2,100	434	0	434	2,534
		14	0	1,600	0	0	1,600	0	0	0	1,600
		13	0	1,900	0	0	1,900	0	0	0	1,900
73	m - クロロアニリン	15	0	0	0	0	0	1,600	530	2,130	2,130
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	3,040	0	3,040	3,040
74	クロロエタン	15	1,348,406	0	0	0	1,348,406	420	0	420	1,348,826
		14	1,358,122	9,200	0	0	1,367,322	390	0	390	1,367,712
		13	1,379,110	140	0	0	1,379,250	320	0	320	1,379,570
75	2 - クロロ - 4 - エチルアミノ - 6 - イソプロピルアミノ - 1, 3, 5 - トリアジン (別名アトラジン)	15	0	0	0	0	0	110	0	110	110
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	2 - クロロ - 2 - エチル - N - (2 - メトキシ - 1 - メチルエチル) - 6 - メチルアセトアニリド (別名メトラクロール)	15	0	0	0	0	0	138	5	144	144
		14	0	0	0	0	0	36	3	39	39
		13	7	0	0	0	7	33	2	35	42
77	クロロエチレン (別名塩化ビニル)	15	519,261	19,107	0	0	538,369	21,829	1,950	23,779	562,148
		14	614,045	15,442	0	120	629,607	26,291	10,200	36,491	666,099
		13	805,218	15,552	0	550	821,320	27,762	11,900	39,662	860,982
78	3 - クロロ - N - (3 - クロロ - 5 - トリフルオロメチル - 2 - ピリジル) - 2 - トリフルオロ - 2, 6 - ジニトロ - p - トルイジン (別名フルアジナム)	15	0	0	0	0	0	221	0	221	221
		14	0	0	0	0	0	115	0	115	115
		13	0	1	0	0	1	246	0	246	247
79	1 - ( { 2 - [ 2 - クロロ - 4 - (4 - クロロフェノキシ) フェニル ] - 4 - メチル - 1, 3 - ジオキソラン - 2 - イル } メチル ) - 1 H - 1, 2, 4 - トリアゾール (別名ジフェノコナゾール)	15	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	1	0	1	1
80	クロロ酢酸	15	741	11,205	0	0	11,945	19,623	0	19,623	31,568
		14	651	14,321	0	0	14,972	8,879	0	8,879	23,851
		13	645	25,409	0	0	26,054	15,017	3	15,020	41,074
81	2 - クロロ - 2, 6 - ジエチル - N - (2 - プロポキシエチル) アセトアニリド (別名プレチラクロール)	15	0	1	0	0	1	280	4	284	285
		14	0	0	0	0	0	317	5	322	322
		13	0	0	0	0	0	689	8	696	697



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
82	2-クロロ-2,6-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド(別名アラクロール)	15	1	0	0	0	1	101	0	101	101
		14	1	0	0	0	1	67	0	67	67
		13	1	0	0	0	1	58	0	58	58
83	1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン	15	45	110	0	0	155	5,650	0	5,650	5,805
		14	77	140	0	0	217	260	0	260	477
		13	1,378	185	0	170	1,733	200	0	200	1,933
84	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(別名HCFC-142b)	15	731,926	0	0	0	731,926	8,600	0	8,600	740,526
		14	1,341,382	0	0	0	1,341,382	6,000	0	6,000	1,347,382
		13	1,580,697	0	0	0	1,580,697	1,000	0	1,000	1,581,697
85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC-22)	15	689,725	2,400	0	0	692,125	159,912	0	159,912	852,037
		14	683,596	2,400	0	0	685,996	162,065	0	162,065	848,061
		13	1,163,585	2,400	0	0	1,165,985	217,042	0	217,042	1,383,027
86	2-クロロ-1,1,1,2-テトラフルオロエタン(別名HCFC-124)	15	65,243	0	0	0	65,243	0	0	0	65,243
		14	56,830	0	0	0	56,830	0	0	0	56,830
		13	111,200	0	0	0	111,200	0	0	0	111,200
87	クロロトリフルオロエタン(別名HCFC-133)	15	16,000	0	0	0	16,000	2,500	0	2,500	18,500
		14	14,000	0	0	0	14,000	2,600	0	2,600	16,600
		13	8,500	0	0	0	8,500	0	0	0	8,500
88	クロロトリフルオロメタン(別名HCFC-13)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89	o-クロロトルエン	15	12,841	95	0	0	12,936	55,400	0	55,400	68,336
		14	28,064	87	0	0	28,151	58,000	0	58,000	86,151
		13	22,980	399	0	0	23,379	75,500	0	75,500	98,879
90	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン(別名シマジン又はCAT)	15	1	1,355	0	0	1,357	48	0	48	1,404
		14	3	1,200	0	0	1,203	36	0	36	1,239
		13	4	1,271	0	0	1,275	122	0	122	1,397
91	3-クロロプロペン(別名塩化アリル)	15	190,173	9	0	0	190,182	98,100	310	98,410	288,592
		14	225,285	1,112	0	0	226,397	117,488	160	117,648	344,045
		13	214,603	340	0	0	214,943	58,005	210	58,215	273,158
92	4-クロロベンジル=N-(2,4-ジクロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)チオアセチミダート(別名イミベンコナゾール)	15	0	0	0	0	0	5	0	5	5
		14	0	0	0	0	0	16	0	16	16
		13	0	0	0	0	0	29,016	0	29,016	29,016
93	クロロベンゼン	15	269,728	24,064	0	0	293,792	2,559,055	717	2,559,772	2,853,564
		14	289,973	28,541	0	0	318,514	1,641,428	696	1,642,124	1,960,639
		13	419,538	26,191	0	7,900	453,629	1,390,324	545	1,390,869	1,844,498
94	クロロペンタフルオロエタン(別名CFC-115)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95	クロロホルム	15	1,293,423	161,780	0	0	1,455,202	2,380,818	14,879	2,395,697	3,850,899
		14	1,617,835	167,528	0	0	1,785,363	2,331,156	17,439	2,348,595	4,133,958
		13	1,783,704	174,368	0	0	1,958,072	2,331,322	16,968	2,348,289	4,306,361
96	クロロメタン(別名塩化メチル)	15	3,658,321	2,390	0	0	3,660,711	125,680	1	125,681	3,786,392
		14	3,867,185	3,600	0	0	3,870,785	70,168	0	70,168	3,940,953
		13	4,402,707	2,710	0	0	4,405,417	32,720	2,000	34,720	4,440,137
97	(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)酢酸(別名MCP又はMCPA)	15	0	0	0	0	0	1,089	0	1,089	1,089
		14	0	0	0	0	0	563	0	563	563
		13	0	0	0	0	0	37	0	37	37
98	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-チエニル)-2,6-ジメチルアセトアニリド(別名テニルクロール)	15	0	0	0	0	0	170	0	170	170
		14	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		13	0	0	0	0	0	1	0	1	1
99	五酸化バナジウム	15	718	2,104	0	0	2,822	286,150	1,613	287,763	290,585
		14	40	223	0	0	263	196,149	1,913	198,062	198,325
		13	773	170	210	0	1,153	208,841	21	208,862	210,015
100	コバルト及びその化合物	15	847	15,164	1	461	16,474	253,111	459	253,569	270,043
		14	1,003	10,877	2	521	12,404	259,333	821	260,153	272,557
		13	1,137	11,124	13	4,661	16,936	240,396	666	241,062	257,997
101	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)	15	540,309	2,197	0	0	542,506	221,726	2	221,728	764,234
		14	414,208	999	0	2,300	417,507	203,901	2	203,903	621,411
		13	352,029	827	0	0	352,856	235,971	2	235,973	588,830
102	酢酸ビニル	15	1,151,001	31,291	0	0	1,182,291	223,035	913	223,948	1,406,240
		14	1,313,457	33,870	0	0	1,347,327	356,532	1,019	357,552	1,704,879
		13	1,319,385	14,833	0	0	1,334,218	545,562	11	545,573	1,879,790
103	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート)	15	16,847	180	0	0	17,027	15,824	90	15,914	32,941
		14	22,549	180	0	0	22,729	66,667	0	66,667	89,396
		13	10,302	1	0	0	10,303	78,208	0	78,208	88,511
104	サリチルアルデヒド	15	8	0	0	0	8	31,000	0	31,000	31,008
		14	8	0	0	0	8	25,300	0	25,300	25,308
		13	23	0	0	0	23	34,200	0	34,200	34,223
105	-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート(別名フルバリナート)	15	0	0	0	0	0	27	0	27	27
		14	0	0	0	0	0	30	0	30	30
		13	0	0	0	0	0	24	0	24	24
106	-シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチラート(別名フェンパレラート)	15	0	0	0	0	0	430	0	430	430
		14	0	1	0	0	1	492	0	492	493
		13	0	1	0	0	1	748	0	748	748
107	-シアノ-3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名シベルメトリン)	15	0	27	0	0	27	167	0	167	194
		14	0	2	0	0	2	294	0	294	296
		13	0	1	0	0	1	158	0	158	159

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	15	359,216	44,826	4	0	404,046	279,444	792	280,236	684,282
		14	269,212	41,298	2	0	310,512	145,412	86	145,498	456,010
		13	209,816	34,382	3	0	244,201	122,179	244	122,423	366,624
109	2-(ジエチルアミノ)エタノール	15	4,066	3,257	0	0	7,323	6,170	398	6,568	13,891
		14	4,590	184	0	0	4,774	33,151	68	33,220	37,994
		13	2,781	204	0	0	2,986	27,721	41	27,762	30,748
110	N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロベンジル(別名チオベンカルブ又はベンチオカーブ)	15	0	8,745	0	0	8,746	94	1	95	8,841
		14	0	7,901	0	0	7,901	338	13	351	8,251
		13	1	7,501	0	0	7,502	124	1	125	7,627
111	N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニル)ホルモニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド(別名カフェンストロール)	15	0	0	0	0	4,647	5	4,652	4,653	
		14	1	0	0	0	1	881	10	891	892
		13	6	0	0	0	6	524	79	603	609
112	四塩化炭素	15	45,917	657	0	0	46,574	165,536	6	165,542	212,116
		14	65,652	642	0	0	66,294	130,577	23	130,600	196,893
		13	71,897	589	0	0	72,486	150,512	109	150,621	223,107
113	1,4-ジオキサン	15	169,162	80,362	0	0	249,524	4,059,320	12,808	4,072,128	4,321,652
		14	183,587	64,303	0	0	247,890	3,244,339	7,673	3,252,012	3,499,902
		13	159,834	23,200	0	0	183,034	2,368,341	12,746	2,381,087	2,564,121
114	シクロヘキシルアミン	15	23,907	7,744	0	0	31,650	48,551	831	49,383	81,033
		14	9,738	51	0	0	9,789	34,737	56	34,793	44,582
		13	11,825	78	0	0	11,902	37,399	6	37,405	49,307
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	15	68	2	0	0	70	154,114	0	154,114	154,184
		14	12	2	0	0	14	134,916	0	134,916	134,930
		13	1	2	0	0	3	137,315	0	137,315	137,318
116	1,2-ジクロロエタン	15	602,571	4,810	0	0	607,381	1,171,341	80	1,171,421	1,778,802
		14	806,779	4,904	0	0	811,683	1,119,972	54	1,120,026	1,931,709
		13	914,810	4,426	0	0	919,237	1,533,629	19	1,533,648	2,452,885
117	1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	15	192,990	2,892	0	0	195,882	212,909	1	212,910	408,792
		14	228,289	4,116	0	0	232,405	97,276	75	97,351	329,756
		13	333,030	4,106	0	0	337,136	100,025	1	100,026	437,162
118	cis-1,2-ジクロロエチレン	15	1,530	5,574	0	0	7,105	108,000	2	108,002	115,107
		14	1,602	7,461	0	0	9,063	98,001	1	98,003	107,066
		13	2,261	7,044	0	0	9,305	83,320	2	83,322	92,626
119	trans-1,2-ジクロロエチレン	15	9,820	31	0	0	9,851	95,000	0	95,000	104,851
		14	18,104	16	0	0	18,120	69,200	0	69,200	87,320
		13	19,880	10	0	0	19,890	46,300	0	46,300	66,190
120	3,3-ジクロロ-4,4-ジアミノジフェニルメタン	15	2,807	0	0	0	2,807	28,824	0	28,824	31,631
		14	66	0	0	0	66	27,932	0	27,932	27,998
		13	201	30	0	0	231	40,318	0	40,318	40,549
121	ジクロロジフルオロメタン(別名CFC-12)	15	14,491	0	0	0	14,491	35,152	0	35,152	49,643
		14	32,165	0	0	0	32,165	19,012	0	19,012	51,177
		13	43,741	0	0	0	43,741	11,948	0	11,948	55,689
122	3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピル)ベンズアミド(別名プロピザミド)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123	ジクロロテトラフルオロエタン(別名CFC-114)	15	8,917	0	0	0	8,917	18	0	18	8,935
		14	11,580	0	0	0	11,580	53	0	53	11,633
		13	12,910	0	0	0	12,910	49	0	49	12,959
124	2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名HCFC-123)	15	72,873	0	0	0	72,873	0	0	0	72,873
		14	54,725	0	0	0	54,725	114	0	114	54,839
		13	66,610	0	0	0	66,610	158	0	158	66,768
125	2,4-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロ-4-ニトロ-m-トルエンホルホンアニリド(別名フルスルファミド)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126	2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]-4-メチルアセトフェノン(別名ベンゾフェナップ)	15	0	0	0	0	1,258	0	1,258	1,258	
		14	0	0	0	0	0	1,234	0	1,234	1,234
		13	0	0	0	0	0	120,158	0	120,158	120,158
127	1,2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
128	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン	15	1	0	0	0	1	5,010	0	5,010	5,011
		14	2	0	0	0	2	12,690	0	12,690	12,692
		13	200	2	0	27	229	7,590	0	7,590	7,819
129	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(別名ジウロン又はDCMU)	15	274	86	140	0	500	10,567	16	10,583	11,083
		14	222	13	0	0	235	10,081	18	10,099	10,334
		13	84	79	130	0	294	11,121	10	11,131	11,425
130	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素(別名リニューロン)	15	25	1	0	0	26	231	0	231	256
		14	7	0	0	0	7	191	0	191	198
		13	0	0	0	0	0	188	0	188	188
131	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(別名2,4-D又は2,4-PA)	15	0	0	0	0	0	5	2	7	7
		14	0	0	0	0	0	0	3	3	3
		13	0	0	0	0	0	5	5	10	10
132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC-141b)	15	1,809,358	0	0	0	1,809,358	214,075	0	214,075	2,023,432
		14	1,764,211	340	0	0	1,764,551	224,262	3	224,264	1,988,815
		13	1,855,377	0	0	40	1,855,417	274,657	1	274,659	2,130,075
133	ジクロロフルオロメタン(別名HCFC-21)	15	10,719	0	0	0	10,719	510	0	510	11,229
		14	6,800	0	0	0	6,800	0	0	0	6,800
		13	28,300	0	0	0	28,300	1,000	0	1,000	29,300
134	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	15	2,835	46,782	0	0	49,617	12,178	20,420	32,597	82,214
		14	2,993	30,449	38	0	33,480	13,615	17,012	30,627	64,108
		13	1,805	44,838	5	0	46,648	15,125	14,017	29,142	75,790
135	1,2-ジクロロプロパン	15	195,742	58	0	0	195,800	254,756	1,000	255,756	451,556
		14	147,868	50	0	0	147,917	226,076	290	226,366	374,283
		13	217,810	89	0	0	217,899	375,510	330	375,840	593,739

物質 番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
136	3, 4 - ジクロロプロピオンア ニリド (別名プロパニル又はDCP A)	15	0	0	0	0	0	14	0	14	14
		14	0	0	0	0	0	154	0	154	154
		13	0	0	0	0	0	128	0	128	128
137	1, 3 - ジクロロプロペン (別名D - D)	15	4,559	1,038	0	0	5,597	280	0	280	5,877
		14	5,056	957	0	0	6,013	112	0	112	6,125
		13	3,378	1,206	0	0	4,584	282	0	282	4,866
138	3, 3 - ジクロロベンジジン	15	0	0	0	0	0	19,803	0	19,803	19,803
		14	0	0	0	0	0	25,000	0	25,000	25,000
		13	0	0	0	0	0	982	0	982	982
139	o - ジクロロベンゼン	15	157,805	4,023	16	1,900	163,745	865,745	10,664	876,409	1,040,154
		14	106,979	2,032	0	0	109,011	582,048	2,491	584,539	693,550
		13	148,962	4,470	0	19	153,451	933,527	10,168	943,695	1,097,147
140	p - ジクロロベンゼン	15	57,631	124	0	0	57,755	150,854	290	151,144	208,898
		14	80,867	124	0	0	80,991	110,721	250	110,971	191,962
		13	111,510	1,366	0	39	112,885	403,511	250	403,761	516,646
141	2 - [ 4 - ( 2, 4 - ジクロロベン ゾイル) - 1, 3 - ジメチル - 5 - ピラゾリルオキシ ] アセトフェノン (別名ピラゾキシフェン)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	4 - ( 2, 4 - ジクロロベンゾイ ル) - 1, 3 - ジメチル - 5 - ピラ ゾリル = 4 - トルエンシルホナート (別名ピラゾレート)	15	0	2	0	0	2	1,780	6	1,786	1,788
		14	3	4	0	0	8	248	12	260	267
		13	2	0	0	0	2	873	12	885	887
143	2, 6 - ジクロロベンゾニトリル (別名ジクロロニル又はDBN)	15	72	0	0	0	73	210	4	214	286
		14	78	0	0	0	78	11,108	3	11,111	11,189
		13	7	0	0	0	7	312	0	312	319
144	ジクロロベンタフルオロプロパン (別名HCFC - 225)	15	557,473	3	0	0	557,476	65,164	0	65,164	622,639
		14	413,095	220	0	0	413,315	64,283	0	64,283	477,598
		13	502,576	0	0	0	502,576	237,092	0	237,092	739,668
145	ジクロロメタン (別名塩化メチレ ン)	15	24,637,461	22,704	58	0	24,660,223	9,274,790	11,264	9,286,054	33,946,277
		14	25,449,027	20,172	55	0	25,469,254	7,970,560	8,399	7,978,959	33,448,213
		13	27,321,748	19,915	39	0	27,341,702	9,965,301	1,001	9,966,302	37,308,004
146	2, 3 - ジシアノ - 1, 4 - ジチア アントラキノン (別名ジチアノン)	15	0	0	0	0	0	16	0	16	16
		14	0	1	0	0	1	0	0	0	1
		13	0	1	0	0	1	0	0	0	1
147	1, 3 - ジチオラン - 2 - イリデン マロン酸ジイソプロピル (別名イソ プロチオラン)	15	1	8	0	0	9	1,787	0	1,787	1,796
		14	0	9	0	0	9	171	0	171	179
		13	0	6	0	0	6	174	0	174	180
148	ジチオリン酸O - エチル - S, S - ジフェニル (別名エディフェンホス 又はEDDP)	15	0	50	0	0	50	528	1	529	579
		14	0	54	0	0	54	546	1	547	602
		13	0	70	0	0	70	977	1	978	1,048
149	ジチオリン酸S - 2 - (エチルチ オ)エチル - O, O - ジメチル (別 名チオメトン)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
150	ジチオリン酸O - エチル - O - (4 - メチルチオフェニル) - S - n - プロピル (別名スルプロホス)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
151	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル) (別名 エチルチオメトン又はジスルホト ン)	15	7	24	0	0	31	290	0	290	321
		14	38	28	0	0	66	345	5	350	416
		13	2	22	0	0	24	685	4	689	713
152	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - [ (6 - クロロ - 2, 3 - ジヒド ロ - 2 - オキソベンゾオキサゾリ ニル)メチル ] (別名ホサロン)	15	0	0	0	0	0	33	0	33	33
		14	3	0	0	0	3	26	0	26	29
		13	0	0	0	0	0	17	0	17	17
153	ジチオリン酸O - 2, 4 - ジクロロ フェニル - O - エチル - S - プロピ ル (別名プロチオホス)	15	0	22	0	0	22	471	0	471	493
		14	0	26	0	0	26	1,000	0	1,000	1,026
		13	0	31	0	0	31	820	0	820	851
154	ジチオリン酸S - (2, 3 - ジヒド ロ - 5 - メトキシ - 2 - オキソ - 1, 3, 4 - チアジャゾール - 3 - イル)メチル - O, O - ジメチル (別名メチダチオン又はDMTP)	15	0	0	0	0	0	61	0	61	62
		14	0	1	0	0	1	17	0	17	18
		13	0	2	0	0	2	17	0	17	19
155	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - 1, 2 - ビス (エトキシカルボニ ル)エチル (別名マラソン又はマラ チオン)	15	0	0	0	0	0	1,516	3	1,518	1,518
		14	0	0	0	0	0	1,694	3	1,696	1,696
		13	0	0	0	0	0	2,034	4	2,037	2,037
156	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [ (N - メチルカルバモイル)メ チル ] (別名ジメトエート)	15	0	0	0	0	0	1,506	1	1,506	1,507
		14	0	1	0	0	1	1,319	1	1,321	1,321
		13	0	1	0	0	1	1,818	1	1,819	1,820
157	ジニトロトルエン	15	9,726	3,076	0	0	12,802	21,143	31,000	52,143	64,945
		14	10,058	3,120	0	0	13,178	23,120	31,000	54,120	67,298
		13	9,960	3,650	0	0	13,610	43,122	31,000	74,122	87,732
158	2, 4 - ジニトロフェノール	15	0	0	0	0	0	55,032	0	55,032	55,032
		14	0	0	0	0	0	55,032	0	55,032	55,032
		13	0	0	0	0	0	55,030	0	55,030	55,030
159	ジフェニルアミン	15	204	1	0	0	205	19,462	6	19,468	19,673
		14	191	0	0	0	191	18,984	4	18,988	19,179
		13	3,034	0	0	0	3,034	47,935	8,000	55,935	58,969
160	2 - (ジ - n - プチルアミノ)エタ ノール	15	24	0	0	0	24	93	8	101	125
		14	0	0	0	0	0	24	8	32	32
		13	110	420	0	0	530	347	0	347	877
161	N - ジプチルアミノチオ - N - メチ ルカルバミン酸2, 3 - ジヒドロ - 2, 2 - ジメチル - 7 - ベンゾ [ b ] フラニル (別名カルボスル ファン)	15	0	0	0	0	0	180	0	180	180
		14	0	0	0	0	0	350	0	350	350
		13	0	0	0	0	0	140	0	140	140

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
162	ジプロモテトラフルオロエタン(別 名ハロン-2402)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	0	0	0	0	0	5,300	0	5,300	5,300
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
163	2,6-ジメチルアニリン	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
164	3,4-ジメチルアニリン	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
165	N,N-ジメチルチオカルバミン酸 S-4-フェノキシブチル(別名 フェノチオカルブ)	15	0	2	0	0	2	1	0	1	3
		14	0	1	0	0	1	2	0	2	3
		13	0	1	0	0	1	1,202	0	1,202	1,202
166	N,N-ジメチルデシルアミン= N-オキシド	15	1	98	0	0	99	15,484	2,177	17,661	17,760
		14	0	79	0	0	79	14,536	6,171	20,707	20,786
		13	2	465	0	0	467	30,615	3,883	34,498	34,965
167	ジメチル=2,2,2-トリクロロ -1-ヒドロキシアセチルホスホナ ート(別名トリクロロホスホナ ート)	15	0	5	0	0	5	584	2	586	592
		14	0	4	0	0	4	712	6	718	722
		13	0	5	0	0	5	1,053	7	1,060	1,065
168	1,1-ジメチル-4,4-ビ ビリジニウム塩(次号に掲げるもの を除く。)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
169	1,1-ジメチル-4,4-ビ ビリジニウム=ジクロリド(別名バ ラコート又はパラコートジクロリ ド)	15	0	0	0	0	0	63	0	63	63
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
170	N-(1,2-ジメチルプロピル) -N-エチルチオカルバミン酸S- ベンジル(別名エスプロカルブ)	15	0	0	0	0	0	75	0	75	75
		14	0	0	0	0	0	140	0	140	140
		13	0	0	0	0	0	260	0	260	260
171	3,3-ジメチルベンジジン(別 名o-トリジン)	15	25	11	0	0	36	0	0	0	36
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	2	0	0	2	0	0	0	2
172	N,N-ジメチルホルムアミド	15	3,928,299	830,151	0	710	4,759,160	9,697,500	1,043,842	10,741,343	15,500,502
		14	4,614,358	608,292	0	740	5,223,390	7,248,495	947,743	8,196,237	13,419,628
		13	6,039,702	293,900	0	0	6,333,602	9,002,937	954,525	9,957,462	16,291,064
173	2-[ジメチルホスフィノチオ イル)チオ]-2-フェニル酢酸エ チル(別名フェントエート又はPA P)	15	0	0	0	0	0	537	0	537	537
		14	0	0	0	0	0	900	0	900	900
		13	0	0	0	0	0	578	0	578	578
174	3,5-ジヨード-4-オクタノ イルオキシベンゾニトリル(別名アイ オキシニル)	15	1	0	0	0	1	0	0	0	1
		14	3	0	0	0	3	0	0	0	3
		13	0	0	0	0	0	10	0	10	10
175	水銀及びその化合物	15	14	344	0	14,042	14,400	532	0	532	14,932
		14	41	302	0	3,838	4,181	60	3	63	4,244
		13	308	322	0	4,012	4,642	351	2	353	4,994
176	有機スズ化合物	15	6,271	748	0	457	7,477	102,715	541	103,256	110,732
		14	173	605	3	447	1,228	77,228	291	77,519	78,747
		13	189	1,812	9	500	2,510	66,740	72	66,812	69,322
177	スチレン	15	3,802,276	4,265	5,306	0	3,811,847	2,583,360	14,429	2,597,789	6,409,636
		14	4,004,800	5,139	42,022	0	4,051,962	2,667,653	3,439	2,671,092	6,723,054
		13	4,593,854	4,860	46,243	0	4,644,957	2,971,071	68,482	3,039,553	7,684,510
178	セレン及びその化合物	15	2,822	13,705	0	17,681	34,208	19,300	10	19,310	53,518
		14	2,893	9,511	0	22,424	34,827	16,709	7	16,717	51,544
		13	5,021	10,054	0	32,410	47,485	13,797	8	13,805	61,290
179	ダイオキシン類	15	273,531	2,073	22	274,630	550,256	2,780,253	73	2,780,326	3,330,582
		14	523,819	3,295	0	518,936	1,046,050	3,792,788	70	3,792,858	4,838,908
		13	1,012,270	3,996	6	554,164	1,570,436	5,043,146	139	5,043,285	6,613,721
180	2-チオキソ-3,5-ジメチルテ トラヒドロ-2H-1,3,5-チ アジアジン(別名ダゾメット)	15	0	0	0	0	0	1,022	0	1,022	1,022
		14	0	0	0	0	0	719	0	719	719
		13	0	0	0	0	0	600	0	600	600
181	チオ尿素	15	2	242,234	0	0	242,236	120,478	10,339	130,817	373,053
		14	3	179,706	0	0	179,709	116,378	3,638	120,016	299,725
		13	1	114,851	0	0	114,852	263,051	1,636	264,688	379,539
182	チオフェノール	15	14	0	0	0	14	239	0	239	253
		14	19	0	0	0	19	54	0	54	73
		13	50	0	0	0	50	40,218	0	40,218	40,268
183	チオりん酸O-1-(4-クロロ フェニル)-4-ピラゾリル-O- エチル-S-プロピル(別名ピラク ロホス)	15	0	300	0	0	300	170	0	170	470
		14	0	0	0	0	0	110	0	110	110
		13	0	500	0	0	500	66	0	66	566
184	チオりん酸O-4-シアノフェニル -O,O-ジメチル(別名シアノホ ス又はCYAP)	15	0	0	0	0	0	1,113	3	1,116	1,116
		14	1	0	0	0	1	207	0	207	208
		13	1	0	0	0	1	338	0	338	338
185	チオりん酸O,O-ジエチル-O- (2-イソプロピル-6-メチル- 4-ピリミジニル)(別名ダイアジ ノン)	15	78	0	0	0	78	4,215	20	4,235	4,314
		14	132	0	0	0	132	3,113	4	3,117	3,249
		13	5	1	0	0	6	2,816	4	2,820	2,826
186	チオりん酸O,O-ジエチル-O- (6-オキソ-1-フェニル-1, 6-ジヒドロ-3-ピリダジニル) (別名ピリダフェンチオン)	15	0	0	0	0	0	181	3	184	184
		14	0	0	0	0	0	37	1	37	38
		13	0	0	0	0	0	240	0	240	240
187	チオりん酸O,O-ジエチル-O- 2-キノキサリニル(別名キナルホ ス)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
188	チオりん酸O,O-ジエチル-O- (3,5,6-トリクロロ-2-ピ リジル)(別名クワロピリホス)	15	0	0	0	0	0	813	0	813	813
		14	0	0	0	0	0	8,458	0	8,458	8,458
		13	0	0	0	0	0	395	0	395	395

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
189	チオリン酸O, O - ジエチル - O - (5 - フェニル - 3 - イソオキサソ リル) (別名イソキサチオン)	15	1	0	0	0	1	293	3	295	296
		14	4	0	0	0	4	354	0	355	359
		13	4	0	0	0	4	678	6	683	687
190	チオリン酸O - 2, 4 - ジクロ フェニル - O, O - ジエチル (別名 ジクロフェンチオン又はECP)	15	0	0	0	0	0	16	0	16	16
		14	0	0	0	0	0	6	0	6	6
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
191	チオリン酸O, O - ジメチル - S - { 2 - [ 1 - ( N - メチルカルバモ イル) エチルチオ ] エチル } (別名 パミドチオン)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	2	0	2	2
192	チオリン酸O, O - ジメチル - O - (3 - メチル - 4 - ニトロフェニ ル) (別名フェニトロチオン又はM EP)	15	1	1	0	0	2	6,578	6	6,584	6,586
		14	1	2	0	0	3	8,466	9	8,476	8,479
		13	6	4	0	0	10	10,083	9	10,092	10,102
193	チオリン酸O, O - ジメチル - O - (3 - メチル - 4 - メチルチオフェ ニル) (別名フェンチオン又はMP P)	15	0	8	0	0	8	1,149	2	1,151	1,159
		14	0	10	0	0	10	997	1	998	1,008
		13	0	11	0	0	11	1,602	3	1,605	1,616
194	チオリン酸O - 3, 5, 6 - トリク ロロ - 2 - ビリジル - O, O - ジメ チル (別名クロルビリホスメチル)	15	0	1	0	0	1	57	1	58	59
		14	0	1	0	0	1	9	1	10	10
		13	0	1	0	0	1	9	1	10	11
195	チオリン酸O - 4 - プロモ - 2 - ク ロロフェニル - O - エチル - S - プ ロピル (別名プロフェノホス)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	1	0	0	1	17	0	17	18
196	チオリン酸S - ベンジル - O, O - ジイソプロピル (別名イプロベンホ ス又はIBP)	15	0	1	0	0	1	363	0	363	364
		14	0	1	0	0	1	348	0	348	349
		13	0	1	0	0	1	658	0	658	659
197	デカプロモジフェニルエーテル	15	34	1,213	0	0	1,247	126,048	2,694	128,742	129,989
		14	1,003	533	0	0	1,536	77,198	3,749	80,946	82,482
		13	2,702	879	0	0	3,582	86,590	2,665	89,256	92,838
198	1, 3, 5, 7 - テトラアザトリシ クロ [ 3 . 3 . 1 . 1 ( 3, 7 ) ] デカン (別名ヘキサメレンテトラ ミン)	15	34,593	742	3	0	35,339	463,653	9	463,662	499,001
		14	30,080	635	3	0	30,718	233,089	9	233,098	263,816
		13	55,583	754	0	280	56,617	181,543	52	181,595	238,212
199	テトラクロロイソフタロニトリル (別名クロロタロニル又はTPN)	15	24	16	1	0	41	71,117	0	71,117	71,158
		14	2	1	0	0	4	50,889	0	50,889	50,892
		13	102	3	0	0	105	33,329	0	33,329	33,435
200	テトラクロロエチレン	15	1,977,458	1,973	0	0	1,979,431	571,669	23	571,691	2,551,122
		14	2,251,431	1,917	0	0	2,253,348	579,407	270	579,677	2,833,025
		13	2,296,321	2,217	0	0	2,298,538	687,710	379	688,090	2,986,627
201	テトラクロロジフルオロエタン (別 名CF2C - 112)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	5	0	0	0	5	0	0	0	5
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	15	5,872	0	0	0	5,872	374,261	0	374,261	380,133
		14	1,238	0	0	0	1,238	455,115	0	455,115	456,353
		13	1,240	0	0	0	1,240	383,417	0	383,417	384,657
203	テトラフルオロエチレン	15	586,660	0	0	0	586,660	220	0	220	586,880
		14	462,980	0	0	0	462,980	0	0	0	462,980
		13	501,460	0	0	0	501,460	0	0	0	501,460
204	テトラメチルチウラムジスルフィド (別名チウラム又はチラム)	15	115	2,773	0	0	2,888	46,375	0	46,375	49,263
		14	81	2,420	0	0	2,500	40,570	0	40,570	43,070
		13	65	2,678	0	0	2,743	38,574	0	38,574	41,317
205	テレフタル酸	15	24	133,343	0	0	133,367	1,698,955	37,001	1,735,956	1,869,323
		14	16	19,741	0	0	19,757	1,630,661	84,000	1,714,661	1,734,418
		13	274	25,044	0	0	25,318	1,363,967	136,112	1,500,079	1,525,398
206	テレフタル酸ジメチル	15	71	0	0	0	71	28,684	0	28,684	28,756
		14	17	0	0	0	17	29,664	0	29,664	29,681
		13	18	0	0	47,000	47,018	211,876	0	211,876	258,894
207	銅水溶性塩 ( 錯塩を除く。 )	15	8,974	123,344	2	15,599	147,918	5,300,182	9,942	5,310,124	5,458,042
		14	12,678	109,780	2	243	122,702	4,857,127	5,486	4,862,612	4,985,315
		13	40,912	122,646	10	27,017	190,584	5,281,990	5,567	5,287,557	5,478,141
208	トリクロロアセトアルデヒド	15	70	2,700	0	0	2,770	0	0	0	2,770
		14	105	41,000	0	0	41,105	0	0	0	41,105
		13	41	180,000	0	0	180,041	0	0	0	180,041
209	1, 1, 1 - トリクロロエタン	15	21,467	20,806	0	1	42,274	23,031	12	23,043	65,316
		14	24,762	17,941	0	0	42,702	336	8	344	43,046
		13	48,803	35,364	0	0	84,167	1,442	4	1,445	85,612
210	1, 1, 2 - トリクロロエタン	15	30,927	3,944	0	0	34,871	51,000	0	51,000	85,871
		14	22,190	6,568	0	0	28,758	18,531	0	18,531	47,289
		13	16,440	8,073	0	0	24,513	78,483	0	78,483	102,996
211	トリクロロエチレン	15	5,770,619	4,239	1	0	5,774,859	2,795,225	15	2,795,241	8,570,099
		14	6,041,809	3,586	0	0	6,045,395	2,275,488	714	2,276,202	8,321,597
		13	6,340,735	5,595	0	0	6,346,330	1,816,698	1,319	1,818,016	8,164,346
212	2, 4, 6 - トリクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン	15	6	32	0	0	38	0	410	410	448
		14	5	292	0	0	297	23	0	23	320
		13	6	28	0	0	34	24	0	24	58
213	トリクロロトリフルオロエタン (別 名CF2C - 113)	15	22,671	1,100	0	0	23,771	25	0	25	23,796
		14	27,710	1,360	0	0	29,070	0	0	0	29,070
		13	39,846	1,000	0	0	40,846	34,026	0	34,026	74,872
214	トリクロロニトロメタン (別名クロ ロピクリン)	15	2,751	0	0	0	2,751	14,190	0	14,190	16,941
		14	3,010	0	0	0	3,010	240	0	240	3,250
		13	2,421	0	0	0	2,421	0	0	0	2,421
215	2, 2, 2 - トリクロロ - 1, 1 - ビス ( 4 - クロロフェニル ) エタ ノール (別名ケルセン又はジコホ ル)	15	0	0	0	0	0	83	1	84	84
		14	0	0	0	0	0	5	0	5	6
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
216	3, 5, 6 - トリクロロ - 2 - ビリ ジル) オキシ酢酸 (別名トリクロピ ル)	15	0	0	0	0	0	21	0	21	21
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-

物質 番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
217	トリクロロフルオロメタン(別名CFC-11)	15	4,900	0	0	0	4,900	30,170	0	30,170	35,070
		14	7,110	0	0	0	7,110	16,160	0	16,160	23,270
		13	5,983	0	0	0	5,983	9,723	0	9,723	15,706
218	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	15	879	0	0	0	879	44,374	0	44,374	45,253
		14	77	154	0	0	231	32,800	0	32,800	33,031
		13	73	130	0	0	203	27,890	0	27,890	28,093
219	2,4,6-トリニトロトルエン	15	0	28	0	0	28	400	0	400	428
		14	0	25	0	0	25	90	0	90	115
		13	5,410	21	0	0	5,431	497	0	497	5,928
220	,,-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-p-トルイジン(別名トリフルラリン)	15	16	0	0	0	16	259	0	259	275
		14	8	0	0	0	8	580	0	580	588
		13	13	0	0	0	13	570	0	570	583
221	2,4,6-トリプロモフェノール	15	0	8	0	0	8	14,271	4,600	18,871	18,880
		14	0	10	0	0	10	9,071	100	9,171	9,180
		13	0	6	0	0	6	7,144	480	7,624	7,630
222	トリプロモメタン(別名プロモホルム)	15	880	0	0	0	880	0	0	0	880
		14	780	0	0	0	780	0	0	0	780
		13	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000
223	3,5,5-トリメチル-1-ヘキサノール	15	372	0	0	0	372	3,833	0	3,833	4,205
		14	502	0	0	0	502	310	0	310	812
		13	362	0	0	0	362	1,350	0	1,350	1,712
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	15	1,338,188	1,086	11	0	1,339,286	384,327	1,667	385,994	1,725,280
		14	1,104,093	649	0	0	1,104,742	301,525	8,151	309,677	1,414,418
		13	1,115,321	107	0	0	1,115,428	327,956	11,791	339,746	1,455,174
225	o-トルイジン	15	7,770	170	0	0	7,940	372,768	18,108	390,876	398,816
		14	5,265	191	0	0	5,456	384,054	19,593	403,647	409,103
		13	3,887	29	0	0	3,916	356,008	19,151	375,159	379,075
226	p-トルイジン	15	91	431	0	0	522	52,612	4,601	57,213	57,734
		14	134	601	0	0	735	37,549	3,500	41,049	41,784
		13	96	153	0	0	249	93,018	3,500	96,518	96,767
227	トルエン	15	118,771,680	84,446	404	12,095	118,868,624	50,772,563	38,433	50,810,996	169,679,620
		14	122,687,641	103,277	103	14,000	122,805,021	46,624,203	39,923	46,664,126	169,469,147
		13	132,419,022	114,959	175	12,001	132,546,157	45,390,690	64,914	45,455,604	178,001,761
228	2,4-トルエンジアミン	15	0	0	0	0	0	154,762	3,905	158,667	158,667
		14	0	0	0	0	0	164,860	2,605	167,465	167,465
		13	260	0	0	0	260	4,668	2,700	7,368	7,628
229	2-(2-ナフチルオキシ)プロピオンアニド(別名ナプロアニド)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
230	鉛及びその化合物	15	50,666	27,058	28	9,884,657	9,962,409	7,741,759	235	7,741,994	17,704,403
		14	41,338	30,308	34	9,483,945	9,555,626	7,194,850	254	7,195,105	16,750,730
		13	54,446	33,533	95	9,164,722	9,252,796	8,307,198	380	8,307,578	17,560,375
231	ニッケル	15	2,027	7,342	1	1,121	10,491	915,517	2,719	918,236	928,727
		14	1,169	7,572	1	12	8,754	892,430	2,220	894,650	903,404
		13	1,340	16,691	35	7,051	25,116	930,022	5,321	935,343	960,459
232	ニッケル化合物	15	8,223	107,841	1	121,150	237,215	4,772,416	18,644	4,791,060	5,028,275
		14	6,722	98,770	2	110,379	215,873	4,291,309	21,082	4,312,392	4,528,265
		13	11,481	105,144	54	135,770	252,449	3,178,340	29,042	3,207,382	3,459,831
233	ニトリロ三酢酸	15	0	140	0	0	140	8,300	17	8,317	8,457
		14	0	120	0	0	120	8,020	0	8,020	8,140
		13	0	0	0	0	0	6,512	0	6,512	6,512
234	p-ニトロアニリン	15	0	48	0	0	48	50	26	76	124
		14	0	0	0	0	0	81	25	106	106
		13	0	0	0	0	0	210	50	260	260
235	ニトログリコール	15	0	250	0	0	250	0	0	0	250
		14	0	350	0	0	350	0	0	0	350
		13	0	420	0	0	420	0	0	0	420
236	ニトログリセリン	15	1,192	88	0	0	1,280	390	0	390	1,670
		14	1,467	120	0	0	1,587	0	0	0	1,587
		13	786	150	0	0	936	0	0	0	936
237	p-ニトロクロロベンゼン	15	176	0	0	0	176	100	0	100	276
		14	173	0	0	0	173	0	0	0	173
		13	117	200	0	2,700	3,017	82,000	0	82,000	85,017
238	N-ニトロソジフェニルアミン	15	0	550	1	0	551	2,291	0	2,291	2,842
		14	0	0	0	0	0	151	0	151	151
		13	0	0	0	0	0	121	0	121	121
239	p-ニトロフェノール	15	0	322	0	0	322	31,175	1	31,176	31,498
		14	0	282	0	0	282	20,055	0	20,055	20,337
		13	0	1	0	0	1	19,000	0	19,000	19,001
240	ニトロベンゼン	15	3,596	5,711	0	0	9,306	98,112	150,000	248,112	257,418
		14	4,483	6,402	0	0	10,885	159,005	140,000	299,005	309,890
		13	9,273	5,402	0	0	14,675	128,004	140,478	268,482	283,157
241	二硫化炭素	15	4,952,950	103,420	0	0	5,056,370	8,261	550	8,811	5,065,180
		14	4,904,900	92,070	0	0	4,996,970	3,780	272	4,052	5,001,022
		13	6,937,742	140,730	0	0	7,078,472	21,237	16,002	37,238	7,115,710
242	ノニルフェノール	15	2,796	10	0	0	2,806	84,768	1,500	86,268	89,075
		14	411	9	3	0	423	82,402	1,600	84,002	84,425
		13	538	2,484	4	0	3,027	156,840	20	156,860	159,886
243	バリウム及びその水溶性化合物	15	1,014	2,975	4,985	95	9,070	686,210	26,257	712,467	721,537
		14	2,543	1,338	4,619	0	8,499	1,094,459	32,989	1,127,449	1,135,948
		13	1,443	799	3,796	183	6,221	1,635,155	15,656	1,650,810	1,657,032
244	ピクリン酸	15	0	6	0	0	6	11,110	0	11,110	11,116
		14	13	12	0	0	25	11,087	0	11,087	11,112
		13	33	4	0	0	37	10,082	0	10,082	10,119
245	2,4-ビス(エチルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(別名シメトリン)	15	0	0	0	0	1	190	10	199	200
		14	2	0	0	0	2	2,191	4	2,195	2,197
		13	9	0	0	0	9	289	3	292	301

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
246	ビス(8-キノリノラト)銅(別名オキシン銅又は有機銅)	15	0	0	0	0	0	252	0	252	252
		14	1,000	2	0	0	1,002	22,016	0	22,016	23,018
		13	792	1	0	0	793	10,071	0	10,071	10,864
247	3,6-ビス(2-クロロフェニル)-1,2,4,5-テトラジン(別名クロフェンチジン)	15	0	0	0	0	0	260	0	260	260
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
248	ビス(ジチオリン酸)S,S-メチレン-O,O,O,O-テトラエチル(別名エチオン)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	2	0	0	2	0	0	0	2
		13	0	2	0	0	2	0	0	0	2
249	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジラム)	15	3	24	0	0	27	8,787	0	8,787	8,814
		14	13	24	0	0	37	9,289	0	9,289	9,327
		13	9	0	0	0	9	7,905	0	7,905	7,914
250	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)(別名ポリカーバメート)	15	33	0	0	0	33	1,743	0	1,743	1,776
		14	20	0	0	0	20	1,858	0	1,858	1,878
		13	30	0	0	0	30	1,867	0	1,867	1,897
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド	15	0	3,802	0	0	3,802	9,065	125	9,190	12,992
		14	0	1,158	0	0	1,158	3,140	2,555	5,694	6,852
		13	0	868	0	0	868	2,892	2,144	5,036	5,903
252	砒素及びその無機化合物	15	9,402	21,985	0	6,467,640	6,499,027	183,286	22	183,308	6,682,335
		14	10,591	22,641	0	7,147,683	7,180,915	180,145	11	180,156	7,361,072
		13	11,688	22,065	0	5,982,644	6,016,397	208,005	16	208,021	6,224,418
253	ヒドラジン	15	4,962	21,804	0	0	26,767	439,805	2,686	442,491	469,258
		14	2,145	10,262	0	0	12,408	156,140	1,045	157,186	169,593
		13	2,896	11,030	0	0	13,926	208,063	638	208,701	222,627
254	ヒドロキノン	15	470	5,293	0	0	5,763	127,098	24,370	151,467	157,230
		14	41	4,276	0	0	4,318	81,877	21,111	102,988	107,305
		13	39	20,455	0	0	20,494	170,158	37,610	207,768	228,262
255	4-ビニル-1-シクロヘキセン	15	7,530	38	0	0	7,568	21,000	0	21,000	28,568
		14	3,160	32	0	0	3,192	21,000	0	21,000	24,192
		13	1,870	30	0	0	1,900	24,000	0	24,000	25,900
256	2-ビニルピリジン	15	974	4,800	0	0	5,774	2,560	0	2,560	8,334
		14	1,155	3,900	0	0	5,055	3,700	0	3,700	8,755
		13	1,290	3,100	0	0	4,390	852,000	0	852,000	856,390
257	1-(4-ピフェニルオキシ)-3,3-ジメチル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ブタノール(別名ピテルタノール)	15	0	9	0	0	9	141	0	141	150
		14	0	14	0	0	14	120	0	120	134
		13	0	9	0	0	10	170	0	170	180
258	ベラジン	15	45	16,504	0	0	16,549	93,259	24	93,283	109,832
		14	55	9,446	0	0	9,501	59,946	0	59,946	69,447
		13	37	8,316	0	0	8,353	91,939	0	91,939	100,292
259	ピリジン	15	14,207	36,925	0	0	51,132	416,813	5,499	422,312	473,444
		14	15,291	23,496	0	0	38,787	340,003	2,591	342,594	381,381
		13	16,788	49,775	0	0	66,563	344,882	1,247	346,129	412,692
260	ピロカテコール(別名カテコール)	15	1,824	2,030	0	0	3,854	151,423	382	151,805	155,659
		14	912	65	0	0	977	85,151	291	85,442	86,419
		13	45	180	0	0	225	40,663	41	40,704	40,929
261	フェニルオキシラン	15	0	1	0	0	1	15	0	15	15
		14	0	1	0	0	1	0	0	0	1
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
262	o-フェニレンジアミン	15	0	14	0	0	14	13,000	210	13,210	13,224
		14	0	0	0	0	0	18,000	190	18,190	18,190
		13	1	0	0	0	1	1,600	4,500	6,100	6,101
263	p-フェニレンジアミン	15	1	2	0	0	3	2,675	40	2,714	2,717
		14	0	2	0	0	2	1,132	0	1,132	1,134
		13	0	2	0	0	2	3,948	0	3,948	3,950
264	m-フェニレンジアミン	15	361	0	0	0	361	662	93	755	1,116
		14	0	0	0	0	0	1,916	113	2,029	2,029
		13	0	0	0	0	0	3,543	361	3,904	3,904
265	p-フェネチジン	15	16	0	0	0	16	2,980	220	3,200	3,216
		14	6	0	0	0	6	210	110	320	326
		13	12	0	0	0	12	460	180	640	652
266	フェノール	15	525,308	16,673	0	0	541,981	3,519,102	21,819	3,540,921	4,082,903
		14	603,201	11,246	36	0	614,484	2,337,829	20,524	2,358,353	2,972,836
		13	651,225	59,686	30	72	711,014	2,897,449	13,626	2,911,076	3,622,089
267	3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名ベルメトリン)	15	0	0	0	0	0	615	0	615	615
		14	0	0	0	0	0	410	0	410	410
		13	1	0	0	0	1	876	0	876	877
268	1,3-ブタジエン	15	286,910	4,611	0	0	291,521	11,157	190	11,347	302,868
		14	397,575	5,121	0	0	402,696	16,397	70	16,467	419,163
		13	617,121	9,904	0	0	627,025	20,310	130	20,440	647,465
269	フタル酸ジ-n-オクチル	15	726	0	0	0	726	129,324	24	129,349	130,075
		14	400	0	0	0	400	91,512	0	91,512	91,912
		13	418	0	0	170	588	57,398	0	57,398	57,986
270	フタル酸ジ-n-ブチル	15	50,188	1,538	0	0	51,726	193,737	438	194,174	245,900
		14	18,416	2,444	0	0	20,860	152,352	672	153,023	173,883
		13	15,665	2,569	1	0	18,235	212,992	5,954	218,945	237,180
271	フタル酸ジ-n-ヘプチル	15	145	0	0	0	145	2,815	0	2,815	2,960
		14	203	0	0	0	203	3,347	0	3,347	3,550
		13	251	0	0	0	251	13,600	0	13,600	13,851
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	15	265,089	296	89	16	265,490	5,373,638	254	5,373,892	5,639,381
		14	270,738	228	65	120	271,152	5,124,729	124	5,124,853	5,396,005
		13	394,503	790	42	0	395,336	5,056,172	145	5,056,316	5,451,652
273	フタル酸n-ブチル=ベンジル	15	24,866	1	0	0	24,867	55,321	0	55,321	80,189
		14	20,180	2	0	1,300	21,481	45,371	0	45,371	66,852
		13	23,221	1	0	0	23,222	21,761	6	21,766	44,988

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
274	2-tert-ブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニルテトラヒドロ-4H-1,3,5-チアジジン-4-オン(別名ブプロフェジン)	15	4	0	0	0	4	5,302	0	5,302	5,307
		14	6	0	0	0	6	0	0	0	6
		13	5	0	0	0	5	22,000	0	22,000	22,005
275	N-tert-ブチル-N-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド(別名テブフェノジド)	15	0	1	0	0	1	94	0	94	95
		14	0	1	0	0	1	0	0	0	1
		13	0	1	0	0	1	82	0	82	82
276	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル(別名ベノミル)	15	0	0	0	0	0	119	0	119	119
		14	0	0	0	0	0	84	0	84	84
		13	0	0	0	0	0	480	0	480	480
277	ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名シハロホップブチル)	15	0	0	0	0	0	2,369	1	2,370	2,371
		14	0	0	0	0	0	1,425	0	1,425	1,426
		13	0	0	0	0	0	2,559	0	2,559	2,560
278	tert-ブチル=4-( {[ (1,3-ジメチル-5-フェノキシ-4-ピラゾリル)メチリデン]アミノオキシ}メチル)ベンゾアート(別名フェンピロキシメート)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
279	2-(4-tert-ブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2-プロピニル=スルフィット(別名プロバルギット又はBPPS)	15	1	0	0	0	1	1	0	1	2
		14	2	0	0	0	2	3	0	3	5
		13	1	0	0	0	1	310	0	310	312
280	2-tert-ブチル-5-(4-tert-ブチルベンジルチオ)-4-クロロ-3(2H)-ピリダジノン(別名ピリダベン)	15	0	0	0	0	0	13	0	13	13
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	180	0	180	180
281	N-(4-tert-ブチルベンジル)-4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド(別名テブフェンビラド)	15	0	1	0	0	1	39	0	39	40
		14	0	1	0	0	1	2	0	2	3
		13	0	1	0	0	1	1	0	1	2
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	15	0	0	0	0	0	47,437	0	47,437	47,437
		14	0	0	0	0	0	39,142	0	39,142	39,142
		13	0	0	0	0	0	36,877	0	36,877	36,877
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	15	183,140	2,954,082	46	16,706	3,153,973	7,688,149	135,698	7,823,848	10,977,820
		14	159,663	2,937,857	31	353,091	3,450,641	6,600,177	106,435	6,706,611	10,157,252
		13	184,639	3,236,391	57	526,001	3,947,087	6,363,266	92,751	6,456,017	10,403,104
284	N,N-プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合体(別名プロピネブ)	15	0	16	0	0	16	1,200	0	1,200	1,216
		14	0	25	0	0	25	740	0	740	765
		13	0	22	0	0	22	10,000	0	10,000	10,022
285	プロモクロロジフルオロメタン(別名ハロン-1211)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
286	プロモトリフルオロメタン(別名ハロン-1301)	15	6,901	0	0	0	6,901	0	0	0	6,901
		14	10,300	0	0	0	10,300	0	0	0	10,300
		13	13,100	0	0	0	13,100	0	0	0	13,100
287	2-プロモプロパン	15	1,451	2	0	0	1,453	12,005	28	12,033	13,486
		14	1,110	0	0	0	1,110	880	30	910	2,020
		13	6,640	8	0	0	6,648	4,000	10	4,010	10,658
288	プロモメタン(別名臭化メチル)	15	559,408	10	0	0	559,418	23,109	0	23,109	582,527
		14	567,468	12	0	0	567,480	26,595	0	26,595	594,075
		13	542,393	24	0	0	542,417	26,720	0	26,720	569,137
289	ヘキサキス(2-メチル-2-フェニルプロピル)ジスタノキサン(別名酸化フェンブタズ)	15	0	0	0	0	0	34	0	34	34
		14	0	0	0	0	0	39	0	39	39
		13	0	0	0	0	0	35	0	35	35
290	1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロビシクロ[2.2.1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸(別名クロレンド酸)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
291	6,7,8,9,10,10-ヘキサクロロ-1,5,5a,6,9,9a-ヘキサヒドロ-6,9-メタノ-2,4,3-ベンゾジオキサチエピン=3-オキシド(別名エンドスルファン又はベンゾエピン)	15	0	0	0	0	0	3	0	3	4
		14	1	0	0	0	1	50	0	50	50
		13	0	0	0	0	0	88	0	88	88
292	ヘキサメチレンジアミン	15	6,850	39,101	0	0	45,952	3,852	43	3,895	49,847
		14	3,897	22,070	0	0	25,967	25,343	37	25,380	51,346
		13	3,342	15,074	0	0	18,416	820	25	845	19,261
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	15	3,051	0	0	0	3,051	8,931	0	8,931	11,982
		14	2,033	0	0	0	2,033	9,387	0	9,387	11,420
		13	1,832	1	0	0	1,833	16,683	0	16,683	18,516
294	ベリリウム及びその化合物	15	16	1	0	230	247	210	0	210	457
		14	0	1	0	0	1	1,297	0	1,297	1,298
		13	0	1	0	0	1	1,360	0	1,360	1,361
295	ベンジリジン=トリクロリド	15	0	0	0	0	0	22,000	0	22,000	22,000
		14	0	0	0	0	0	76,440	0	76,440	76,440
		13	0	0	0	0	0	224,620	0	224,620	224,620
296	ベンジリデン=ジクロリド	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
297	ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル)	15	319	42	0	0	361	8,828	593	9,421	9,782
		14	513	26	0	0	539	16,237	458	16,695	17,234
		13	533	105	0	0	637	86,564	1,625	88,188	88,825



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
298	ベンズアルデヒド	15	129	0	0	0	129	80,962	2,274	83,237	83,365
		14	173	0	0	0	173	47,867	1,004	48,871	49,044
		13	377	1,100	0	0	1,477	48,082	1,620	49,702	51,179
299	ベンゼン	15	1,377,376	9,010	1	3	1,386,389	691,684	3,710	695,394	2,081,783
		14	1,796,906	20,860	0	2	1,817,768	720,106	2,978	723,084	2,540,851
		13	2,416,919	14,774	1	710	2,432,404	827,736	10,408	838,144	3,270,547
300	1, 2, 4 - ベンゼントリカルボン酸 1, 2 - 無水物	15	3	44	0	0	47	20,730	0	20,730	20,778
		14	5	1	0	0	6	4,887	0	4,887	4,893
		13	6	1	0	0	7	17,745	0	17,745	17,752
301	2 - (2 - ベンゾチアゾリルオキシ) - N - メチルアセトアニリド (別名メフェナセット)	15	0	0	0	0	1	665	0	665	665
		14	0	1	0	0	1	427	0	427	428
		13	4	2	0	0	6	1,013	0	1,013	1,019
302	ペンタクロロニトロベンゼン (別名キントゼン又はPCNB)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
303	ペンタクロロフェノール	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	ほう素及びその化合物	15	147,286	2,887,214	67	6,298	3,040,865	1,979,559	28,056	2,007,615	5,048,480
		14	110,626	2,391,992	13	1,539	2,504,171	1,556,280	22,030	1,578,310	4,082,480
		13	125,329	2,130,244	39	2,851	2,258,463	1,595,646	17,778	1,613,424	3,871,886
305	ホスゲン	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
306	ポリ塩化ビフェニル (別名PCB)	15	0	272	0	0	272	0	0	0	272
		14	0	242	0	0	242	0	0	0	242
		13	0	288	0	0	288	1	0	1	289
307	ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	15	10,715	249,412	0	0	260,127	928,054	149,542	1,077,595	1,337,722
		14	7,806	220,062	5	140	228,013	795,486	148,746	944,232	1,172,244
		13	4,699	225,979	2	0	230,680	1,176,122	167,830	1,343,952	1,574,633
308	ポリ (オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル	15	2,128	6,463	0	0	8,591	121,518	1,536	123,054	131,645
		14	1,548	3,505	0	0	5,053	106,607	278	106,885	111,938
		13	2,499	1,486	0	0	3,985	124,387	273	124,660	128,645
309	ポリ (オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	15	13,592	73,149	0	27	86,768	544,805	60,905	605,709	692,477
		14	12,275	97,905	0	63	110,243	542,610	68,076	610,686	720,929
		13	11,396	294,844	4	740	306,983	597,325	282,772	880,097	1,187,079
310	ホルムアルデヒド	15	383,401	53,721	1	840	437,963	1,632,690	104,397	1,737,087	2,175,049
		14	341,534	67,844	2	1,300	410,681	1,063,790	92,686	1,156,476	1,567,157
		13	367,100	81,388	36	1,000	449,524	895,951	113,657	1,009,608	1,459,132
311	マンガン及びその化合物	15	38,731	1,052,177	8	7,632,616	8,723,533	24,157,857	8,285	24,166,142	32,889,674
		14	30,662	1,085,339	362	3,387,310	4,503,673	24,754,733	6,666	24,761,399	29,265,072
		13	37,581	1,038,685	24	3,715,841	4,792,130	19,153,125	7,751	19,160,876	23,953,007
312	無水フタル酸	15	5,890	59	26	0	5,975	889,932	563	890,495	896,470
		14	3,273	26	32	0	3,330	453,372	120,481	573,853	577,183
		13	22,910	15	2	110	23,038	226,182	400,801	626,983	650,021
313	無水マレイン酸	15	8,029	373	0	180	8,582	409,400	431	409,831	418,413
		14	6,061	121	0	250	6,431	375,388	13,413	388,801	395,232
		13	10,004	236	0	220	10,460	249,516	13,458	262,974	273,434
314	メタクリル酸	15	31,426	32,691	0	0	64,117	246,522	54,499	301,022	365,138
		14	23,634	37,644	0	0	61,278	379,242	11,054	390,296	451,573
		13	93,921	20,429	0	0	114,351	306,159	394	306,554	420,904
315	メタクリル酸 2 - エチルヘキシル	15	1,572	31	0	0	1,603	12,574	0	12,574	14,178
		14	219	20	0	0	239	10,623	0	10,623	10,862
		13	155	8	0	0	163	8,773	0	8,773	8,936
316	メタクリル酸 2, 3 - エポキシプロピル	15	3,162	85	0	0	3,246	38,534	1,401	39,935	43,181
		14	11,138	61	0	0	11,199	43,430	1,601	45,032	56,231
		13	2,632	29	0	0	2,661	51,569	1,103	52,672	55,333
317	メタクリル酸 2 - (ジエチルアミノ) エチル	15	314	2	0	0	316	102	0	102	418
		14	194	0	0	0	194	35	0	35	229
		13	273	0	0	0	273	45	0	45	318
318	メタクリル酸 2 - (ジメチルアミノ) エチル	15	252	2,337	0	0	2,590	53,357	1	53,357	55,947
		14	296	2,386	0	0	2,682	58,190	2	58,192	60,874
		13	252	3,929	0	0	4,181	114,960	1	114,961	119,141
319	メタクリル酸 n - ブチル	15	7,589	1,124	0	0	8,713	85,576	119	85,694	94,407
		14	5,928	855	0	0	6,783	79,128	8	79,136	85,919
		13	4,844	247	0	0	5,091	75,275	6	75,281	80,372
320	メタクリル酸メチル	15	686,654	65,230	0	0	751,884	507,376	5,489	512,865	1,264,749
		14	805,690	72,088	710	0	878,488	511,352	3,848	515,200	1,393,688
		13	757,342	74,264	39	0	831,645	571,902	4,700	576,602	1,408,247
321	メタクリロニトリル	15	585	300	0	0	885	1,464	0	1,464	2,349
		14	19,357	280	0	0	19,637	2,005	0	2,005	21,642
		13	704	204	0	0	908	819	0	819	1,727
322	(Z) - 2 - メチルアセトフェノン = 4, 6 - ジメチル - 2 - ピリミジニルヒドラゾン (別名フェリムゾン)	15	0	0	0	0	0	568	0	568	568
		14	0	100	0	0	100	753	0	753	853
		13	0	0	0	0	0	1,308	0	1,308	1,308
323	N - メチルアニリン	15	51	0	0	0	51	140	0	140	191
		14	32	0	0	0	32	280	0	280	312
		13	63	0	0	0	63	310	0	310	373
324	メチル = イソチオシアネート	15	66	0	0	0	66	0	0	0	66
		14	75	0	0	0	75	0	0	0	75
		13	18	0	0	0	18	170	0	170	188
325	N - メチルカルバミン酸 2 - イソプロピルフェニル (別名イソプロカルブ又はMIPC)	15	0	0	0	0	0	42	0	42	42
		14	0	0	0	0	0	12	0	12	12
		13	0	0	0	0	0	150	0	150	150
326	N - メチルカルバミン酸 2 - イソプロポキシフェニル (別名プロポキシル又はPHC)	15	0	5	0	0	5	1,300	0	1,300	1,305
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
327	N - メチルカルバミン酸 2, 3 - ジヒドロ - 2, 2 - ジメチル - 7 - ベンゾ [ b ] フラニル (別名カルボフラン)	15	0	0	0	0	0	76	0	76	76
		14	0	0	0	0	0	80	0	80	80
		13	0	0	0	0	0	300	0	300	300
	N - メチルカルバミン酸 2, 5 - ジ	15	0	0	0	0	0	17	0	17	17

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
328	メチルフェニル(別名XMC)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329	N-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名カルバリル又はNAC)	15	55	0	0	0	55	372	0	372	427
		14	24	1	0	0	25	391	0	391	416
		13	12	1	0	0	12	490	0	490	502
330	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル(別名フェノカルブ又はBPMC)	15	0	0	0	0	0	901	0	901	901
		14	0	0	0	0	0	1,533	0	1,533	1,533
		13	1	2	0	0	2	4,214	0	4,214	4,217
331	メチル=3-クロロ-5-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート(別名ハロスルフロメチル)	15	0	0	0	0	0	79	0	79	79
		14	0	0	0	0	0	51	0	51	51
		13	0	0	0	0	0	42	0	42	42
332	3-メチル-1,5-ジ(2,4-キシリル)-1,3,5-トリアザペンタ-1,4-ジエン(別名アミトラス)	15	0	0	0	0	0	350	0	350	350
		14	0	0	0	0	0	55	0	55	55
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
333	N-メチルジチオカルバミン酸(別名カーバム)	15	0	0	0	0	0	19	0	19	19
		14	0	0	0	0	0	25	0	25	25
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
334	6-メチル-1,3-ジチオロ[4,5-b]キノキサリン-2-オン	15	0	9	0	0	9	45	0	45	54
		14	0	8	0	0	8	185	0	185	193
		13	0	8	0	0	8	124	0	124	132
335	-メチルスチレン	15	45,736	46	0	0	45,782	56,209	99	56,308	102,090
		14	56,012	103	0	0	56,115	54,139	501	54,640	110,755
		13	59,689	62	0	0	59,750	199,001	422	199,423	259,173
336	3-メチルピリジン	15	10,109	6,365	0	0	16,474	30,000	0	30,000	46,474
		14	13,059	5,066	0	0	18,125	21,600	37	21,637	39,762
		13	19,365	6,500	0	0	25,865	79,000	0	79,000	104,865
337	5-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート(別名ジメベレート)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	0	0	0	0	0	14	0	14	14
		13	0	0	0	0	0	50	0	50	50
338	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート)	15	6,750	3	0	0	6,753	339,370	0	339,370	346,123
		14	27,733	0	0	0	27,733	377,411	0	377,411	405,145
		13	36,030	0	0	0	36,030	374,217	0	374,217	410,247
339	2-(1-メチルプロピル)-4,6-ジニトロフェノール	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
340	4,4'-メチレンジアニリン	15	5	0	0	0	5	46,136	0	46,136	46,142
		14	0	0	0	0	0	25,425	0	25,425	25,425
		13	0	0	0	0	0	88,616	0	88,616	88,616
341	メチレンビス(4,1-シクロヘキシンレン)=ジイソシアネート	15	67	0	0	0	67	81,164	0	81,164	81,231
		14	795	0	0	0	795	13,429	0	13,429	14,223
		13	842	0	0	0	842	652,295	0	652,295	653,137
342	N-(6-メトキシ-2-ピリジニル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-tert-ブチルフェニル(別名ピリブチカルブ)	15	0	0	0	0	0	679	2	681	681
		14	1	0	0	0	1	1,200	0	1,200	1,202
		13	1	1	0	0	2	1,088	0	1,088	1,090
343	9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン(別名メトキサレン)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
344	2-メトキシ-5-メチルアニリン	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
345	メルカプト酢酸	15	10	3	0	0	13	143,684	40	143,725	143,737
		14	53	0	0	0	53	143,755	0	143,755	143,808
		13	1,063	1	0	0	1,064	103,750	0	103,750	104,814
346	モリブデン及びその化合物	15	6,383	81,960	62	17,631	106,036	1,234,212	4,803	1,239,015	1,345,052
		14	6,450	90,521	48	3,517	100,536	1,325,638	5,254	1,330,893	1,431,429
		13	7,603	78,872	601	4,146	91,222	1,483,164	12,398	1,495,562	1,586,784
347	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ピニル=ジエチル(別名クロルフェンピンホス又はCVP)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	0	0	0	0	0	9	0	9	9
		13	0	1	0	0	1	5	0	5	6
348	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ピニル=ジメチル(別名ジメチルピンホス)	15	0	0	0	0	0	23	0	23	23
		14	0	0	0	0	0	57	0	57	57
		13	0	0	0	0	0	744	0	744	744
349	りん酸1,2-ジプロモ-2,2-ジクロロエチル=ジメチル(別名ナレド又はBRP)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロピニル(別名ジクロロピニル又はDDVP)	15	574	82	0	0	656	4,496	94	4,591	5,247
		14	520	22	0	0	543	6,676	140	6,816	7,359
		13	1,240	46	0	0	1,286	2,801	140	2,941	4,227
351	りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ピニル(別名モノクロトホス)	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
352	りん酸トリス(2-クロロエチル)	15	0	0	0	0	0	1,363	0	1,363	1,363
		14	6,000	0	0	0	6,000	2,307	0	2,307	8,307
		13	9,200	0	0	0	9,200	3,748	0	3,748	12,948

対象物質		年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
物質 番号	物質名		大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
353	りん酸トリス(ジメチルフェニル)	15	239	27	0	0	266	62,899	0	62,899	63,165
		14	292	0	0	0	292	9,887	0	9,887	10,179
		13	771	0	0	0	771	40,445	0	40,445	41,216
354	りん酸トリ-n-ブチル	15	1	1,081	0	0	1,082	64,474	7	64,481	65,563
		14	0	1,246	0	0	1,246	230	0	230	1,476
		13	0	1,164	0	0	1,164	5,657	0	5,657	6,821
合計		15	250,432,992	12,543,858	248,951	27,282,182	290,507,983	236,467,331	3,088,294	239,555,625	530,063,608
		14	255,104,636	12,040,837	299,026	22,428,705	289,873,204	207,139,904	2,977,248	210,117,152	499,990,356
		13	279,477,901	12,040,837	299,026	22,428,705	289,873,204	207,139,904	2,977,248	210,117,152	499,990,356